

高松版文化芸術プラットフォーム構築に関するアンケート調査の概要

調査目的

本調査は、本市の文化芸術活動を様々な形で支援する専門性を有した組織（高松版地域アーツカウンシル）を備えた、『高松版文化芸術プラットフォーム』の構築に当たり、市内又は本市を拠点に文化芸術活動を行っている皆様の御意見を反映させるために実施した。

調査設計

調査対象：市内又は本市を拠点に文化芸術活動を行っている団体、個人

（本市が把握している団体、個人に対してアンケートの郵送を行い、回答及び周知をお願いした。）

調査方法：回答用紙の郵送、Web入力

調査期間：令和4年8月22日～令和4年9月22日

配布数：148

回答数：郵送による回答：53件 Web入力による回答：24件（計77件）

集計方法：項目ごとの無効回答（指定数以上の選択等）を除いて集計
（重要な項目は参考値として無効回答を含んだものを表示）

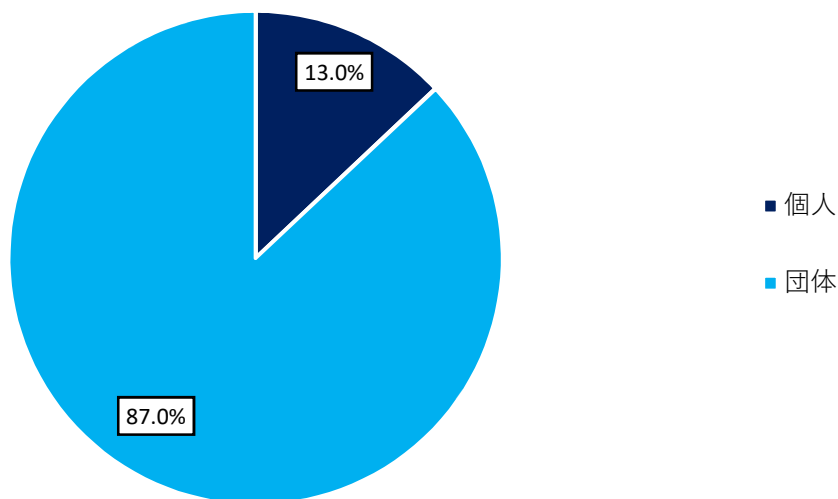
調査項目

- Q1** 文化芸術活動を個人で行っているか、団体で行っているか教えてください。
- Q2** Q1で「個人」を選択した方に伺います。
(1) あなたの年齢を教えてください。 (2) あなたの性別を教えてください。
- Q3** Q1で「団体」と選択した方に伺います。
(1) 団体の規模（構成人数）を教えてください。 (2) 構成メンバーの年齢層を教えてください。
- Q4** 主たる活動の分野を教えてください。
- Q5** 特に重点をおいている活動内容を教えてください。
- Q6** あなたの活動年数を教えてください。（団体の場合は、設立されてからの活動年数）
- Q7** 高松市以外に活動の場はありますか。
- Q8** Q7で「はい」を選択された方に伺います。高松市外の主な活動の場はどちらにありますか。
- Q9** 文化芸術活動の発表について(1)～(5)に御回答ください。
(1) 文化芸術活動の発表を行う主な場所は公共施設ですか。
(2) (1)で「はい」を選択した方に伺います。主な文化芸術活動の発表場所を教えてください。
(3) (1)で「いいえ」を選択された方に伺います。主な文化芸術活動の発表場所を教えてください。
(4) (2) (3)で選択した場所の具体的な名称を御記入ください。
(5) (2)～(3)で回答した施設を主な文化芸術活動の発表場所としている理由を教えてください。
- Q10** 主たる活動資金はどこから得ていますか。
- Q11** これまでに、補助金や助成金を受けたことがありますか。
- Q12** Q11で「申請したことがない」を選択された方に伺います。申請したことがない主な理由を教えてください。

- Q13** 文化芸術活動を行う上で、あるとよいと思う支援を教えてください。
(主なもの3つ以内に○をしてください。)
- Q14** 文化芸術活動において、困りごとはありますか。(又は、ありましたか。)
次の(1)～(4)について御回答ください。
- (1) 新型コロナウイルス感染拡大の前・・・令和2年2月以前
- (2) (1)で「あった」を選択された方に伺います。どのようなことに困っていましたか。
- (3) 新型コロナウイルス感染拡大の後から現在まで・・・令和2年2月以降
- (4) (3)で「ある」を選択された方に伺います。どのようなことに困っていますか。
- Q15** 文化芸術活動を行う上で、困難に直面した際に、主に相談する先はどちらですか。
- Q16** 本市では、令和3年度に、文化芸術に関わる人達を緩やかにつなぎ、気楽に出会い集まれる場「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」を構築しました。次の(1)～(5)について御回答ください。
- (1) 「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」にて各団体のつながりを強化することにより、「Q15」の「困りごと」の解消、軽減に効果が期待できるものはありますか。(主に当てはまるもの3つ以内に○をしてください。)
- (2) 「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」では、活動の一部として「高松版地域アーツカウンシル」の構築に関する検討を行いますが、「アーツカウンシル」という組織・仕組みを御存じでしたか。
- (3) 「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」や「高松版地域アーツカウンシル」に興味はありますか。
- (4) (3)で「はい」を選択された方に伺います。今後、「高松版地域アーツカウンシル」を備えた「高松版文化芸術プラットフォーム」が構築された際に期待することはありますか。
- (5) 「高松版地域アーツカウンシル」の構築も踏まえた上で、「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」に参加してみたいですか。
- Q17** Q1～Q16で答えにくい(合致する選択肢がない)場合がありましたら、御記入ください。
- Q18** 高松を拠点として活動する上で、感じていることがあれば御記入ください。
- Q19** 今後の文化芸術活動に対する支援について、御意見があれば御記入ください。
- Q20** アンケート回答の内容について、場合によっては、更なるヒアリング調査に御協力いただけますか。

Q1 文化芸術活動を個人で行っているか、団体で行っているか教えてください。

「個人」が13.2%、「団体」が86.8%と「団体」の回答が高くなっている。



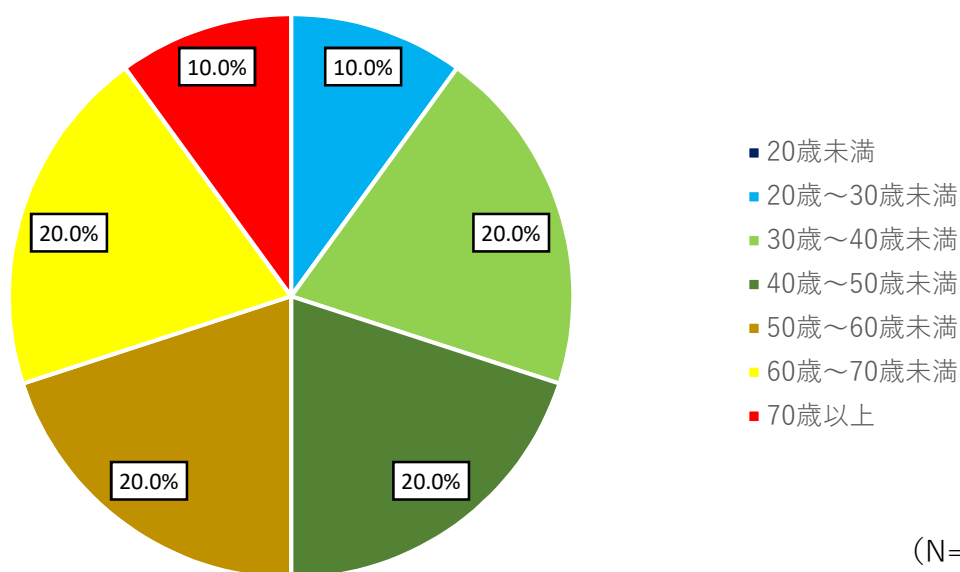
(N=77)

Q2 Q1で「個人」を選択された方に伺います。 次の(1)及び(2)に御回答ください。

(1) あなたの年齢を教えてください。

個人で活動されている方の年齢は「30歳～40歳未満」「40歳～50歳未満」「50歳～60歳未満」「60歳～70歳未満」が20.0%と同じである。

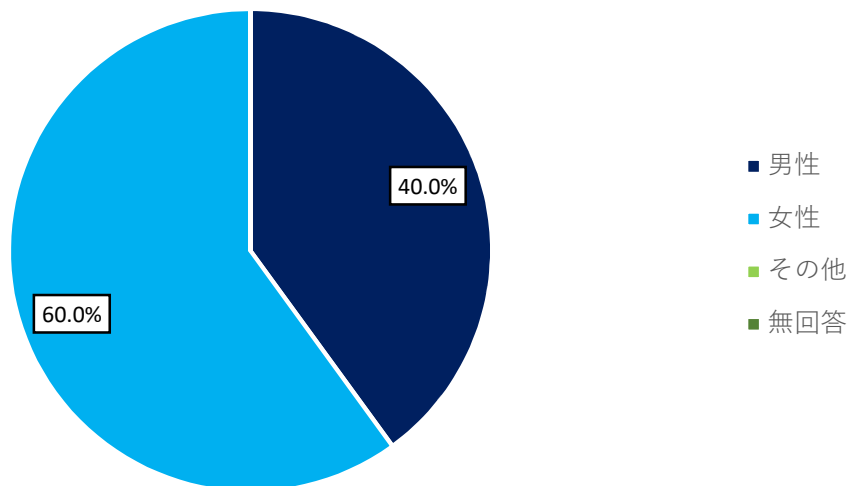
「70歳以上」で個人で活動している方の回答はなかった。



(N=10)

(2) あなたの性別を教えてください。

個人で活動している方の性別は「男性」(40.0%)「女性」(60.0%)と女性の割合が高くなっている。

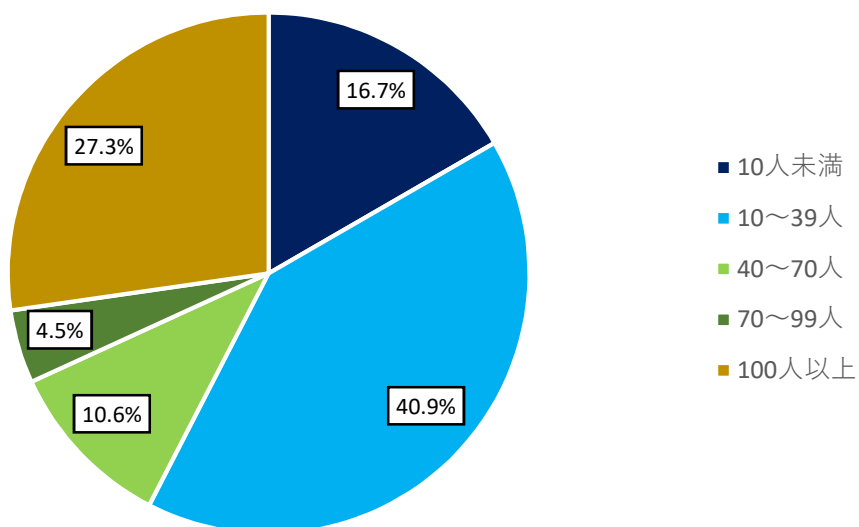


(N=10)

Q3 Q1で「団体」と選択した方に伺います。 次の(1)及び(2)に御回答ください。

(1) 団体の規模(構成人数)を教えてください。

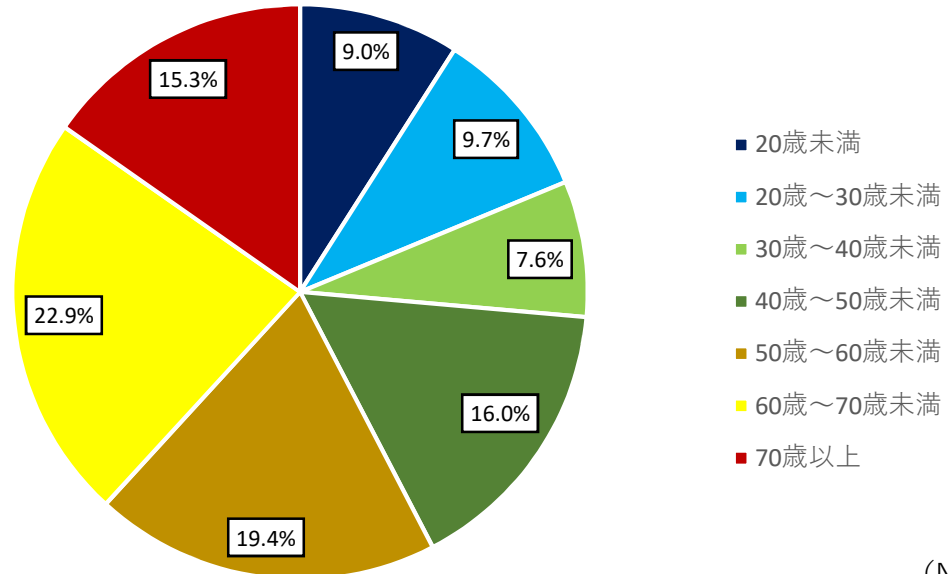
団体の規模は「10~39人」(40.9%)が最も高く、次いで「100人以上」(27.3%)、「10人未満」(16.7%)、「10人未満」(16.7%)、「40~70人」(10.6%)、「70~99人」(4.5%)となっている。



(N=66)

(2) 構成メンバーの年齢層を教えてください。(3つまで選択可)

構成メンバーの年齢層は「60歳～70歳未満」(22.9%)が最も高く、次いで「50歳～60歳未満」(19.4%)、「40歳～50歳未満」(16.0%)となっており、構成メンバーの年齢層が高くなっていることが見受けられる。



(N=144)

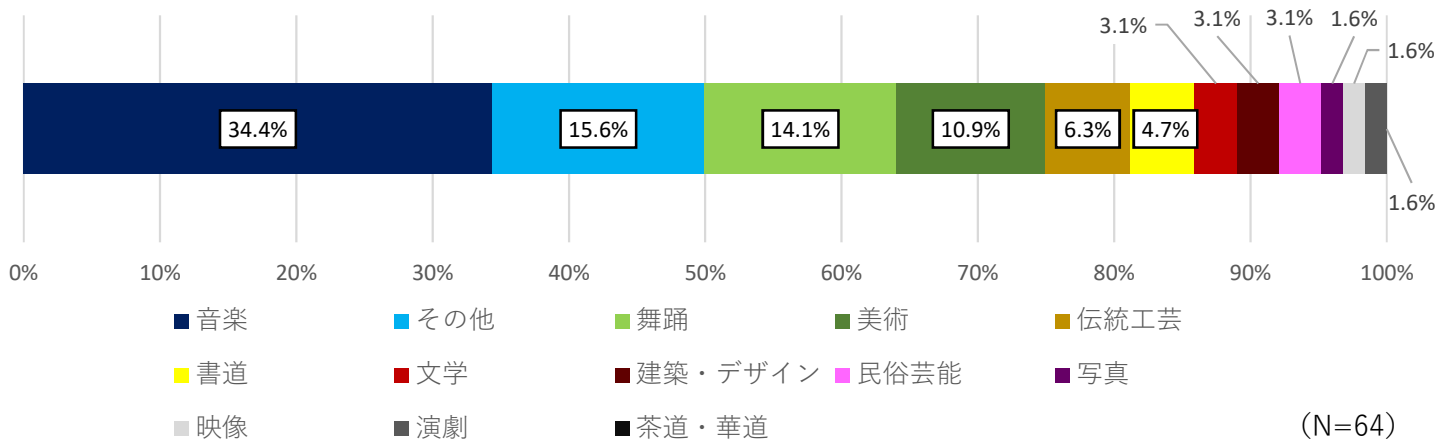
Q4 主たる活動の分野を教えてください。

活動分野の内、「音楽」(34.4%)が最も高く、次いで「その他」(15.6%)、「舞踊」(14.1%)と続いている。

参考値(無効回答も集計に含む)の中でも最も高いのは「音楽」(29.0%)で、次いで「美術」(14.0%)、「舞踊」(13.1%)と続いている。

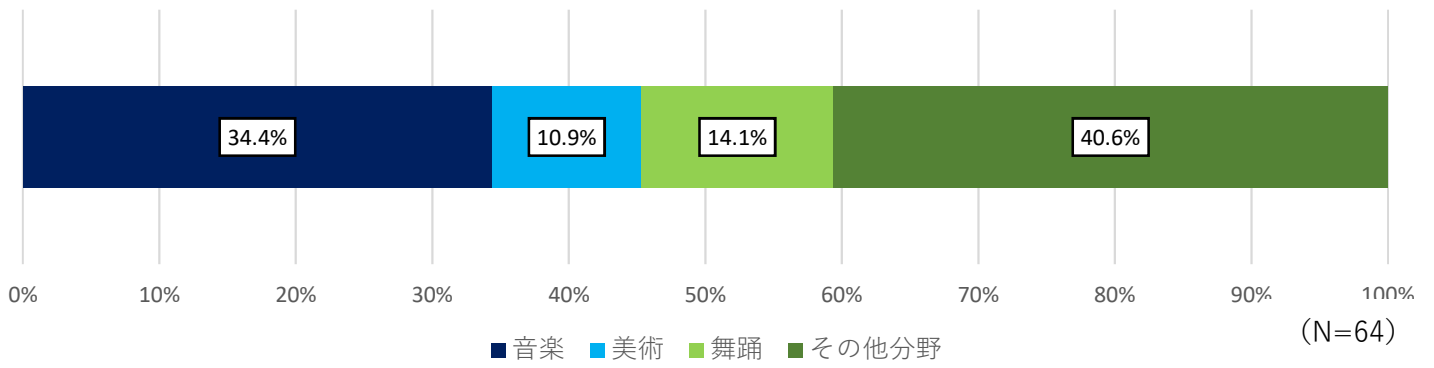
その他の中には、「現代サーカス」、「小品盆栽」、「服飾(洋裁)」、「複数分野にまたがる」の回答があった。

クロス集計に利用する分野のデータは、上位3つ(音楽・美術・舞踊)と多分野を合計した「その他分野」で行う。

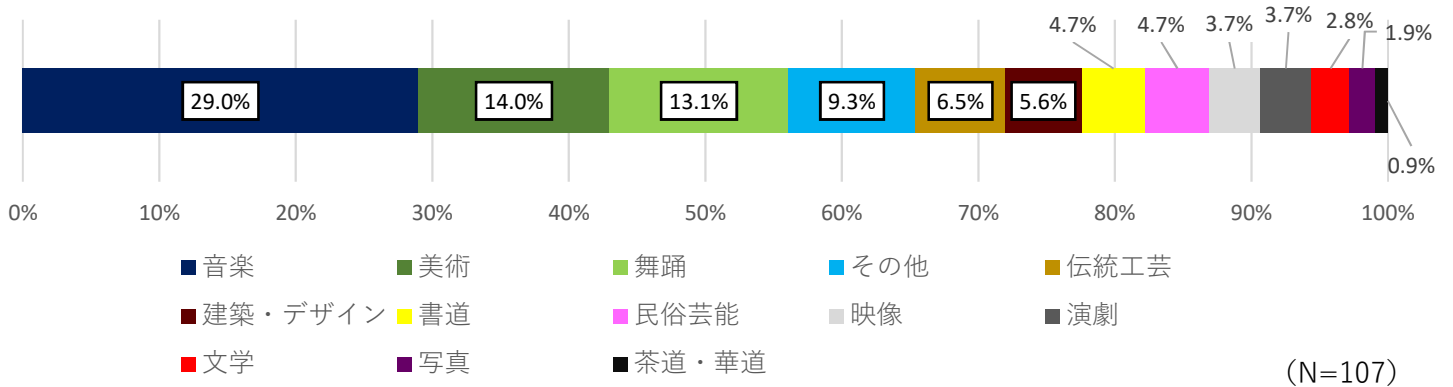


(N=64)

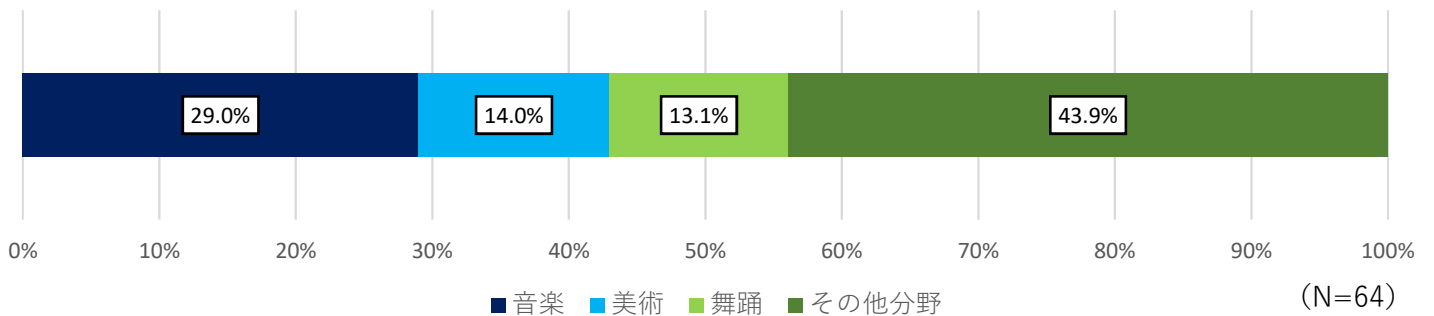
【クロス集計に使用するデータ】



【参考値】



【クロス集計に使用するデータ】

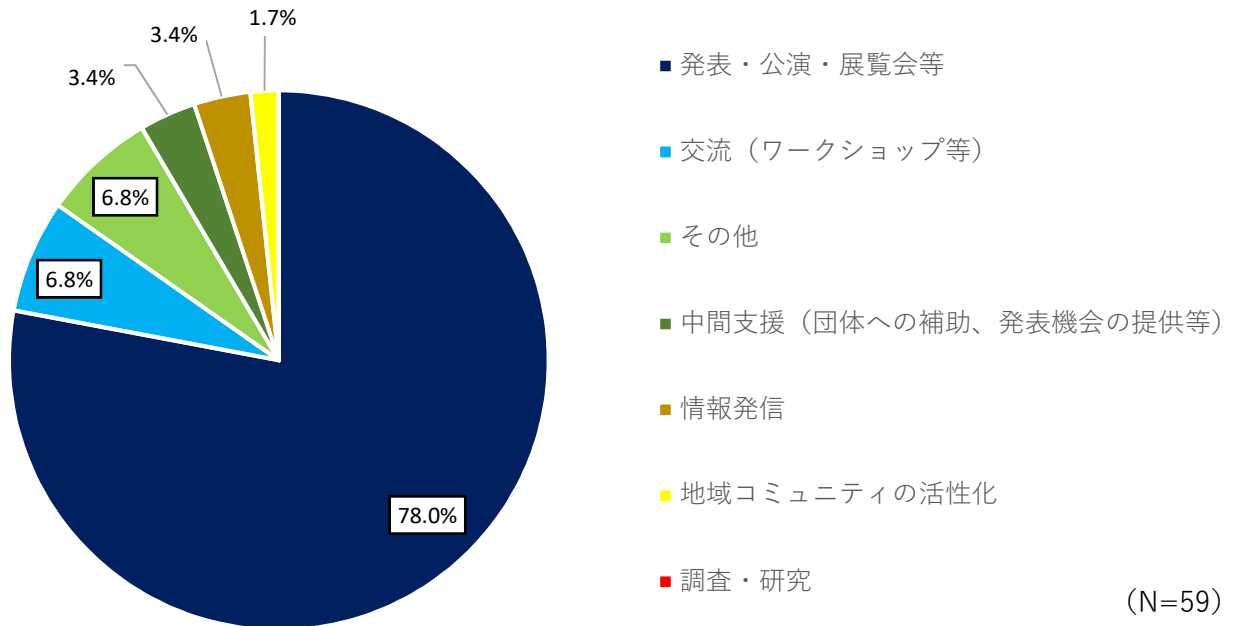


Q5 特に重点をおいている活動内容を教えてください。

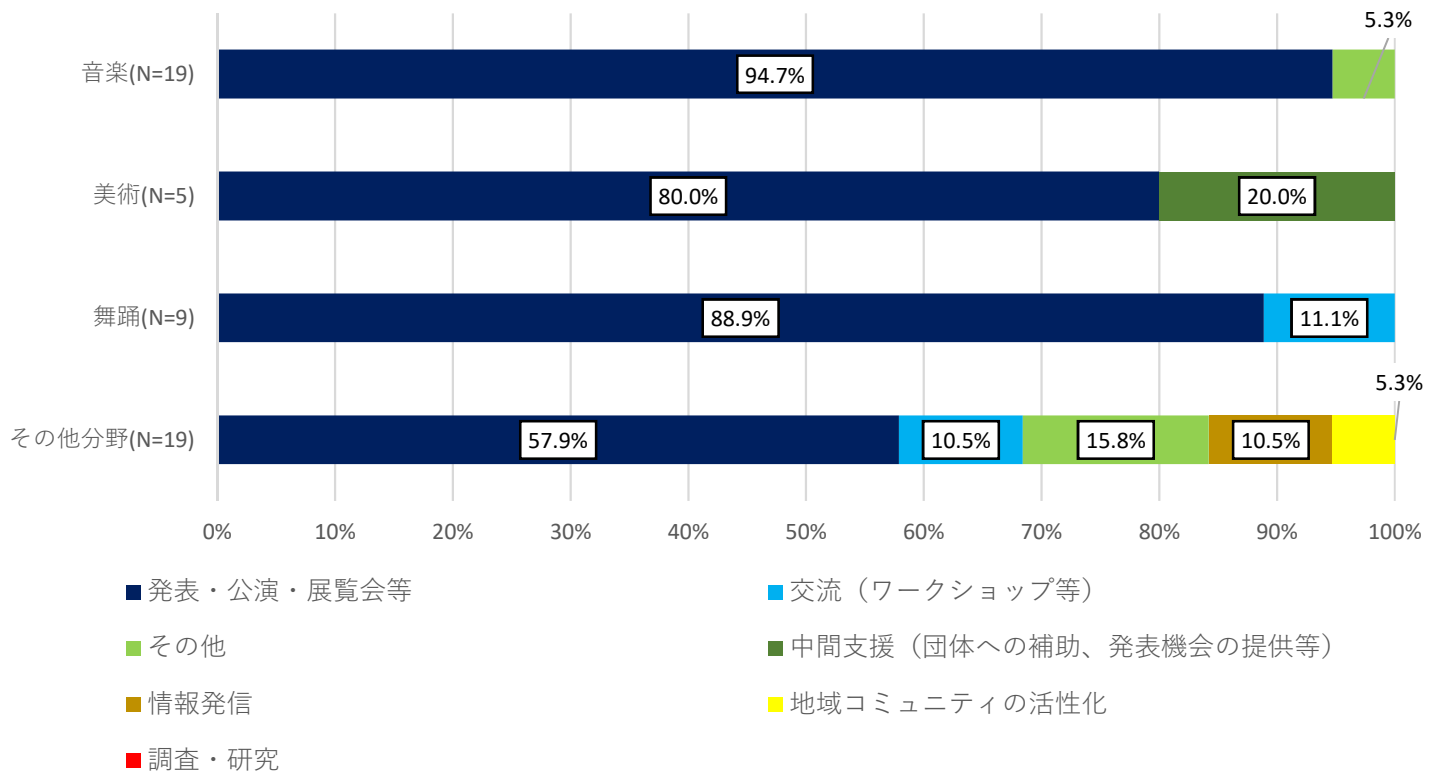
全体で最も高いのは「発表・公演・展覧会等」（78.0%）で、次いで「交流（ワークショップ等）」（6.8%）「その他」（6.8%）が続いている。

分野ごとに見ると、多分野で、同じ傾向となっており「発表・公演・展覧会等」が過半数を超えていた。その他の回答として、「基礎練習、知識習得」「人材育成」「アウトリーチ活動」「技法の保存・後継者の育成と技術の向上を図る」「複数分野にまたがる」があった。

【全体】



【分野別】

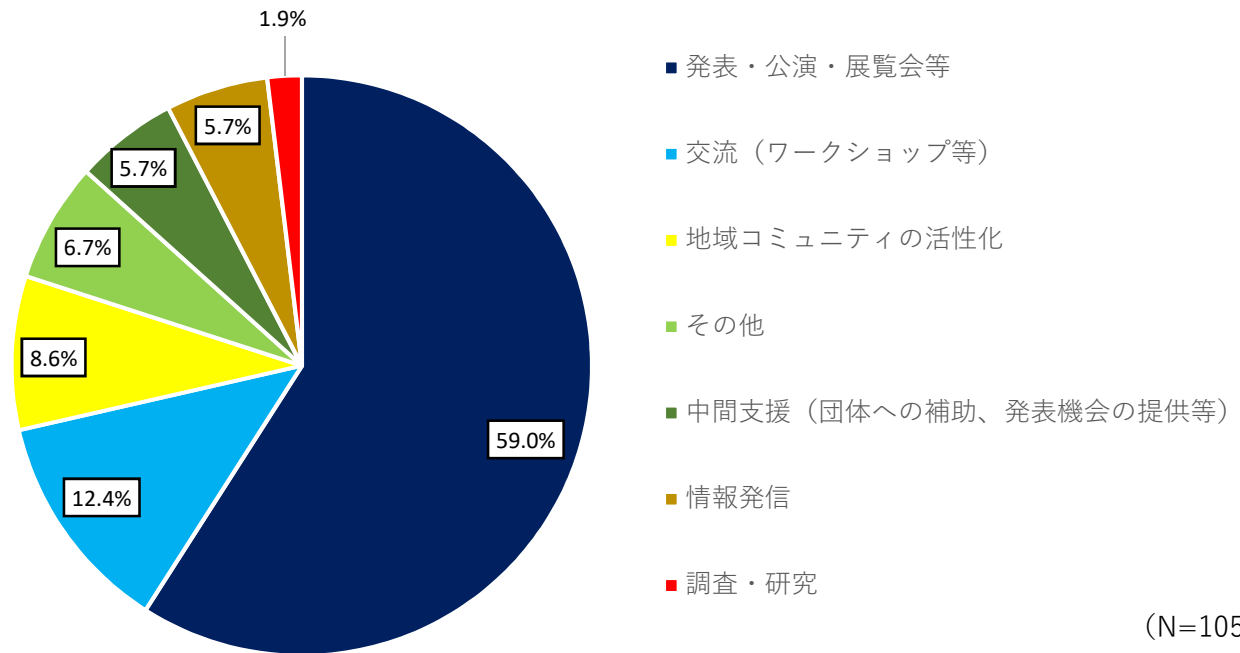


【参考値】

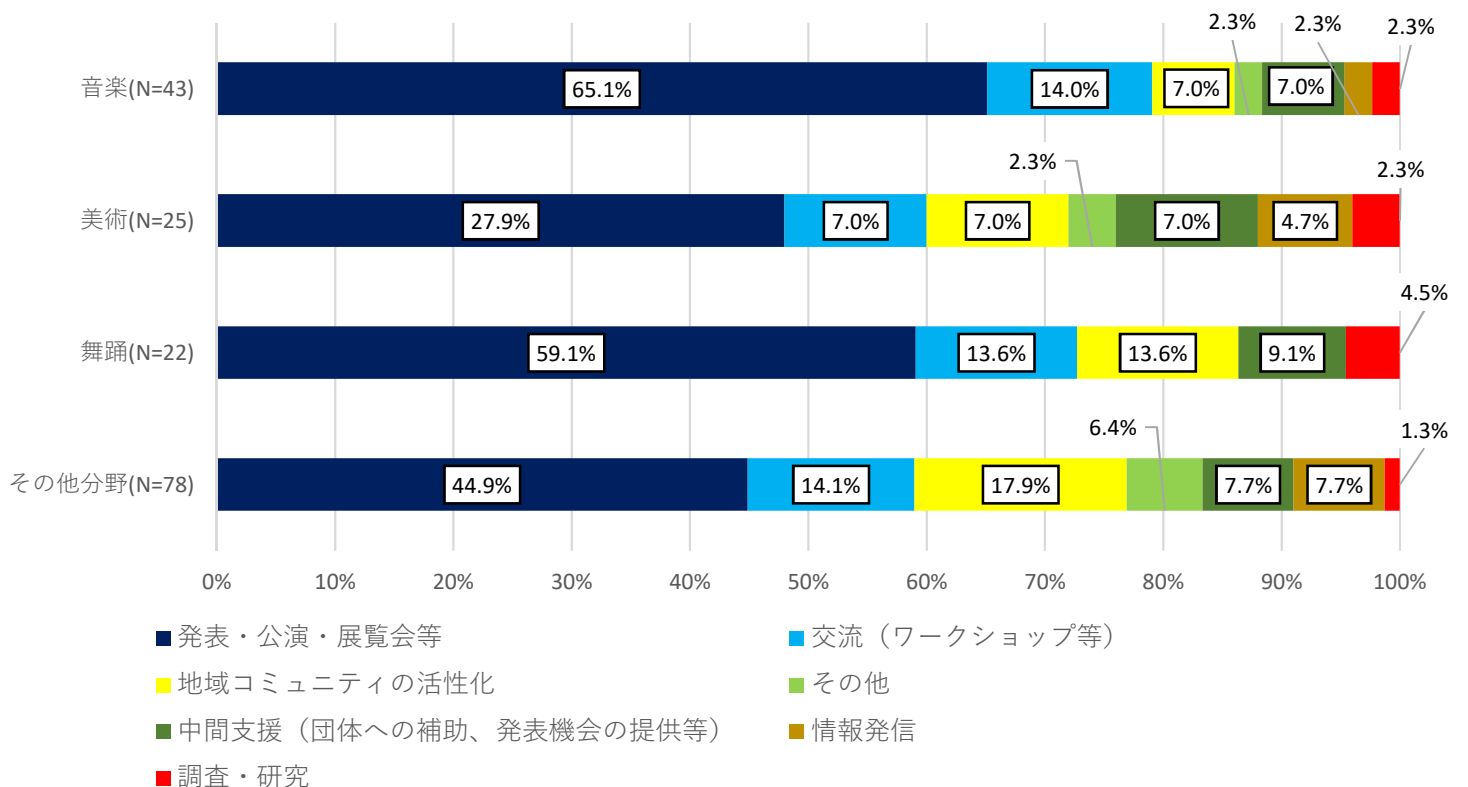
参考値（無効回答も集計に含む）の全体でも、最も高いのは「発表・公演・展覧会等」（59.0%）、次いで「交流（ワークショップ等）」（12.4%）となっている。3番目に高いものに関しては、「その他」（6.7%）ではなく「地域コミュニティの活性化」（8.6%）となっている。

分野別においては、ほぼ全分野において「発表・公演・展覧会等」の占める割合が高い。

【全体】



【分野別】



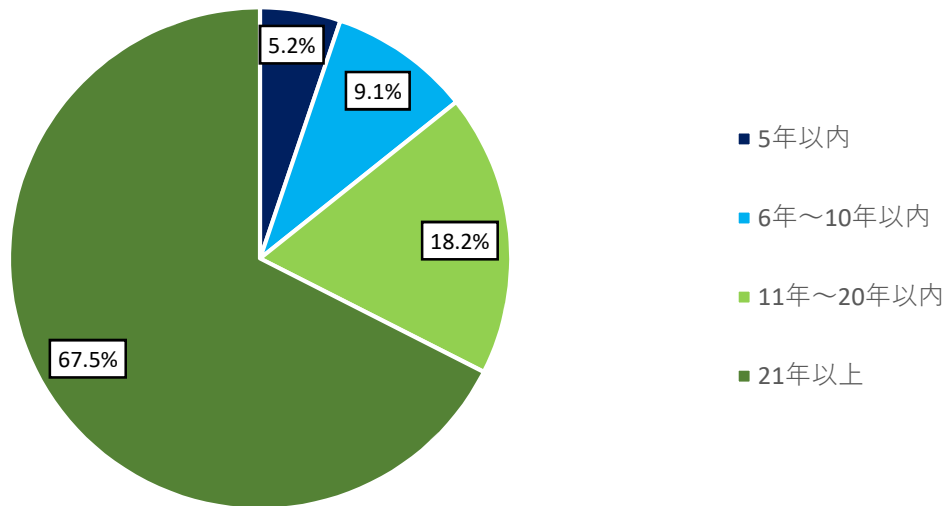
Q6 あなたの活動年数を教えてください。（団体の場合は、設立されてからの活動年数を教えてください。）

全体では「21年以上」（67.5%）が最も高く、団体の構成員や個人の年齢層が高かったことと相関性が考えられる。

分野別では、「21年以上」が5割を超えており、「舞踊」のみ下回っていた。

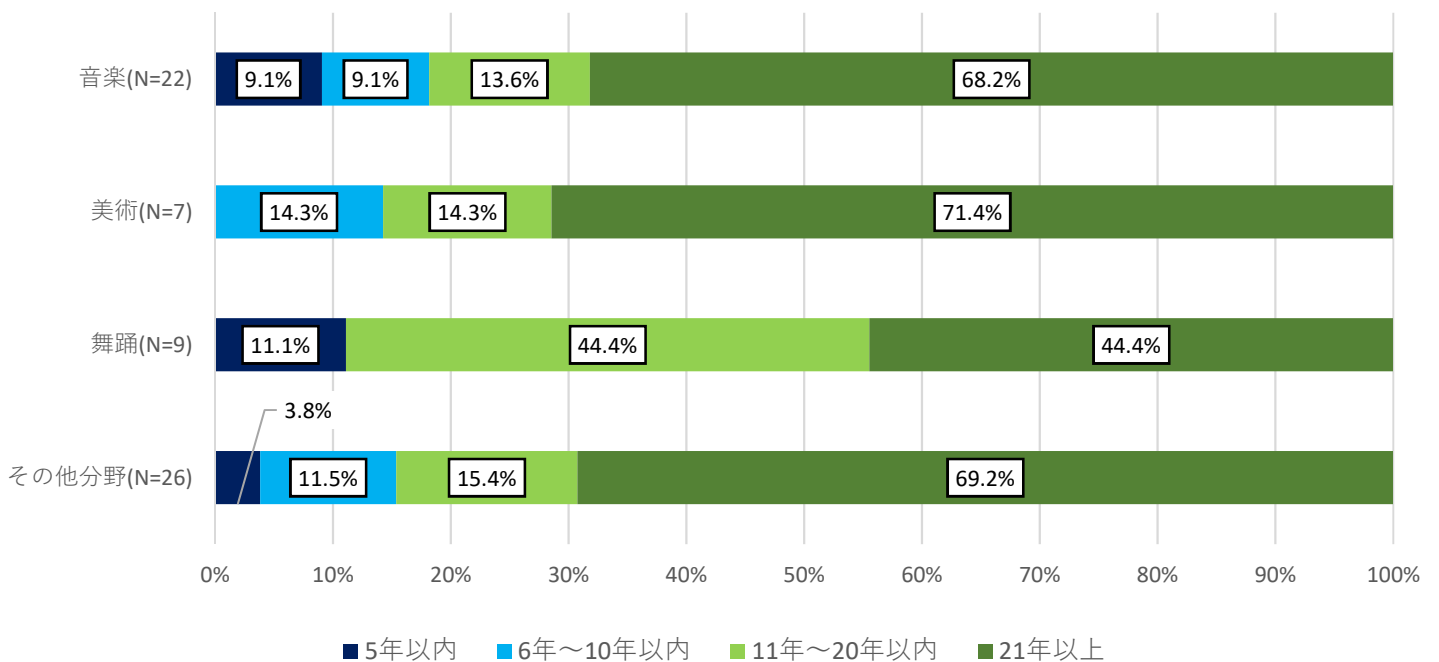
規模別では、「100人以上」の団体で「21年以上」（88.9%）の割合が高く、「10人未満」「個人」では、「21年以上」が5割を下回っている。

【全体】

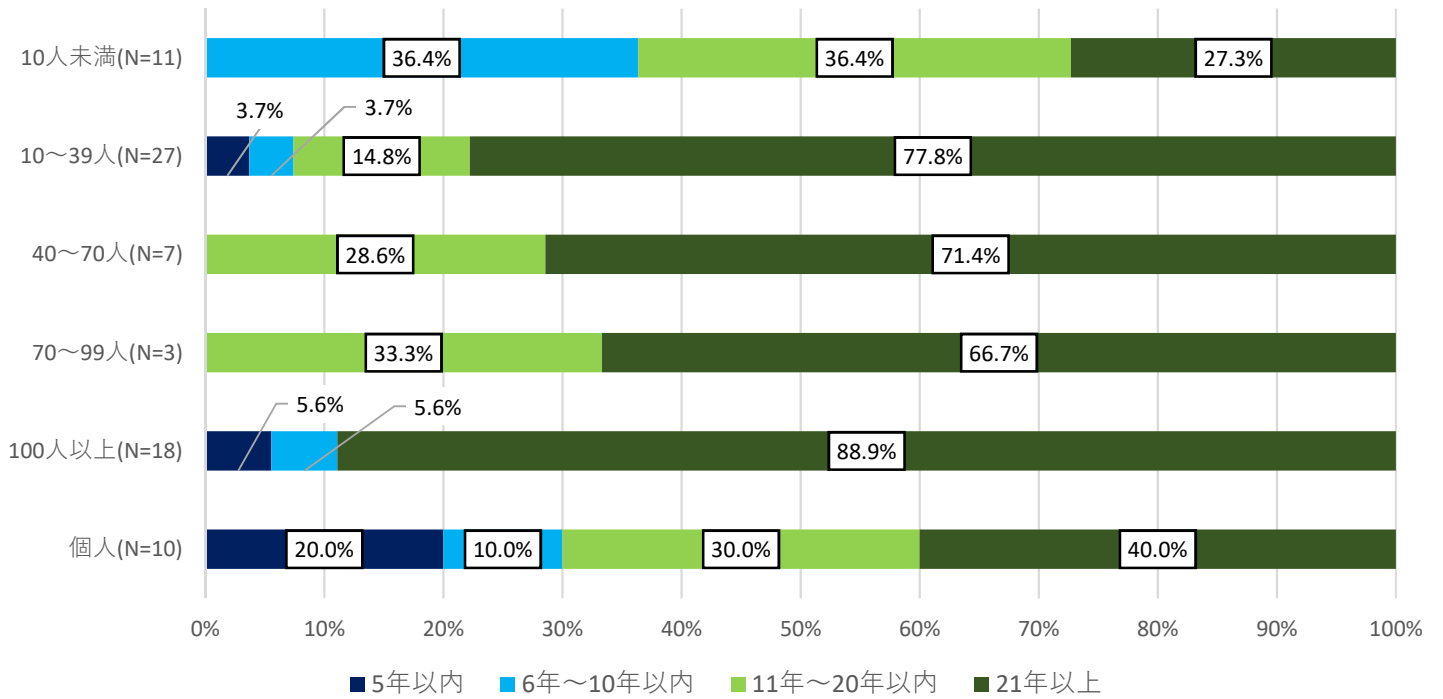


(N=77)

【分野別】



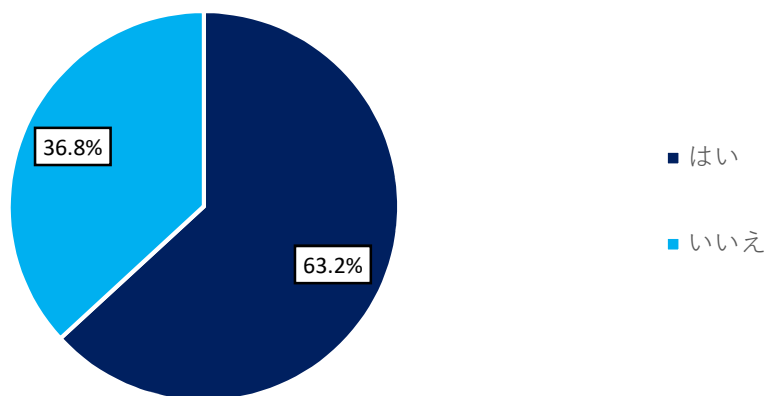
【規模別】



Q7 高松市以外に活動の場はありますか。

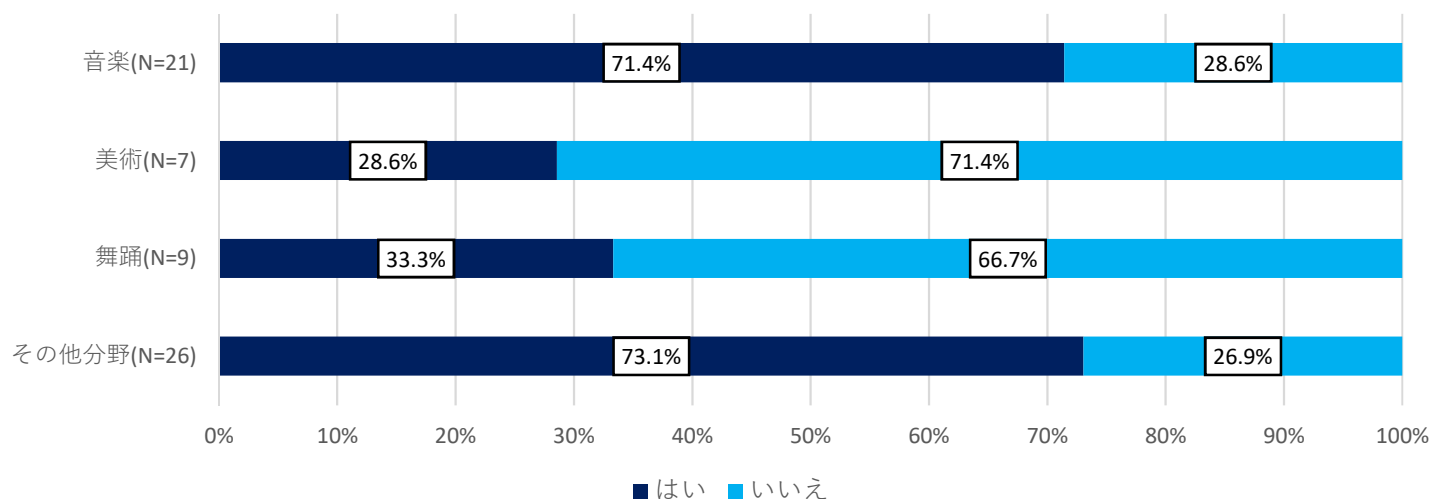
全体では、高松市外に活動拠点を持っている団体、個人が高く（63.2%）、分野別に見ると「美術」や「舞踊」は高松市内のみで活動している比率が高い。
 規模別では全て5割以上が市外に拠点を持っている。
 活動年数別では、「5年以内」は市内に活動拠点を持っている比率は低く（25.0%）、その他に関して

【全体】

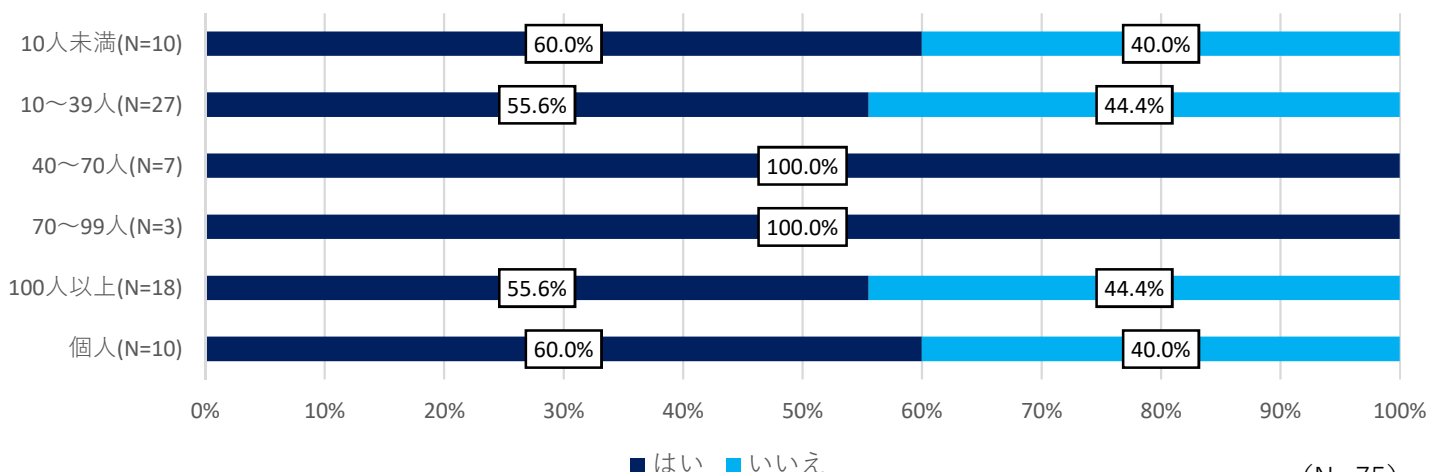


(N=76)

【分野別】

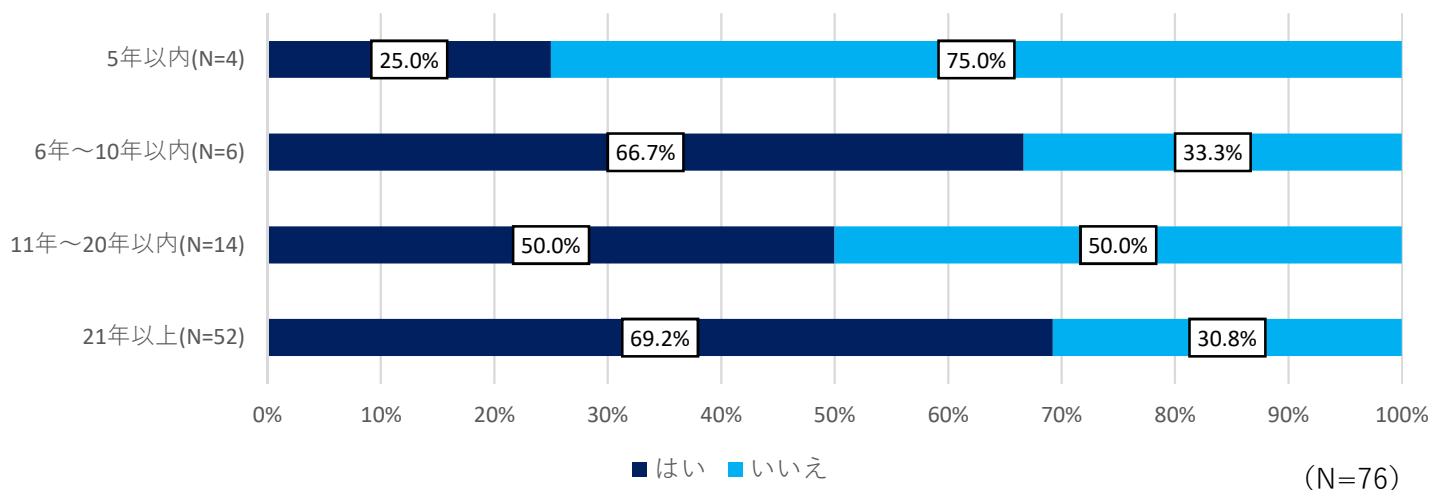


【規模別】



(N=75)

【活動年数別】



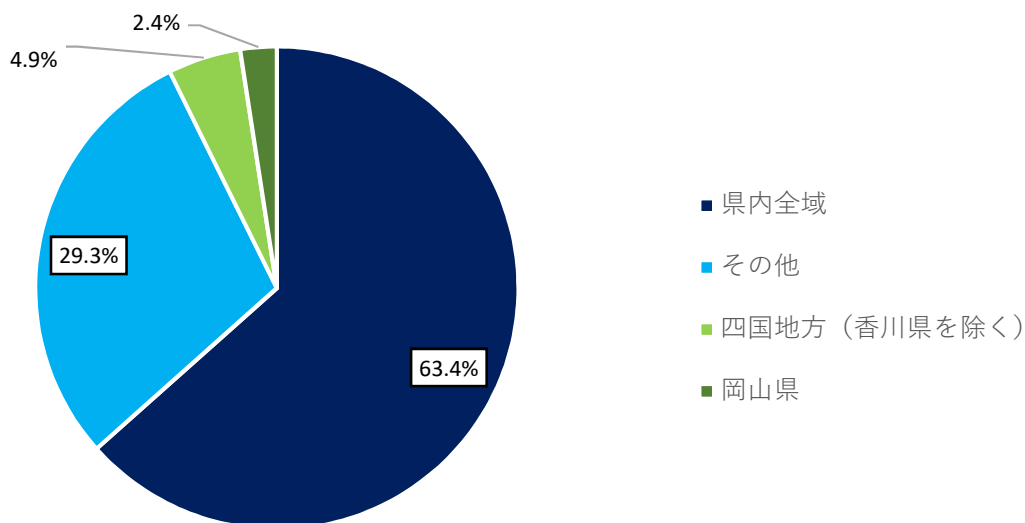
Q8 Q7で「はい」を選択された方に伺います。

高松市外の主な活動の場はどちらにありますか。

高松市外に拠点を持っている、個人・団体で最も高かったのが「県内全域」（63.4%）で、次いで「その他」（29.3%）となっている。

その他の回答としては、「京阪神、北陸、中部」「全国」「高松市と広域連携協定を結んでいる自治体」「県内・県外（企業等への漆芸作品の無償貸出し）」「東京都、大阪府、京都府、兵庫県」「東京、京都、滋賀、島根、徳島、イタリアなど」がある。

【全体】



(N=41)

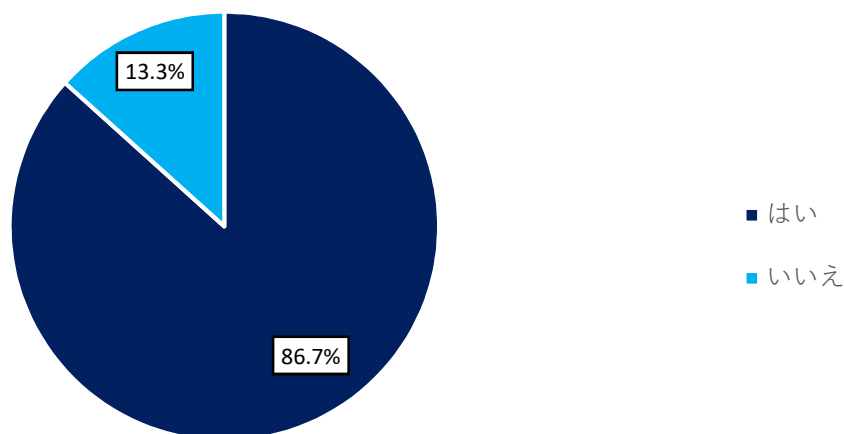
Q9 文化芸術活動の発表について (1) ~ (5) に御回答ください。

(1) 文化芸術活動の発表を行う主な場所は公共施設ですか。

全体では、「はい」(86.7%)が最も高く、主な発表の場は公共施設を選んでいる個人・団体が多い。分野別においてもどの分野も全体の比率とほとんど変わりはない。

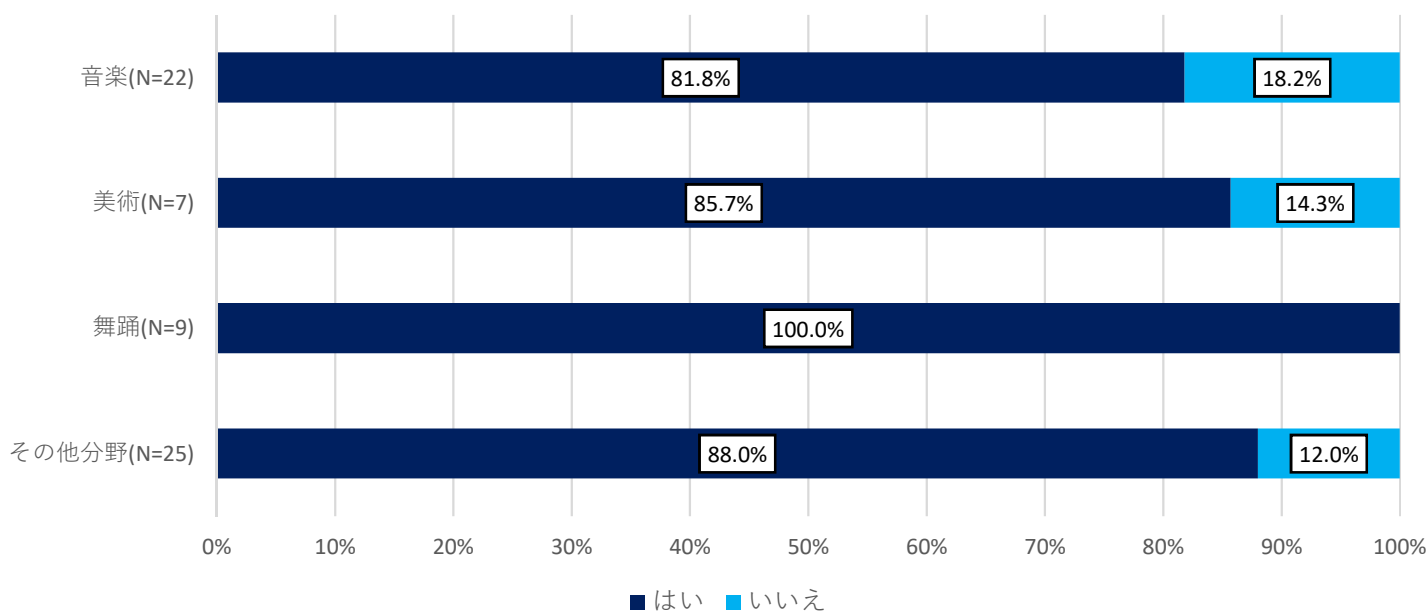
規模別においても大多数が「はい」を選んでいるが、「10人未満」「個人」は「いいえ」の割合が他の規模より少なくとも10%は多い。

【全体】

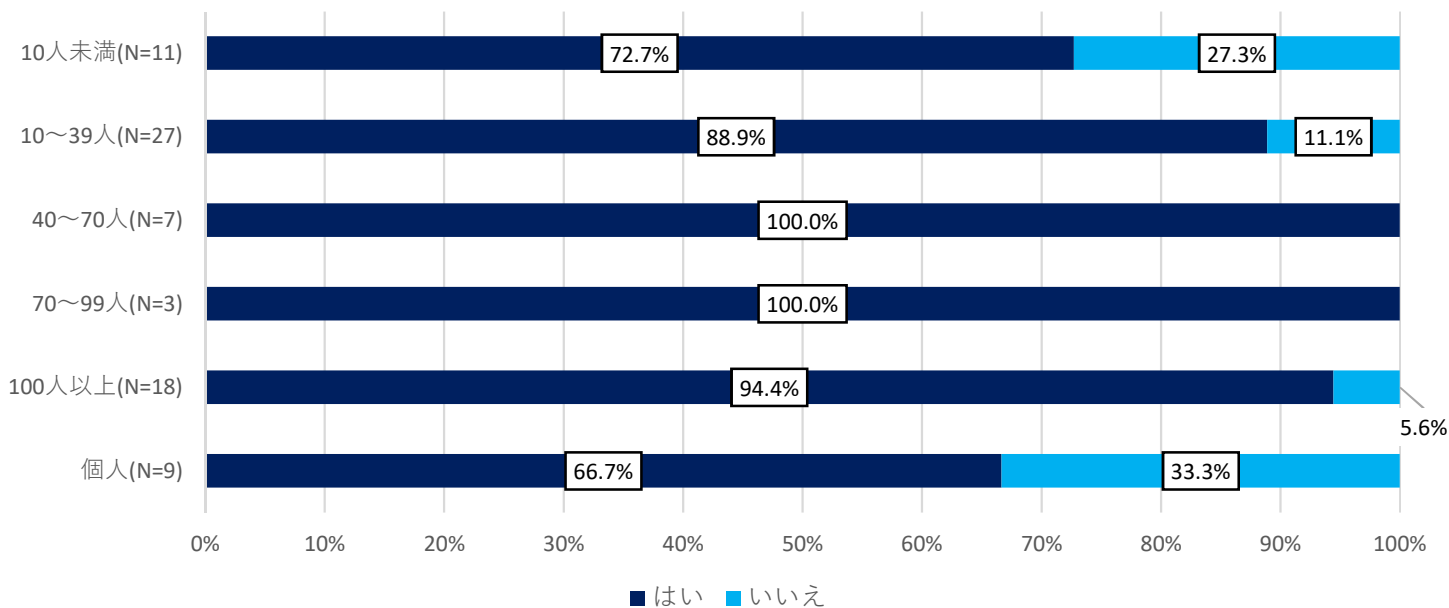


(N=75)

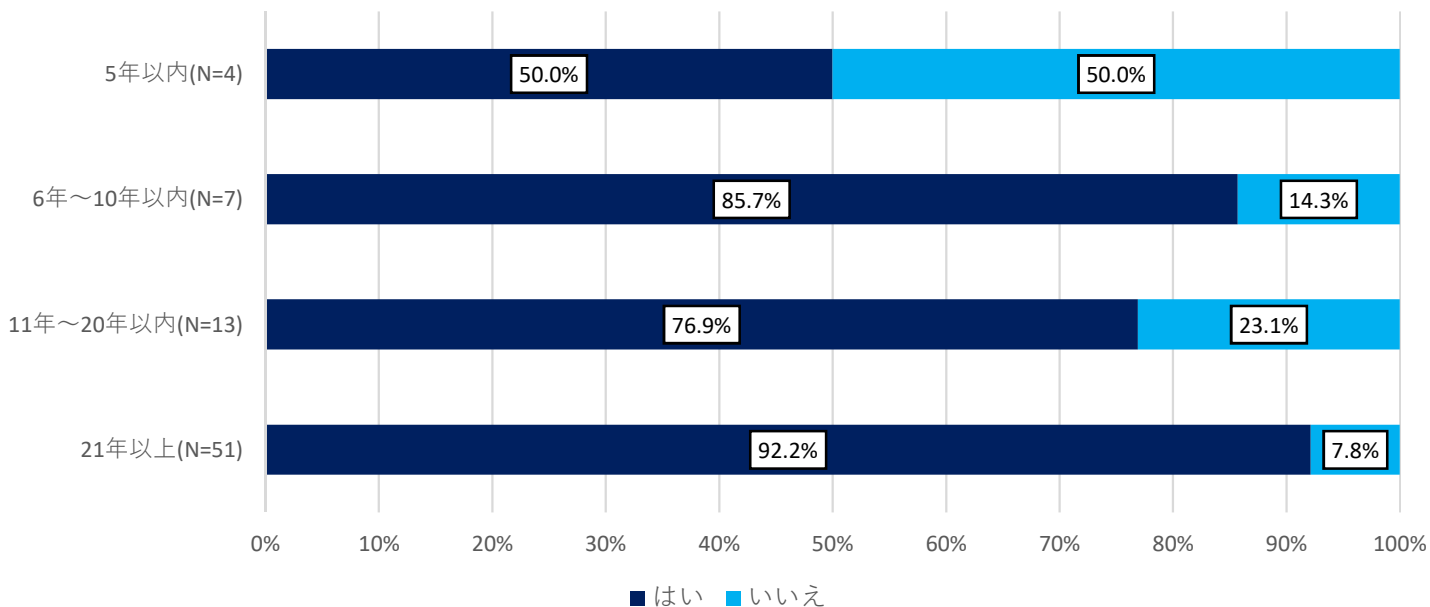
【分野別】



【規模別】



【活動年数別】

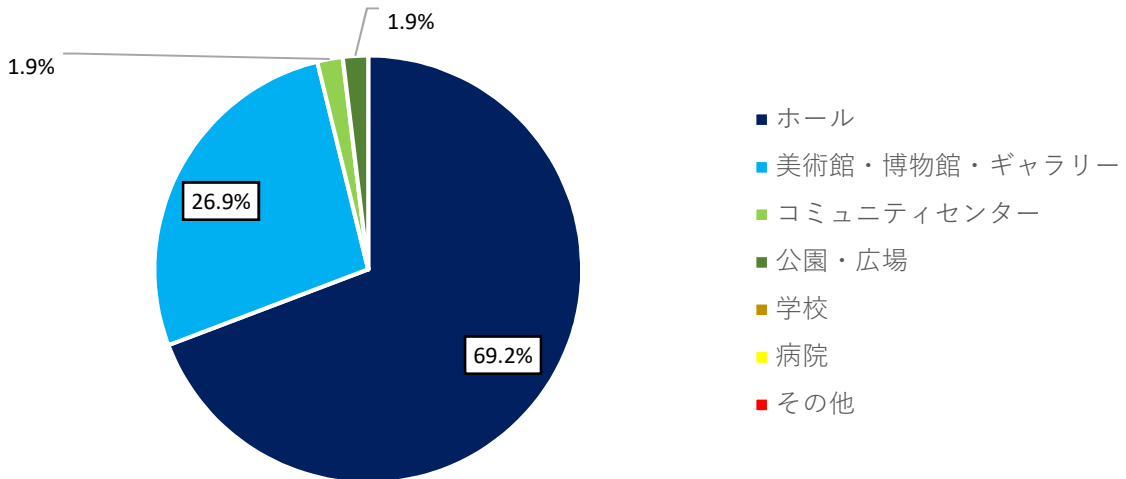


(2) (1) で「はい」を選択した方に伺います。主な文化芸術活動の発表場所を教えてください。

全体では公共施設を利用している個人・団体の半数以上（69.2%）が「ホール」を使用しており、次いで「美術館・博物館・ギャラリー」（26.9%）が高くなっている。

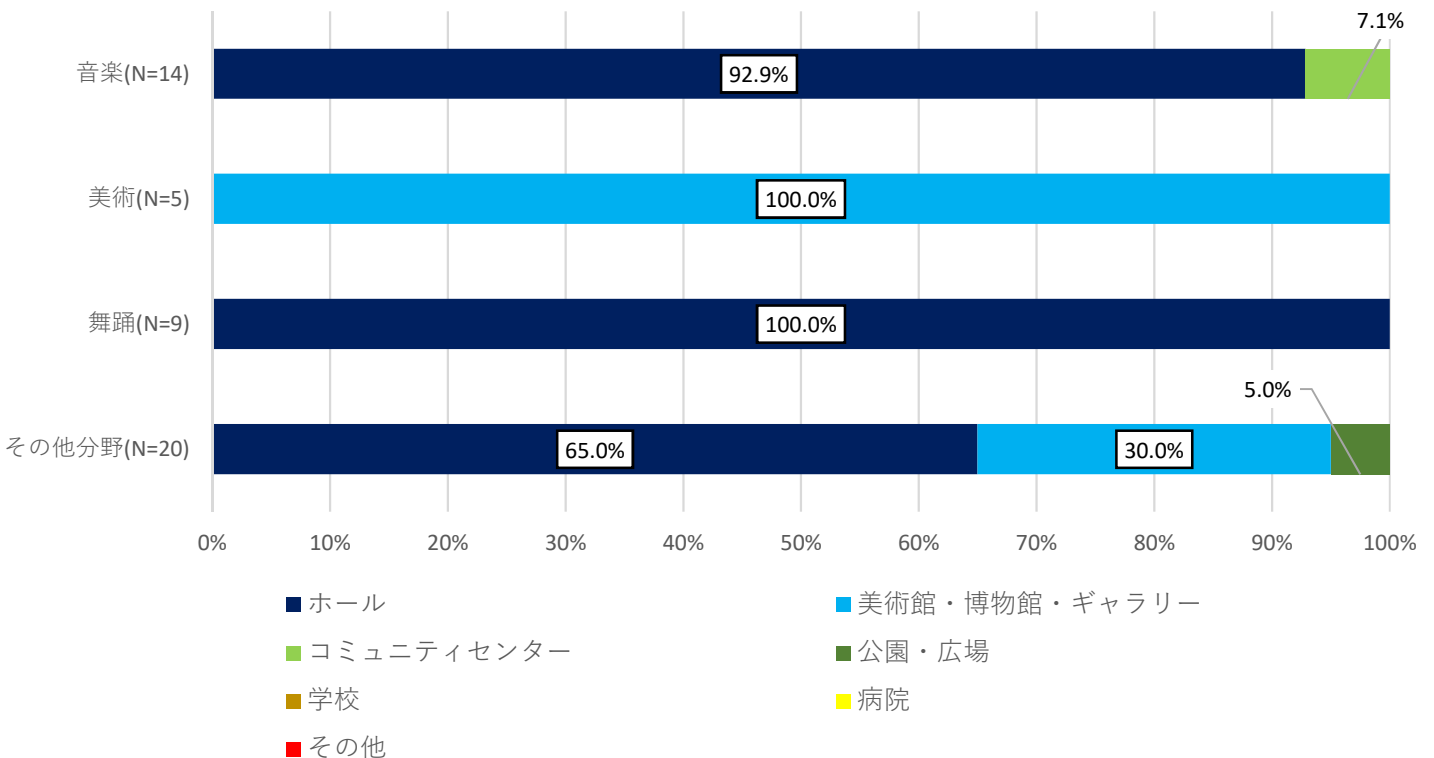
分野ごとでは、「美術」の主な発表場所は「美術館・博物館・ギャラリー」が100%となっており、舞踊では「ホール」が100%となっている。「音楽」や「その他分野」では「コミュニティセンター」や「公園」「広場」の回答がある。

【全体】



(N=52)

【分野別】



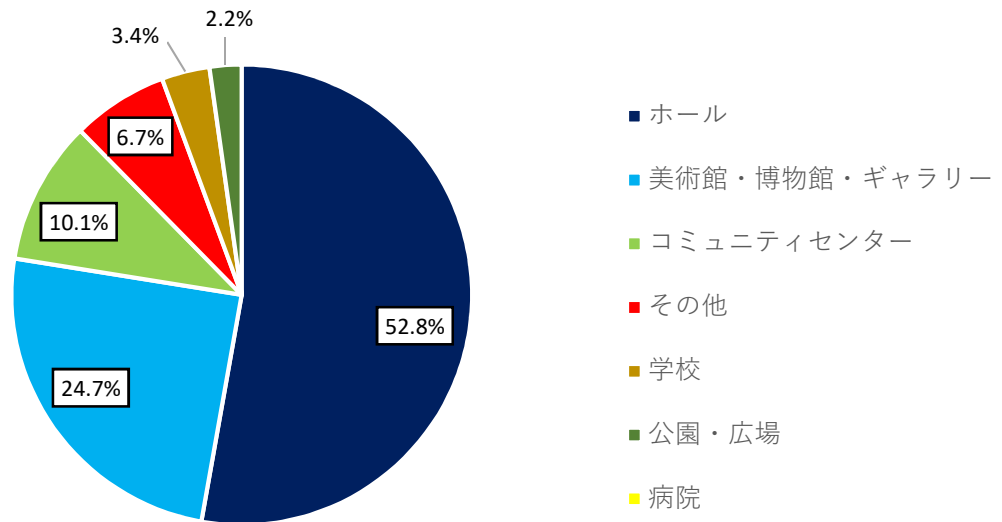
【参考値】

参考値（無効回答も集計に含む）の全体でも最も高いのは「ホール」（52.8%）で、「美術館・博物館・ギャラリー」（24.7%）が続いている。

分野別では、各分野の発表場所に「コミュニティセンター」があるほかに「舞踊」「その他分野」では「学校」で発表している個人・団体がいることが分かる。

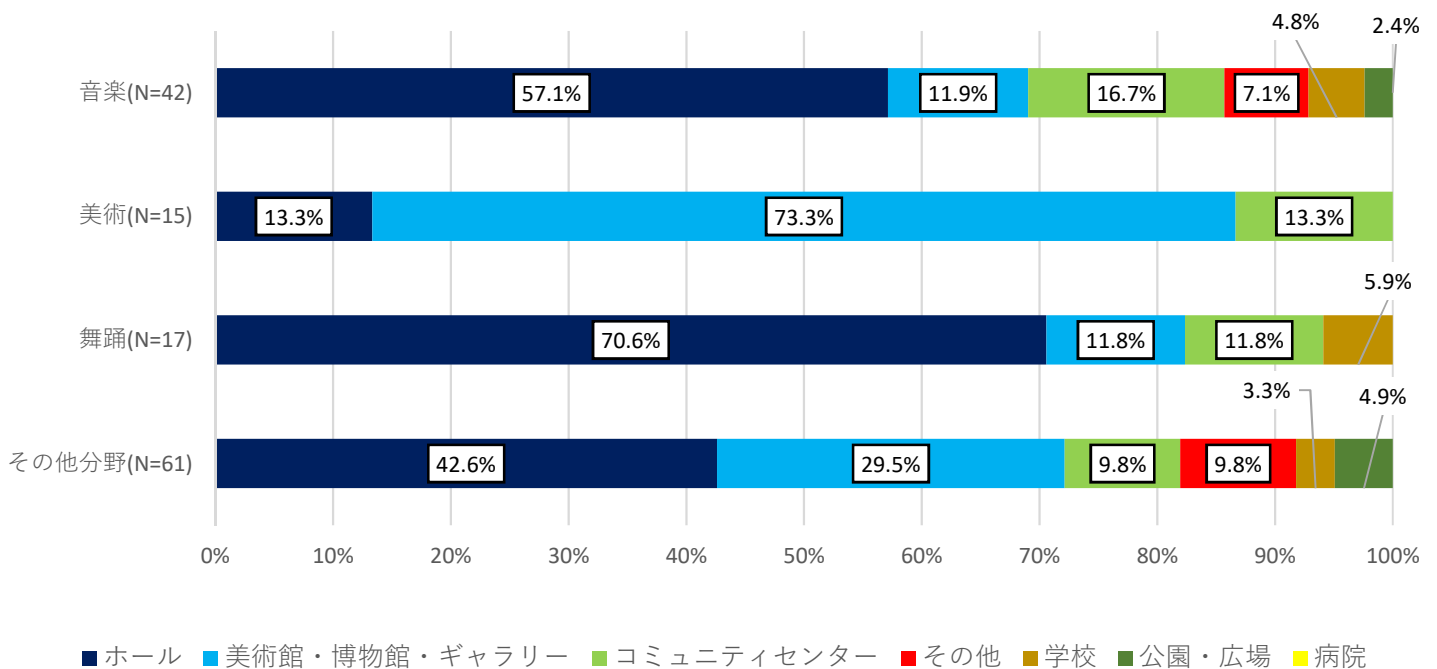
その他では、「カルチャースクール」「体育館」「保育所・幼稚園」「県立図書館」の回答があった。

【全体】



(N=89)

【分野別】

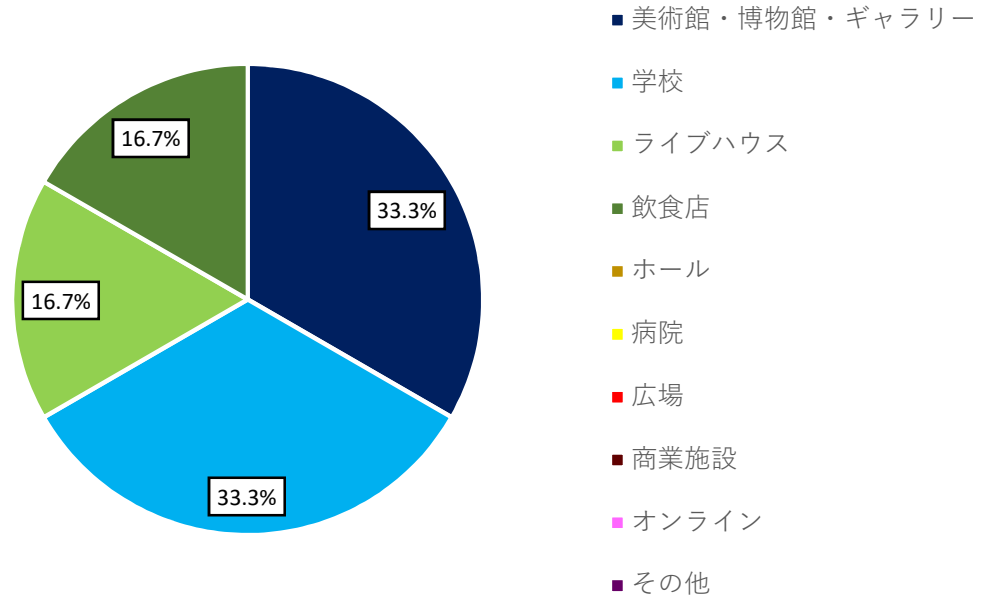


(3) (1) で「いいえ」を選択された方に伺います。主な文化芸術活動の発表場所を教えてください。

民間施設を主な発表場所に行っている個人・団体では、「美術館・博物館・ギャラリー」（33.3%）と「学校」（33.3%）が同率で高く、「ライブハウス」（16.7%）が続いている。

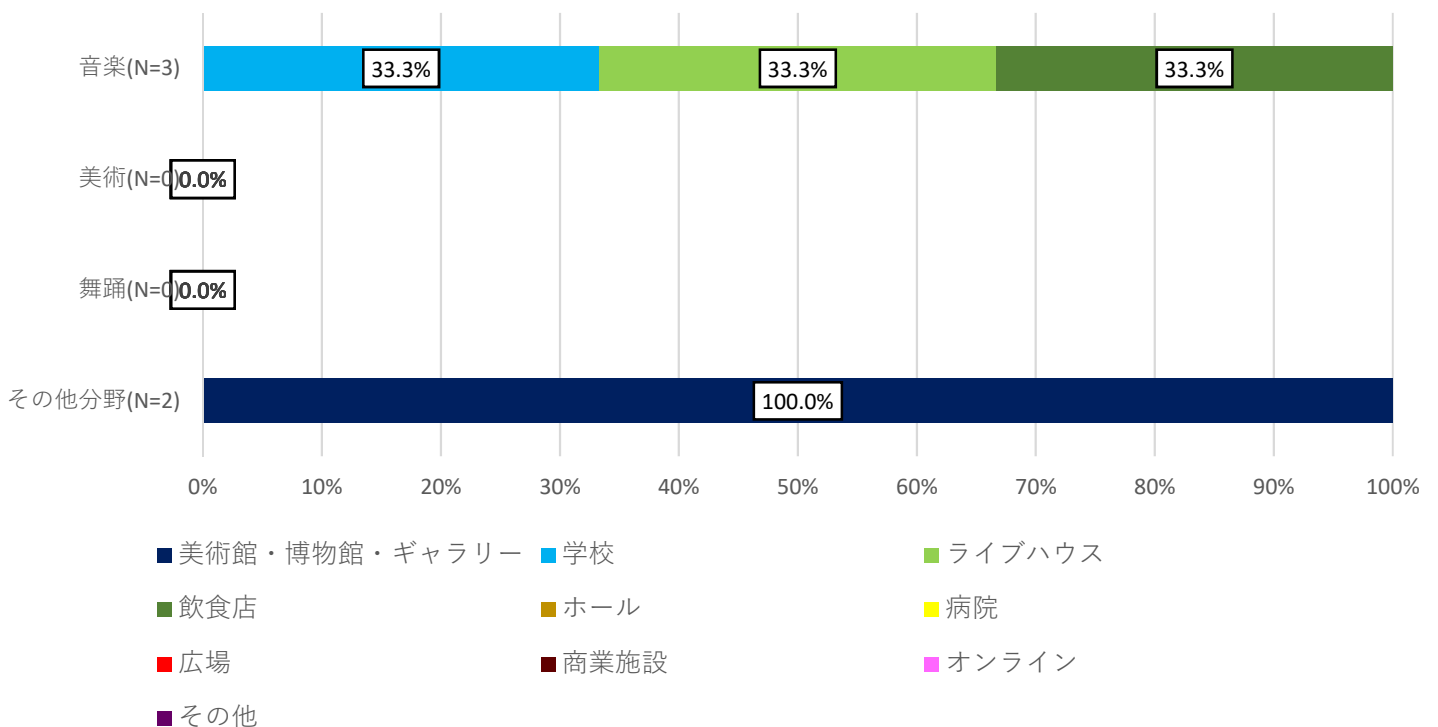
分野別の「音楽」では「学校」「ライブハウス」「飲食店」が33.3%と同じで、「その他分野」では「美術館・博物館・ギャラリー」が100%となっている。

【全体】



(N=6)

【分野別】



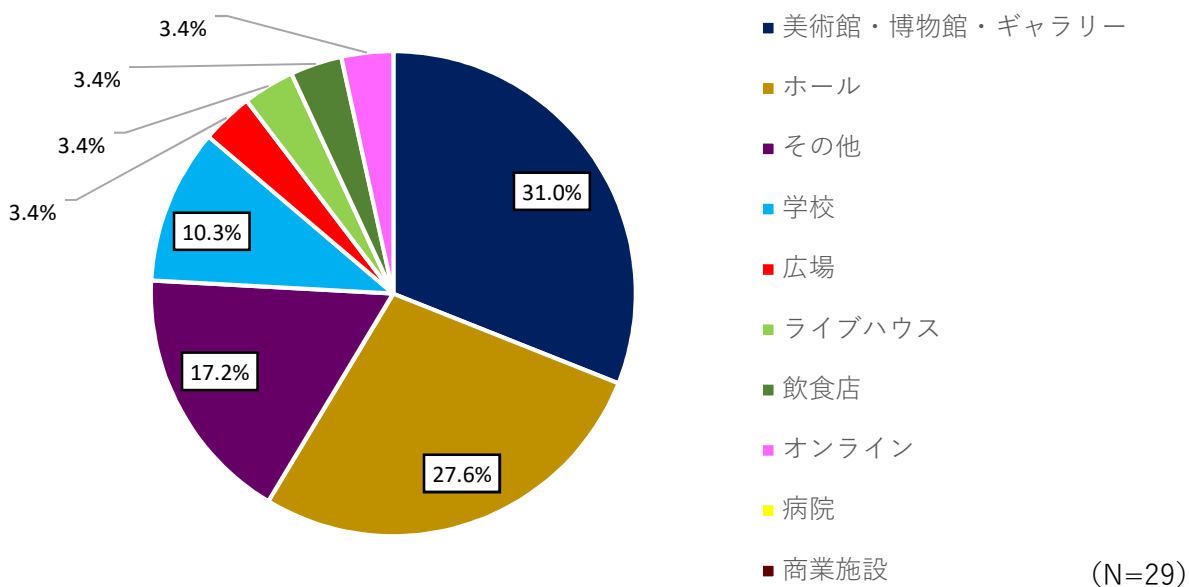
【参考値】

参考値（無効回答も集計に含む）で最も高いのは変わらず「美術館・博物館・ギャラリー」（31.0%）となっている。次いで高いのが「ホール」（27.6%）「その他」（17.2%）となっている。

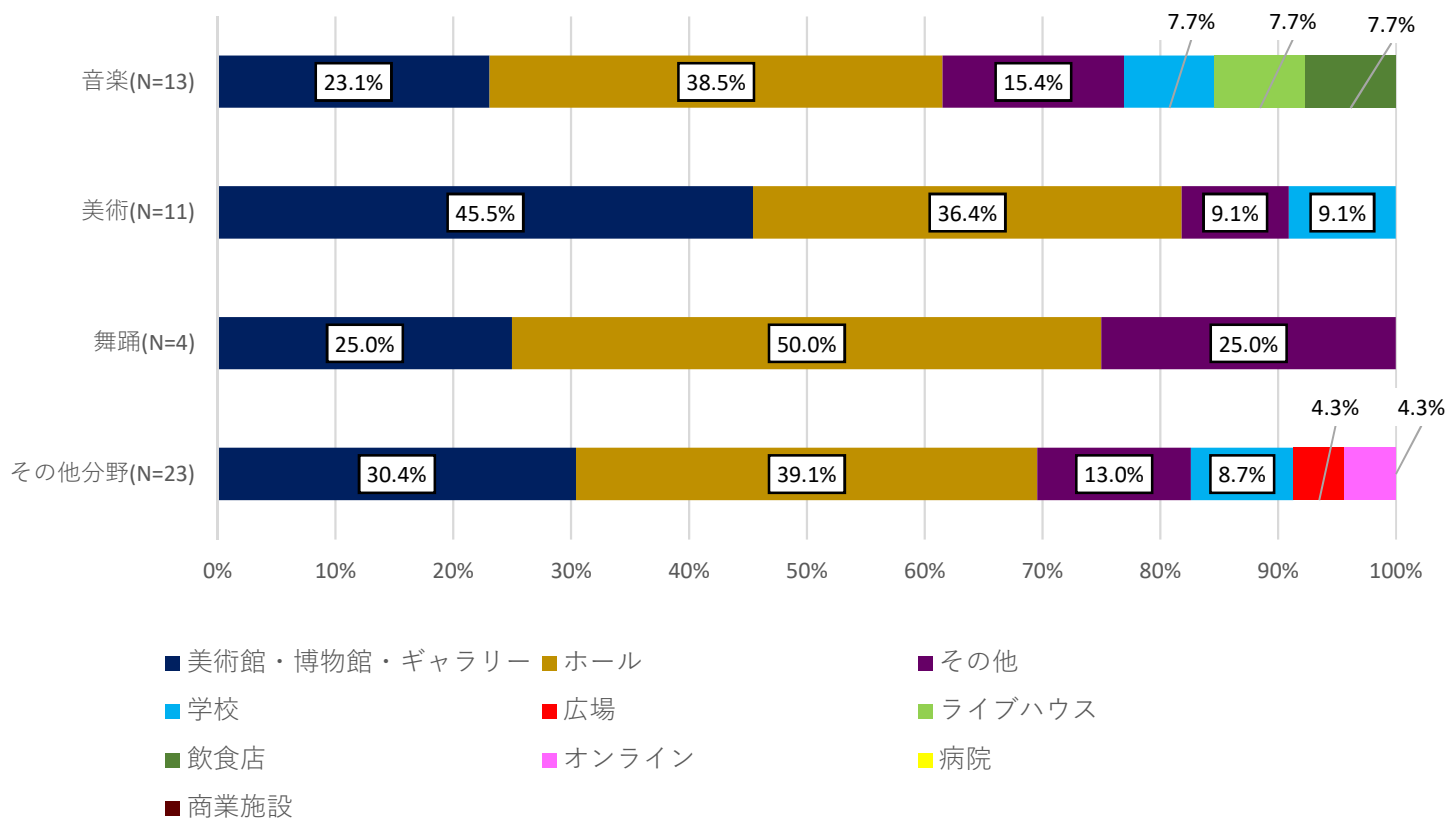
分野別では、各分野において、「美術館・博物館・ギャラリー」「ホール」「その他」が比率は前後するが、上位に入っている。

その他の回答としては「屋外」「NHKカルチャー」「ホテル」の回答があった。

【全体】



【分野別】



(4) (2) (3) で選択した場所の具体的な名称を御記入ください。

【市内】

庵治観光交流館/穴吹学園ホール（旧高松テルサ）/石の民俗資料館/eーとぴあ・かがわBBスクエア/大西・アオイ記念館/香川県教育会館 ミューズホール/香川県漆芸ホール（香川県漆芸研究所内）/香川県文化会館/香川県立ミュージアム/かがわプラザ/亀阜コミュニティセンター/川東コミュニティセンター/瓦町フラッグ/ギャラリーMON/公測公園/蔵・ぼんちゃん/香南歴史民俗郷土館/ことでん仏生山工場/サンクリスタル高松 視聴覚ホール/サンポートホール高松/サンメッセ香川/JRホテルクレメント高松/史跡 高松城跡 玉藻公園/高松国分寺ホール/高松市総合体育館/高松市美術館/高松ミライエ/丸亀町レッツホール/牟礼コミュニティセンターロビー/牟礼中央公園運動センター体育館/屋島山頂県木園/栗林公園/栗林公園商工奨励館/レクザムホール（香川県県民ホール）

【県内】

アイレックス（丸亀市綾歌総合文化会館）/香川県立琴平高等学校/ギャラリー寿美屋（丸亀市）/源内音楽ホール（さぬき市志度音楽ホール）/琴平町文化会館/サクラートたどつ（多度津町民会館）/ハイスタッフホール（観音寺市民会館）/東かがわ市交流プラザ/マリンウェーブ（三豊市文化会館）/MIMOCA/みろく公園

【県外】

アルテピアッツァ美唄（北海道）/大阪市立美術館/大空町文化会館（北海道）/鴨井の森（神奈川）/京セラ美術館（京都）/京都ロームシアター/高知県立美術館/国立新美術館（東京）/札幌教育文化会館/鶴沼ワイナリー（北海道）/徳島あすたむランド/なみもホール（福岡）/兵庫県立美術館王子分館

【国外】

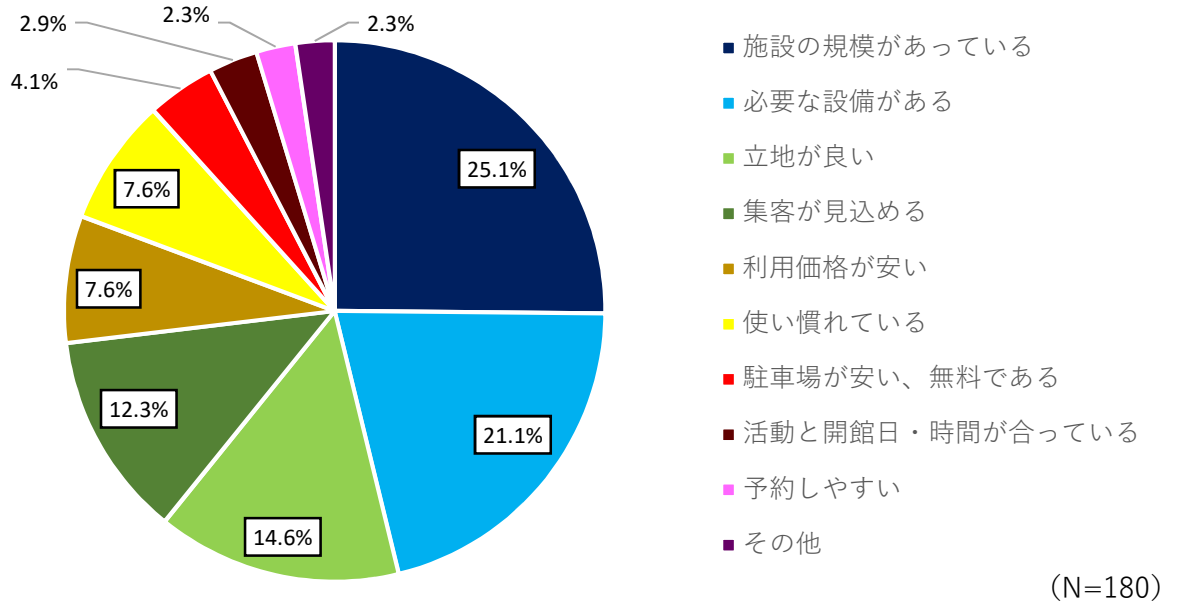
モエ・エ・シャンドンのぶどう畑（フランス）

【その他】

電網教室（ネット指導）

(5) (2) ~ (3) で回答した施設を主な文化芸術活動の発表場所に行っている理由を教えてください。

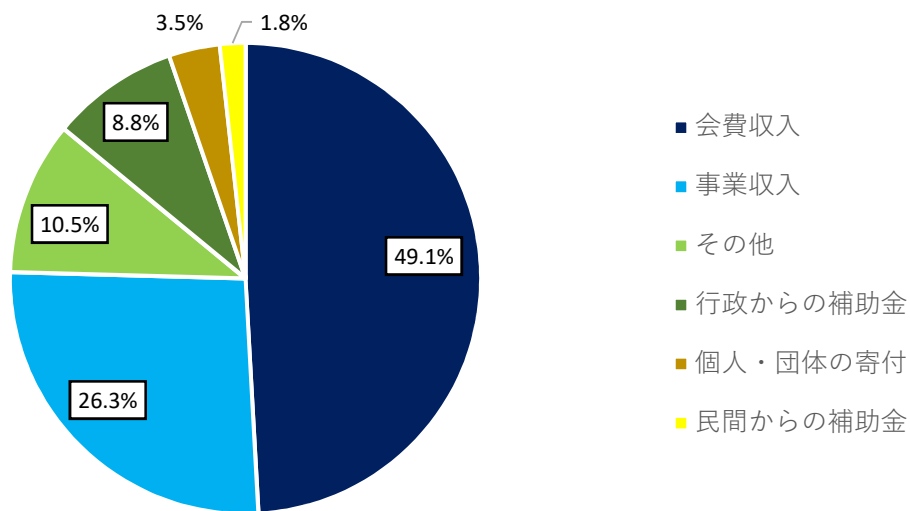
文化芸術活動の発表場所に行っている理由の上位は、第1位が「施設の規模があっている」(25.1%)、第2位が「必要な設備がある」(21.1%)、第3位が「立地が良い」(14.6%)となっている。その他の回答として「サイトスペシフィック作品の雰囲気や内容に合う」「指定管理者として管理を行っているから」「香川県漆芸研究所(香川県文化会館)の施設であるから」があった。



Q10 主たる活動資金はどこから得ていますか。

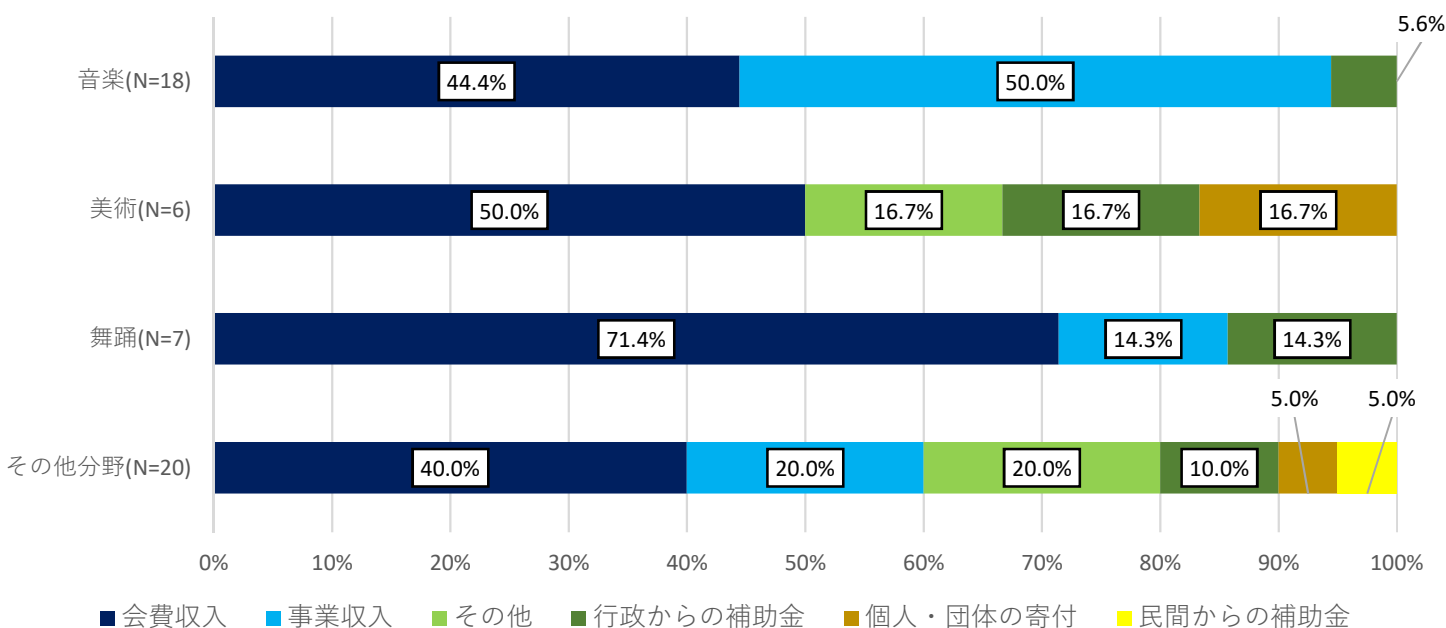
全体では、「会費収入」（49.1%）が最も高く、「事業収入」（26.3%）が続いている。
 分野別では、どの分野でも「会費収入」の割合は高く、特に「舞踊」では71.4%と最も高くなっている。
 「音楽」では「事業収入」が5割を占めていた。
 規模別では、「10～39人」「40～70人」「100人以上」では「会費収入」が5割を超えている。
 「事業収入」の割合が最も高かったのは「個人」で、57.1%である。
 活動年数別では、「事業収入」は「5年以内」「6年～10年以内」で占めている割合が高く、「11年～20年以内」「21年以上」では「会費収入」を始めとした「事業収入」を除いたものが占める割合が高くなっている。
 その他では、「複数にまたがる」「イベントプロデュース・教育事業」「出演者負担収入」「県予算」「自己負担」の回答があった。

【全体】

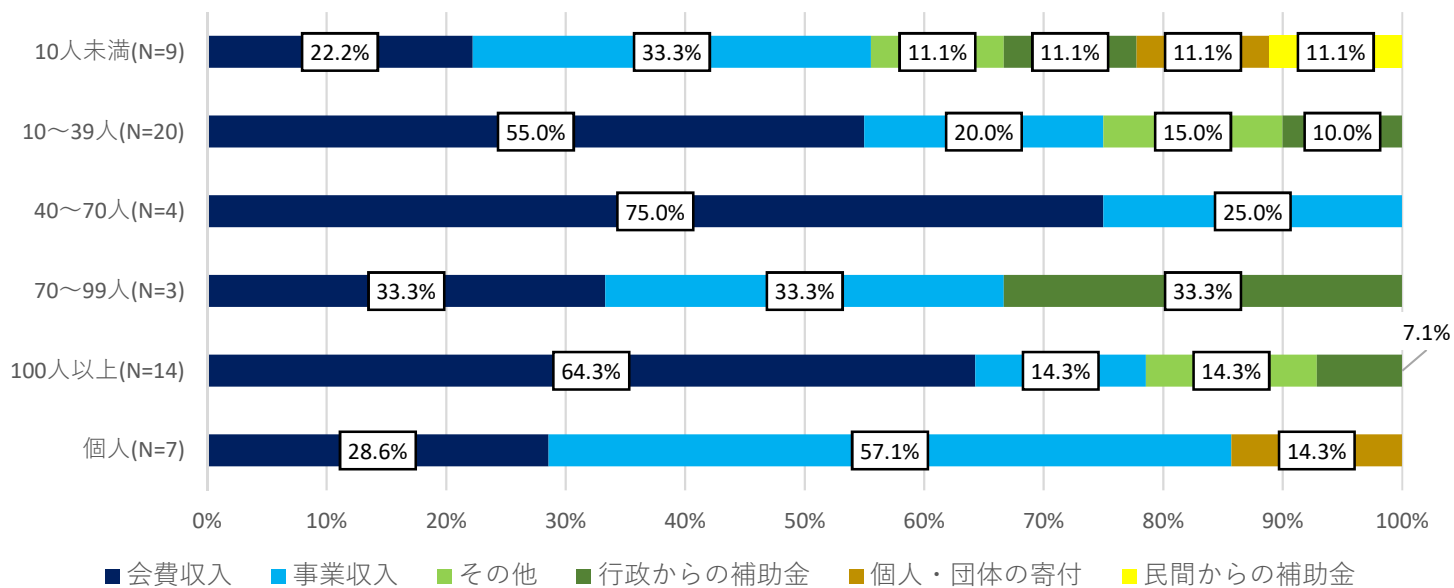


(N=57)

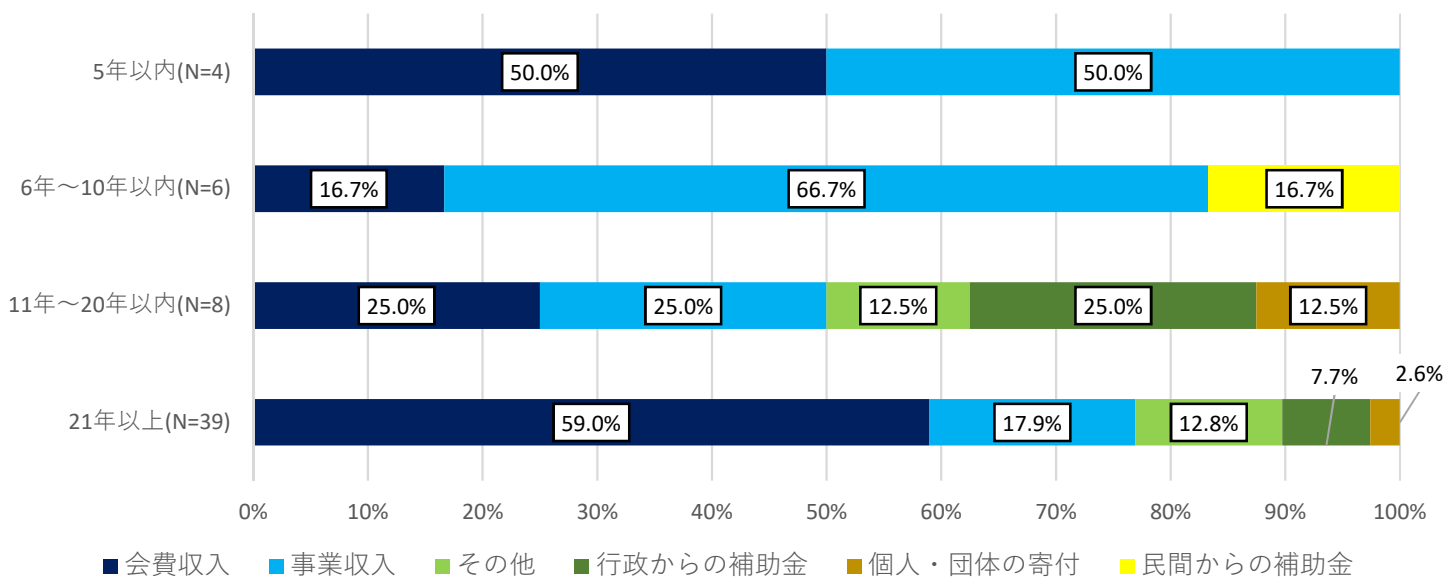
【分野別】



【規模別】



【活動年数別】



【参考値】

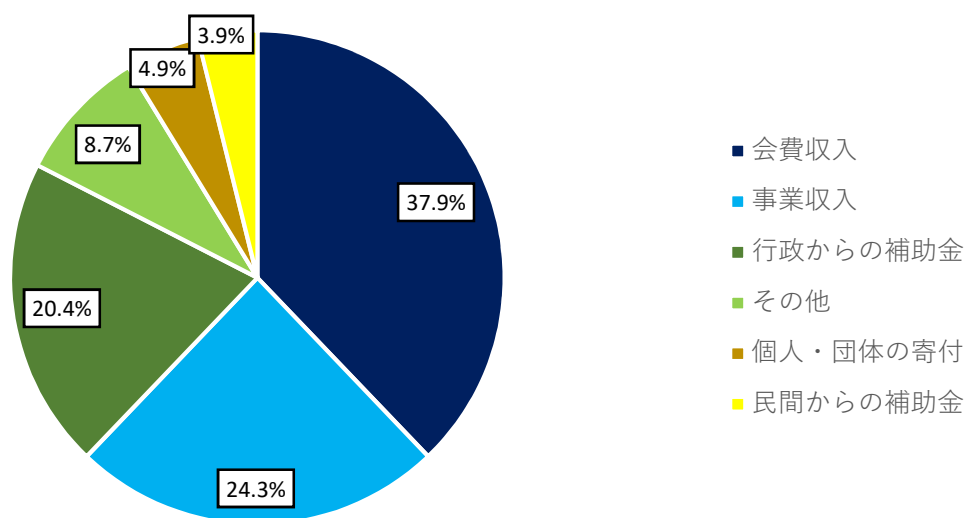
参考値（無効回答も集計に含む）の全体でも、「会費収入」（37.9%）が最も高く、「事業収入」（24.3%）、「行政からの補助金」（20.4%）が続いている。

分野別では、全分野において「会費収入」が占めている割合が高く、次いで高いのは「音楽」を除き、「行政からの補助金」となっている。

規模別では、「個人」「10人未満」では「事業収入」が占めている割合が高く、「10～39人」以上の規模では会費収入の占めている割合が高い。「個人」以外では、「行政からの補助金」が約2割～3割を占めている。

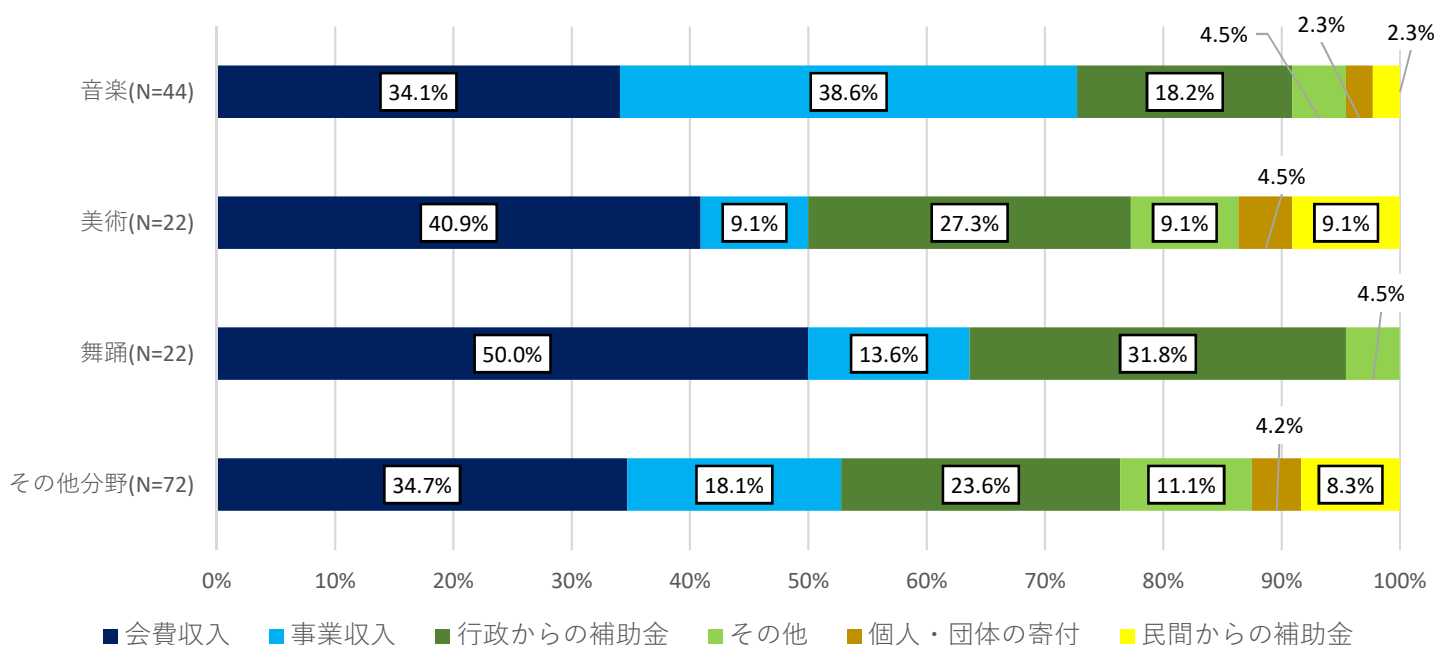
活動年数別では、「5年以内」「6年～10年以内」に「事業収入」が占める割合が高く、「11年～20年以内」「21年以上」では「行政からの補助金」「会費収入」の占める割合が高くなっている。

【全体】

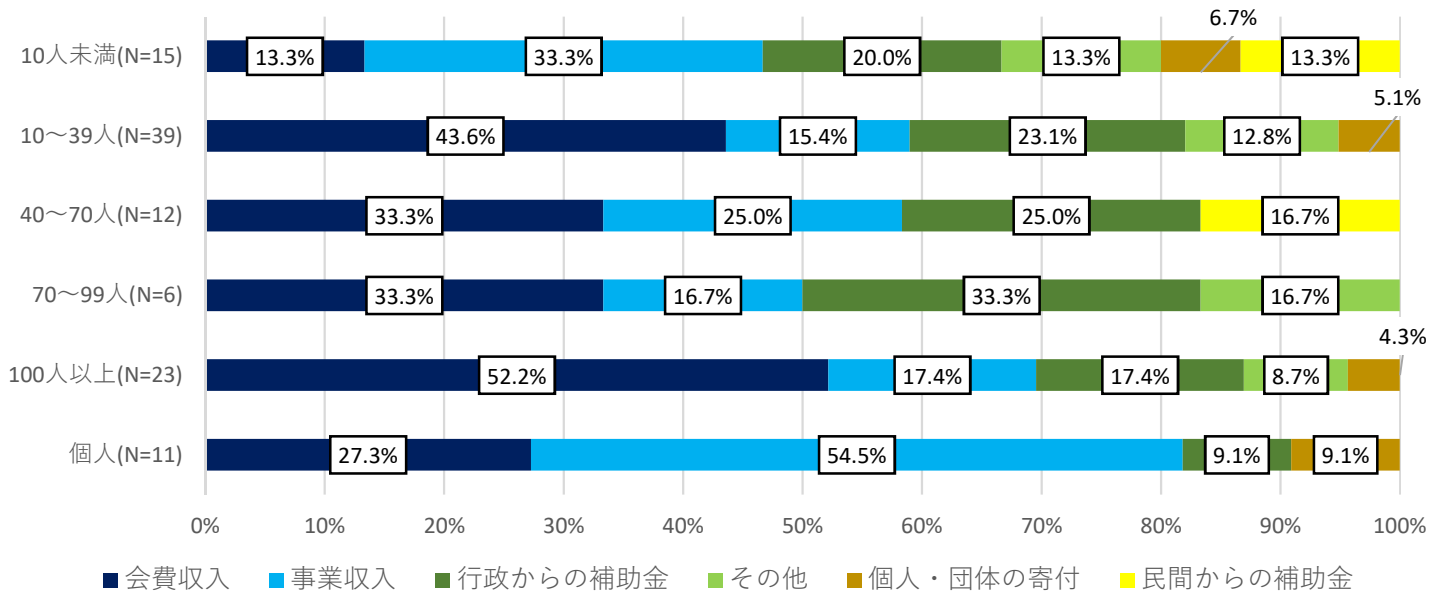


(N=103)

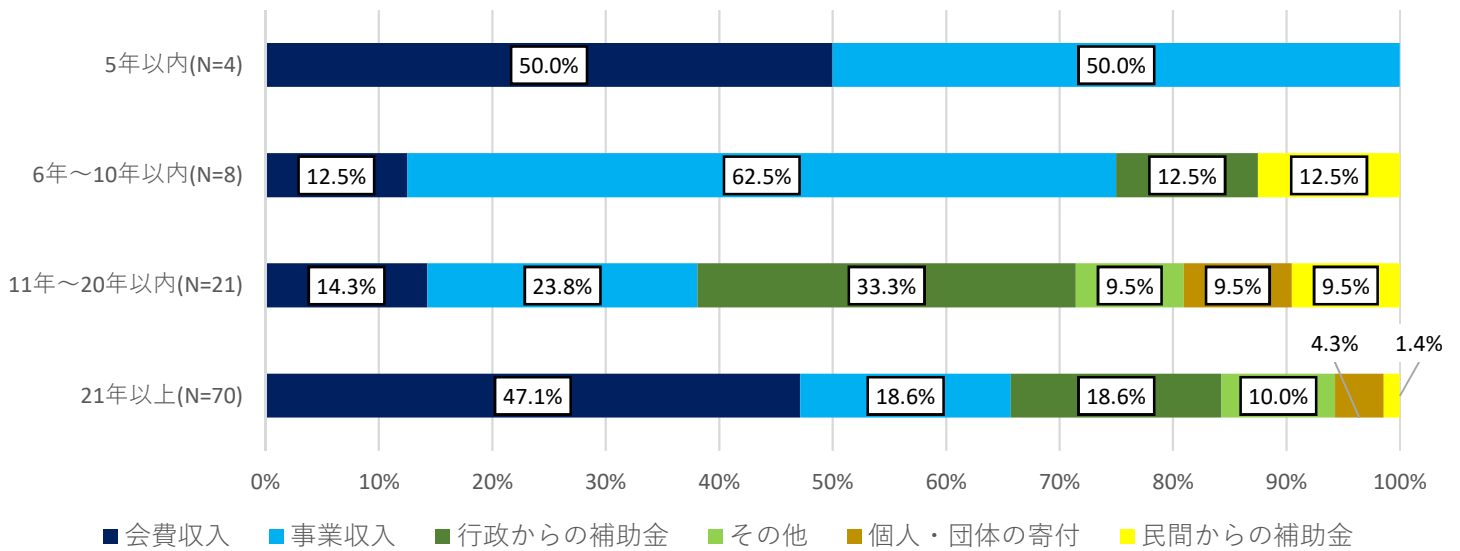
【分野別】



【規模別】



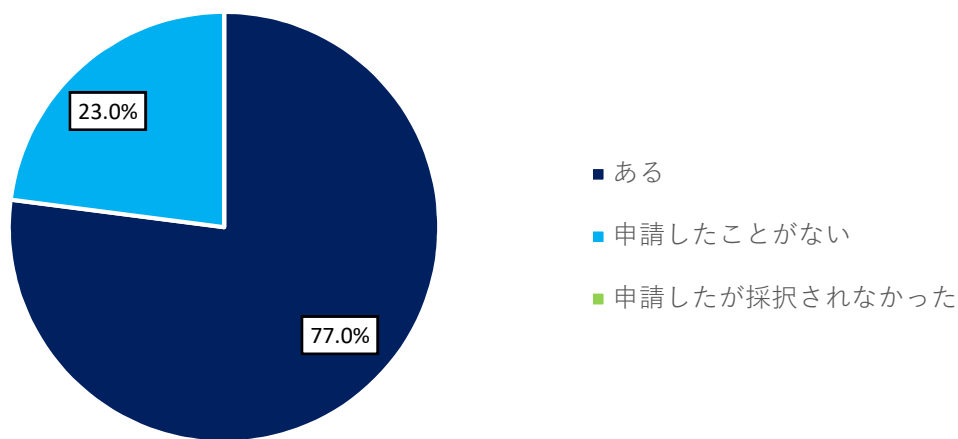
【活動年数別】



Q11 これまでに、補助金や助成金を受けたことがありますか。

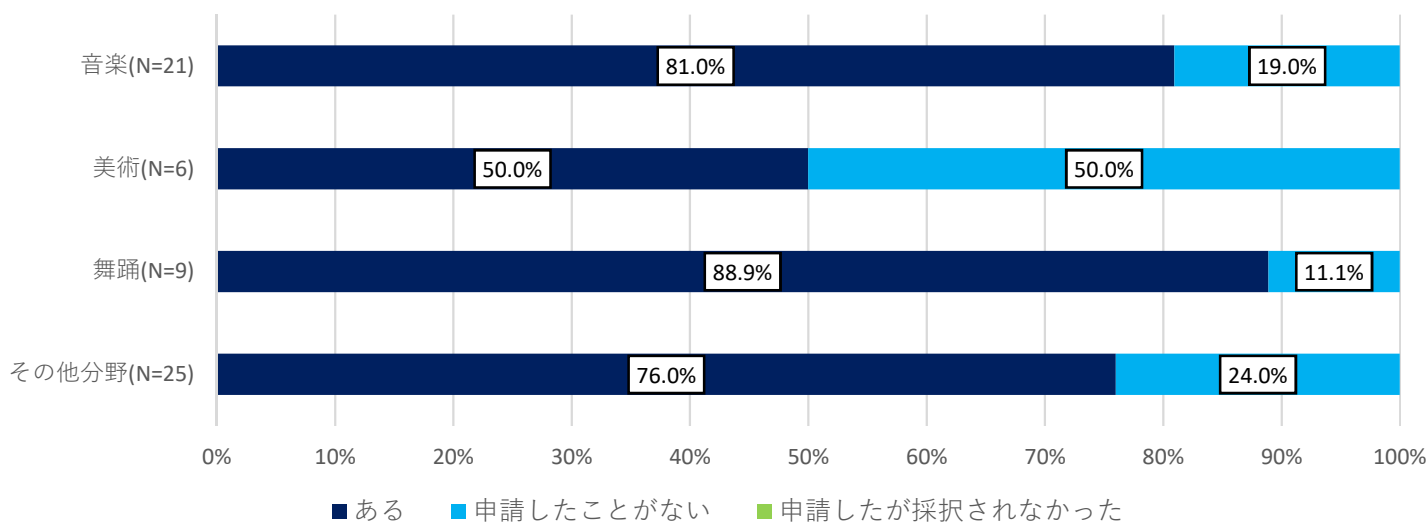
全体では、77.0%が「ある」としており、「申請したが採択されなかった」は0%である。
分野別では、「舞踊」が「ある」(88.9%)としている割合が最も高く、「美術」が「ある」(50.0%)としている割合が最も低かった。
規模別では、どの規模でも「ある」が5割以上となっている。
活動年数別では、どの活動年数でも「ある」が75%以上となっている。

【全体】

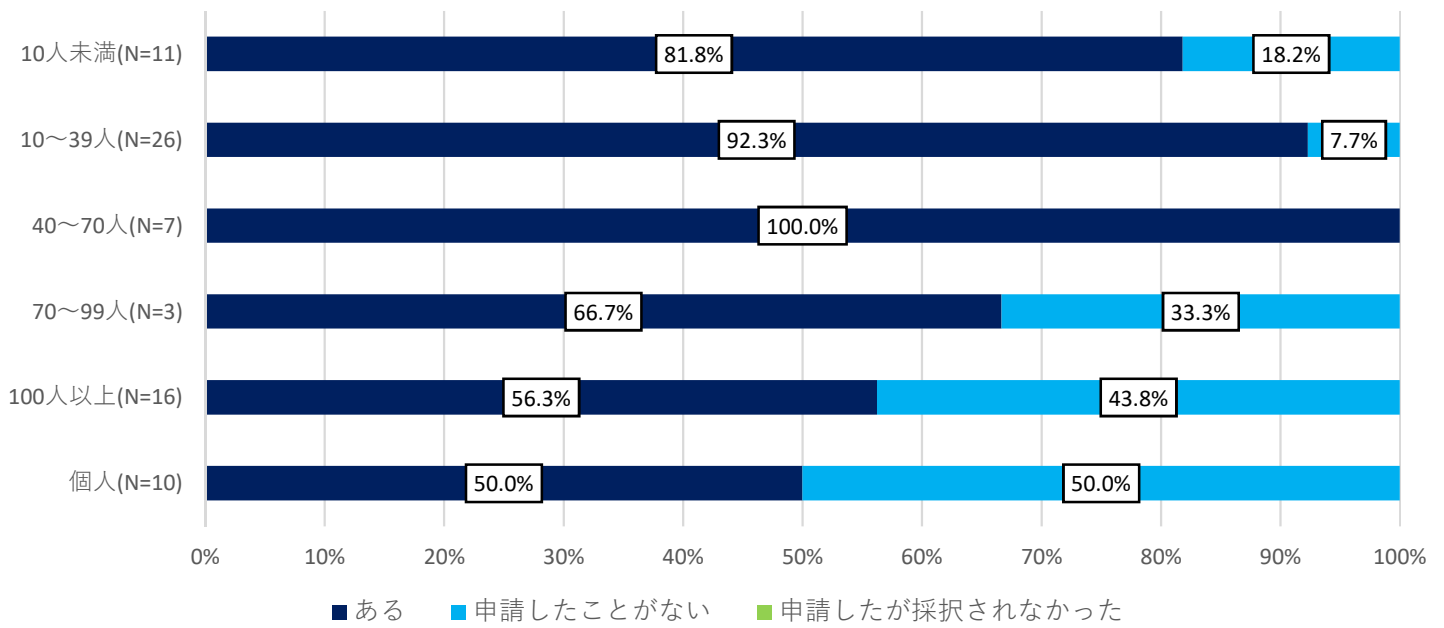


(N=74)

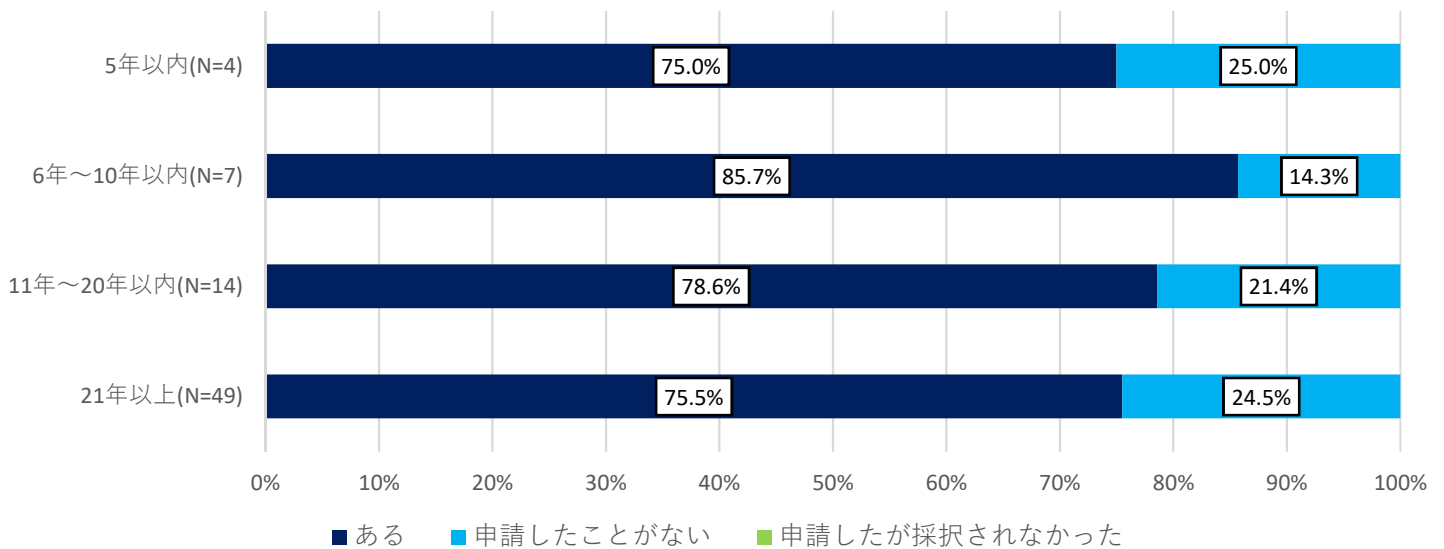
【分野別】



【規模別】



【活動年数別】



Q12 Q11で「申請したことがない」を選択された方に伺います。申請したことがない主な理由を教えてください。

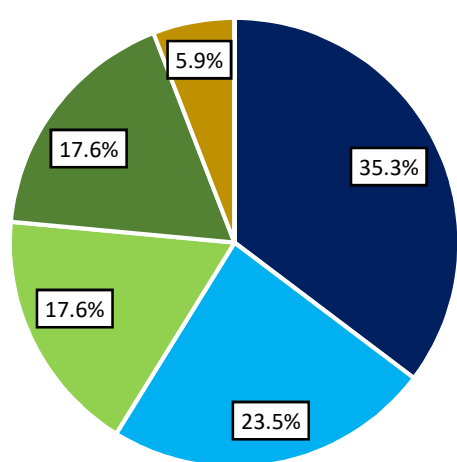
全体では、「申請の必要がない」（35.3%）が最も高く、「補助金や助成金に関する情報がない」（23.5%）、「該当する補助金や助成金がない」（17.6%）と続いている。

分野別では、「美術」が「申請の必要がない」の割合が高く、「舞踊」を除いた各分野では「補助金や助成金に関する情報がない」が約3割を占めている。

規模別では、「個人」「10人未満」では「補助金や助成金に関する情報がない」の割合が高く、「個人」では「手続きの手間が大きい」も割合が高い。「70人～99人」以上の規模では一定数「該当する補助金や助成金がない」との回答がある。

活動年数別では、年数が長くなるほど、「申請の必要がない」以外の原因で、申請をしたことがないとなっている。

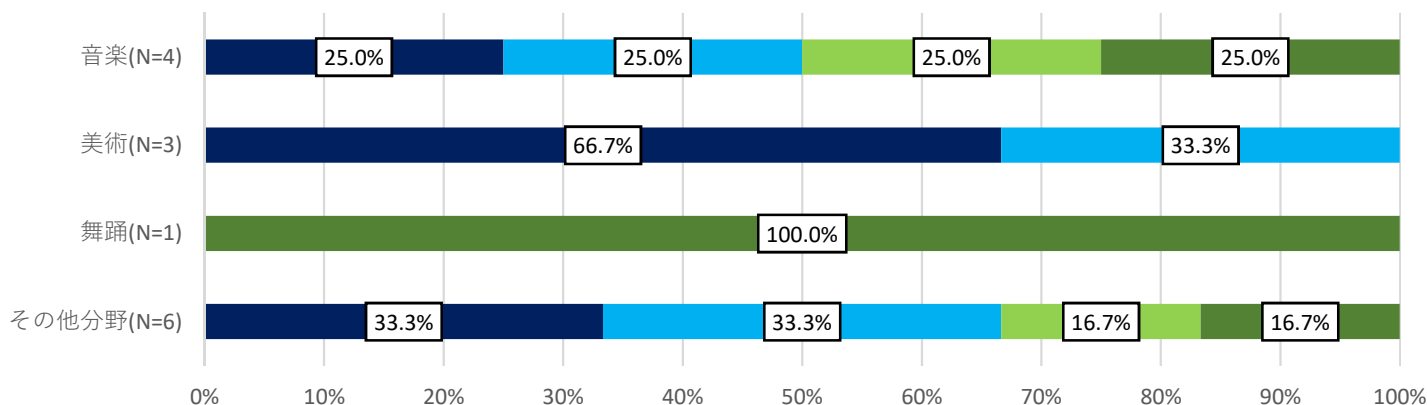
【全体】



- 申請の必要がない
- 補助金や助成金に関する情報がない
- 該当する補助金や助成金がない
- 手続きの手間が大きい
- その他
- 補助金や助成金があることは知っているが、申請方法が分からない

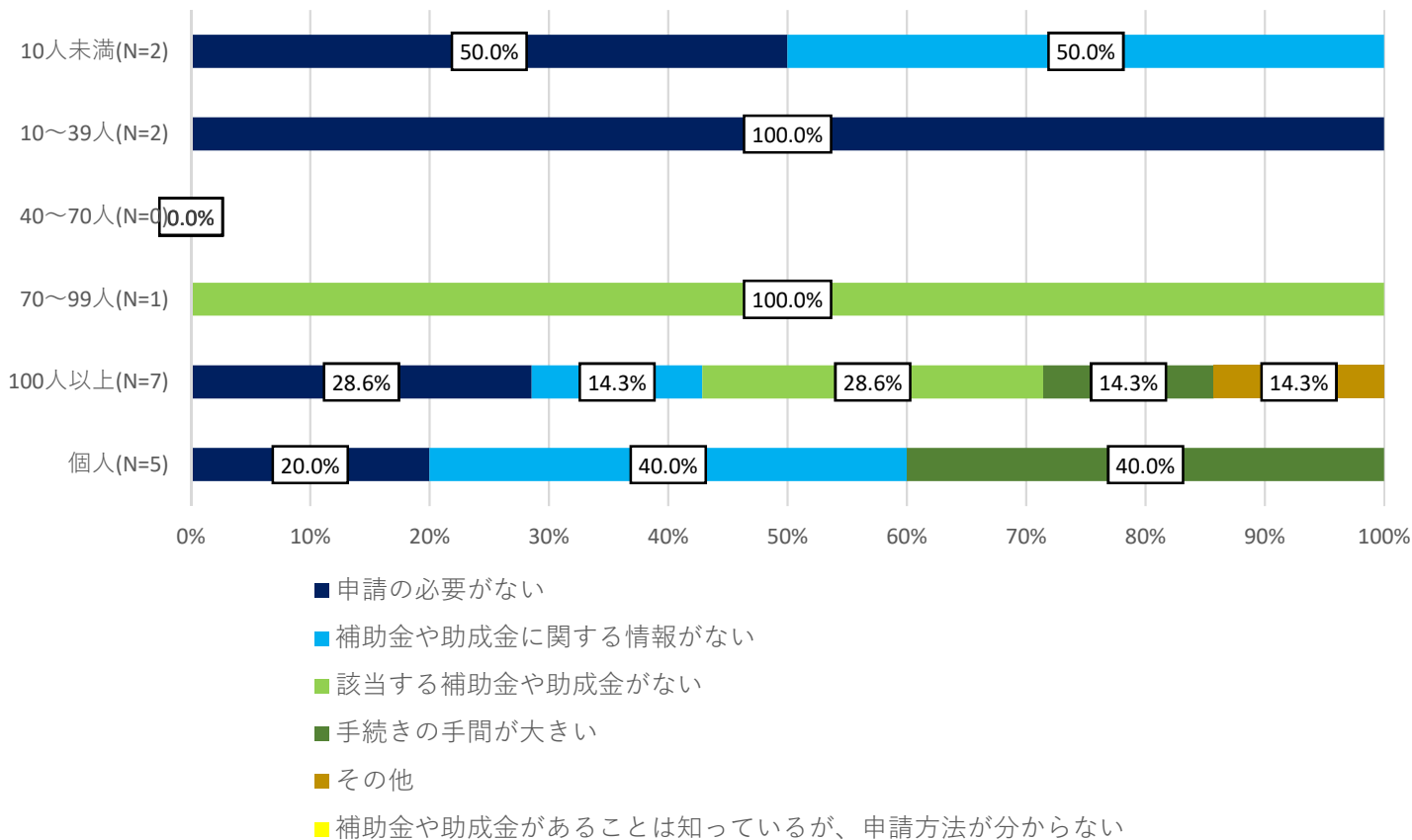
(N=17)

【分野別】

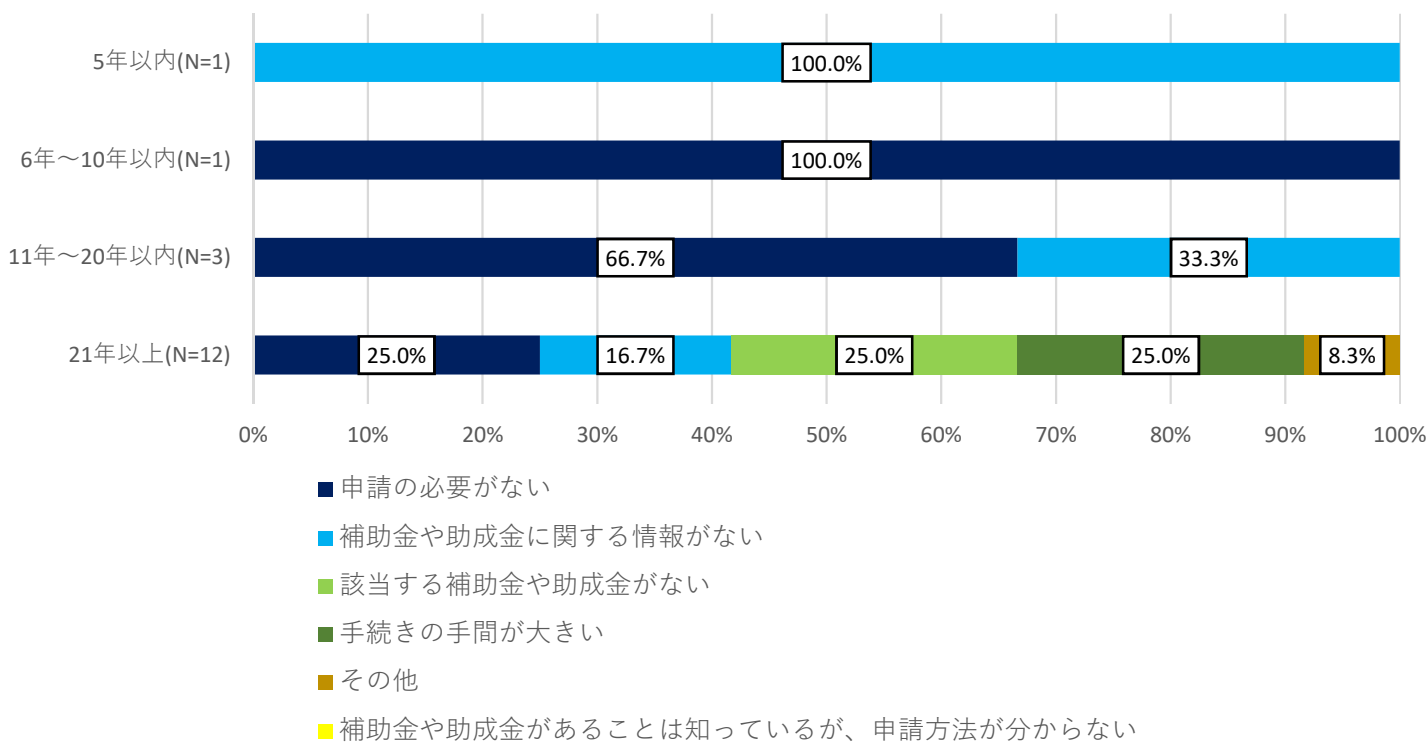


- 申請の必要がない
- 補助金や助成金に関する情報がない
- 該当する補助金や助成金がない
- 手続きの手間が大きい
- その他
- 補助金や助成金があることは知っているが、申請方法が分からない

【規模別】



【活動年数別】

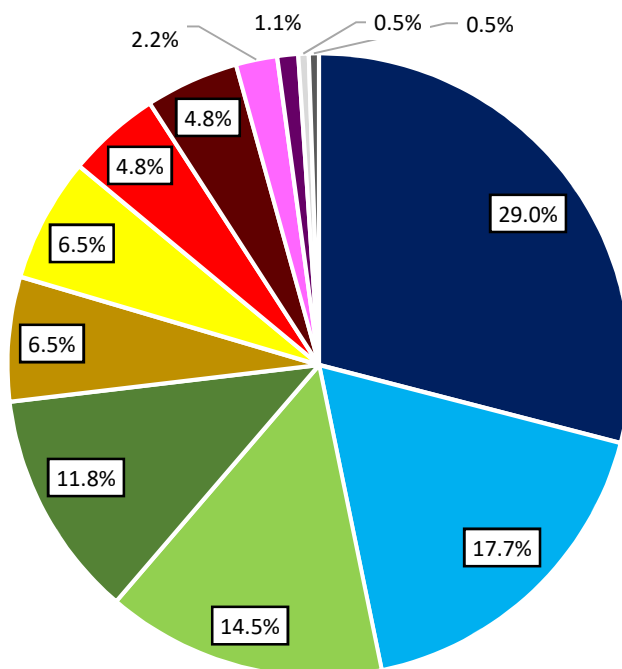


Q13 文化芸術活動を行う上で、あるとよいと思う支援を教えてください。

あるとよいと思う支援の上位は、第1位「文化芸術活動についての助成金」（29.0%）、第2位「文化芸術活動を生かした機会の創出」（17.7%）、第3位「文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、集約」（14.5%）であった。

その他の回答では「学校に対しての支援」があった。

【全体】

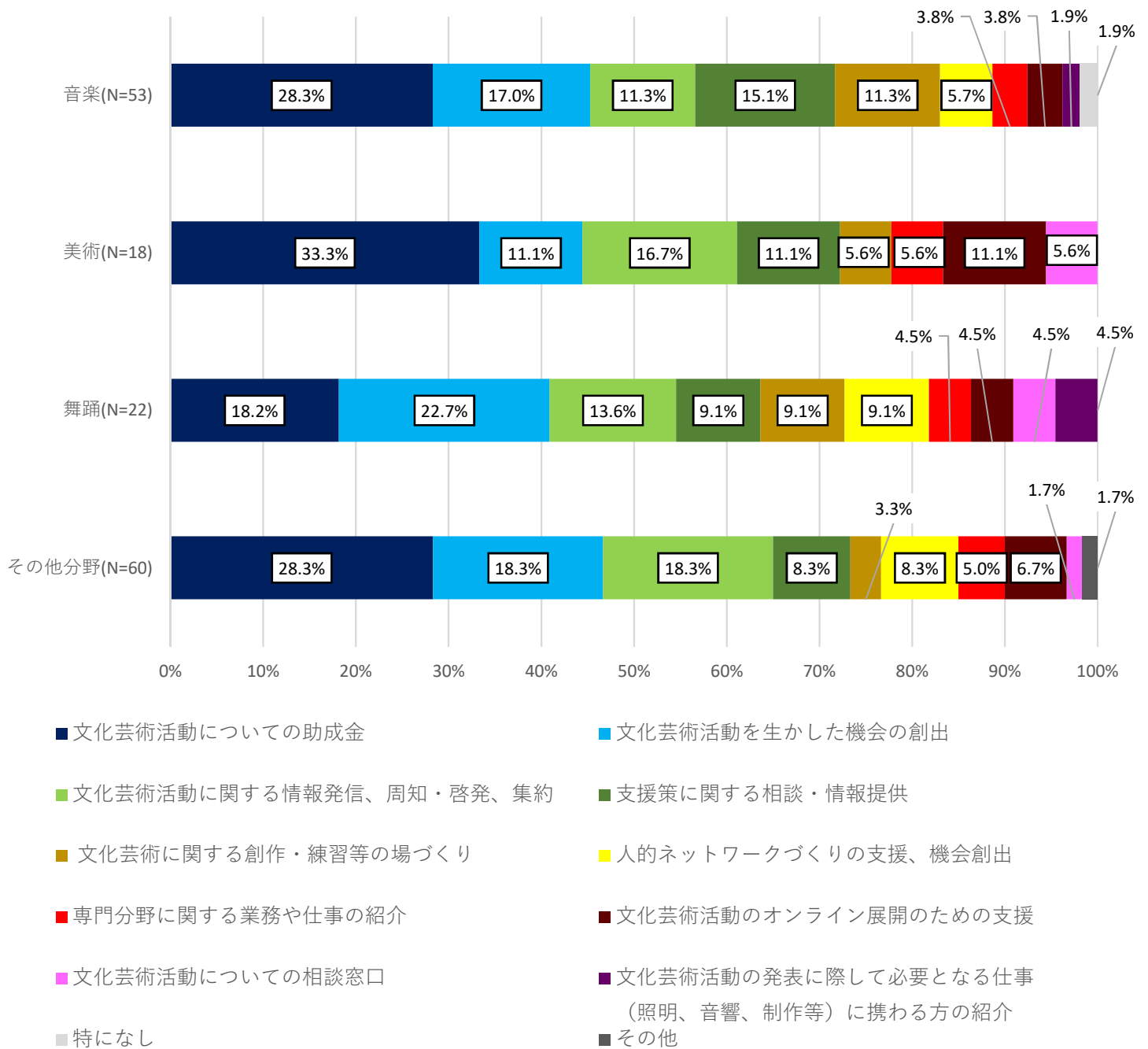


(N=186)

- 文化芸術活動についての助成金
- 文化芸術活動を生かした機会の創出
- 文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、集約
- 支援策に関する相談・情報提供
- 文化芸術に関する創作・練習等の場づくり
- 人的ネットワークづくりの支援、機会創出
- 専門分野に関する業務や仕事の紹介
- 文化芸術活動のオンライン展開のための支援
- 文化芸術活動についての相談窓口
- 文化芸術活動の発表に際して必要となる仕事（照明、音響、制作等）に携わる方の紹介
- 特になし
- その他

【分野別】

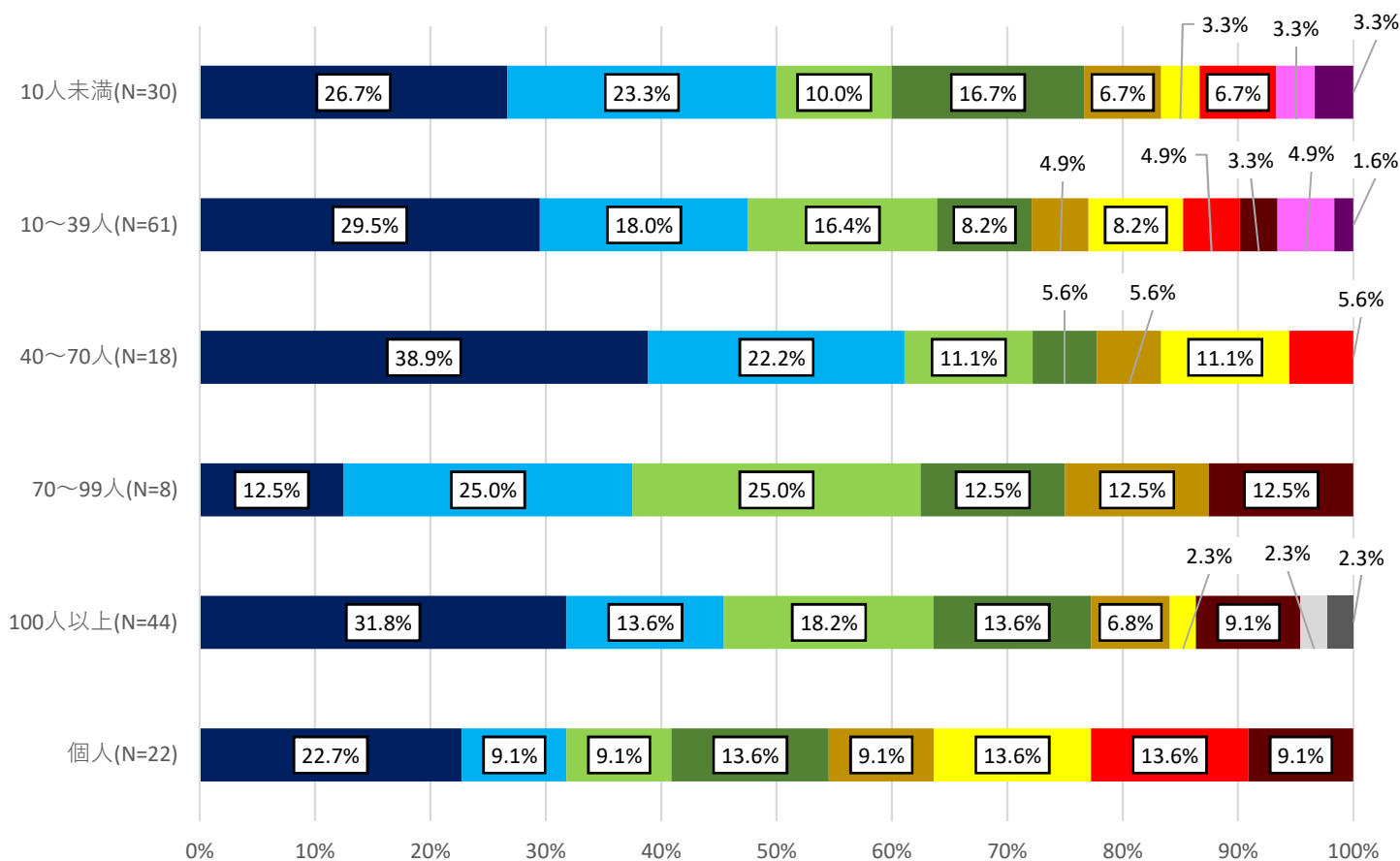
各分野、全体とほぼ同じ割合となっており、「舞踊」が「文化芸術活動についての助成金」（18.2%）より「文化芸術活動を生かした機会の創出」（22.7%）が若干高くなっている。



【規模別】

団体においては、「文化芸術活動についての助成金」と「文化芸術活動を生かした機会の創出」「文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、集約」を合わせると、6割以上を占めている。

個人では、「文化芸術活動についての助成金」が最も高く、「支援策に関する相談・情報提供」「人的ネットワークづくりの支援、機会創出」「専門分野に関する業務や仕事の紹介」が13.6%と同じ割合で続いている。

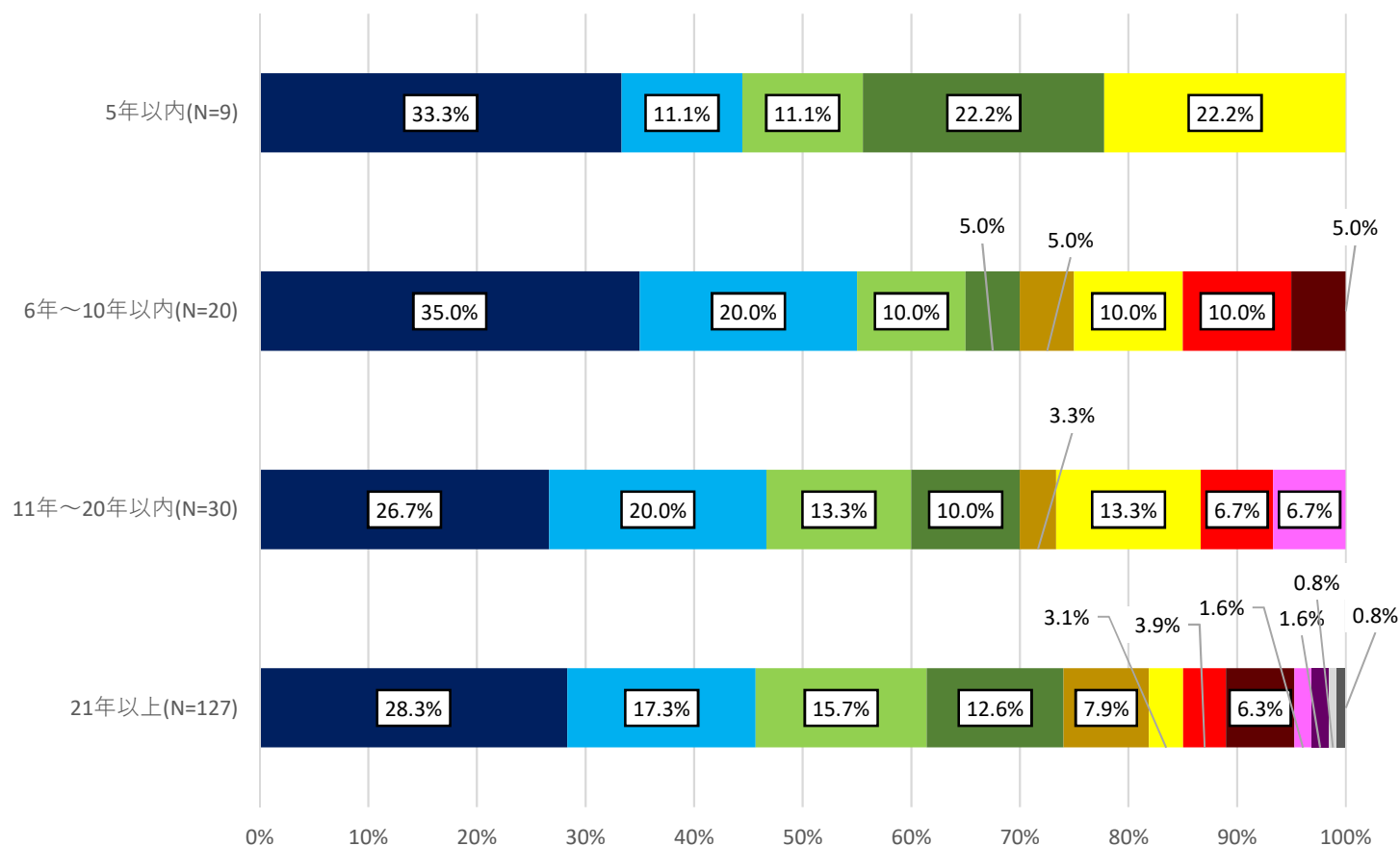


- 文化芸術活動についての助成金
- 文化芸術活動を生かした機会の創出
- 文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、集約
- 支援策に関する相談・情報提供
- 文化芸術に関する創作・練習等の場づくり
- 人的ネットワークづくりの支援、機会創出
- 専門分野に関する業務や仕事の紹介
- 文化芸術活動のオンライン展開のための支援
- 文化芸術活動についての相談窓口
- 文化芸術活動の発表に際して必要となる仕事（照明、音響、制作等）に携わる方の紹介
- 特になし
- その他

【活動年数別】

「5年以内」では「支援策に関する相談・情報提供」「人的ネットワークづくりの支援、機会創出」（各22.2%）が全体より10%以上上回っている。

活動年数が長くなるほど「文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、集約」の割合が高くなり、「人的ネットワークづくりの支援、機会創出」の割合が低くなっている。



- 文化芸術活動についての助成金
- 文化芸術活動を生かした機会の創出
- 文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、集約
- 支援策に関する相談・情報提供
- 文化芸術に関する創作・練習等の場づくり
- 人的ネットワークづくりの支援、機会創出
- 専門分野に関する業務や仕事の紹介
- 文化芸術活動のオンライン展開のための支援
- 文化芸術活動についての相談窓口
- 文化芸術活動の発表に際して必要となる仕事（照明、音響、制作等）に携わる方の紹介
- 特になし
- その他

Q14 文化芸術活動において、困りごとはありますか。（又は、ありましたか。）

(1) 新型コロナウイルス感染拡大の前・・・令和2年2月以前

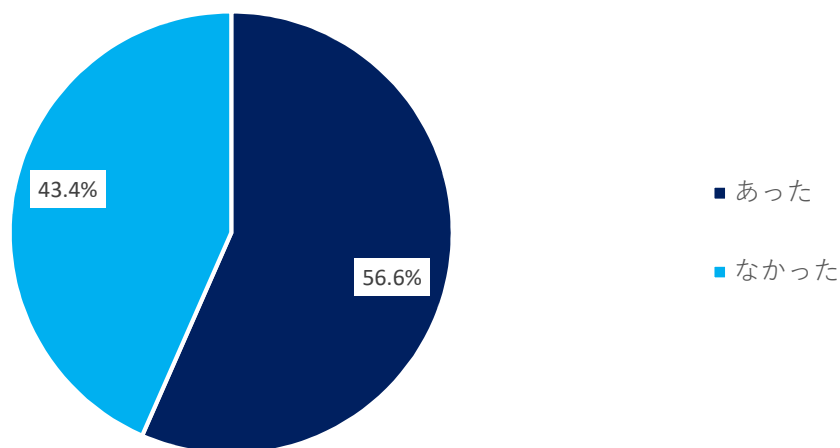
全体では「あった」（56.6%）が高い。

分野別では、「舞踊」の「あった」（77.8%）の割合が多分野より高く、「美術」は「なかった」（57.1%）の割合の方が「あった」（42.9%）より高い。

規模別では、「100人以上」のみ「なかった」（70.6%）の割合が高く、他規模では「あった」が5割を超えている。

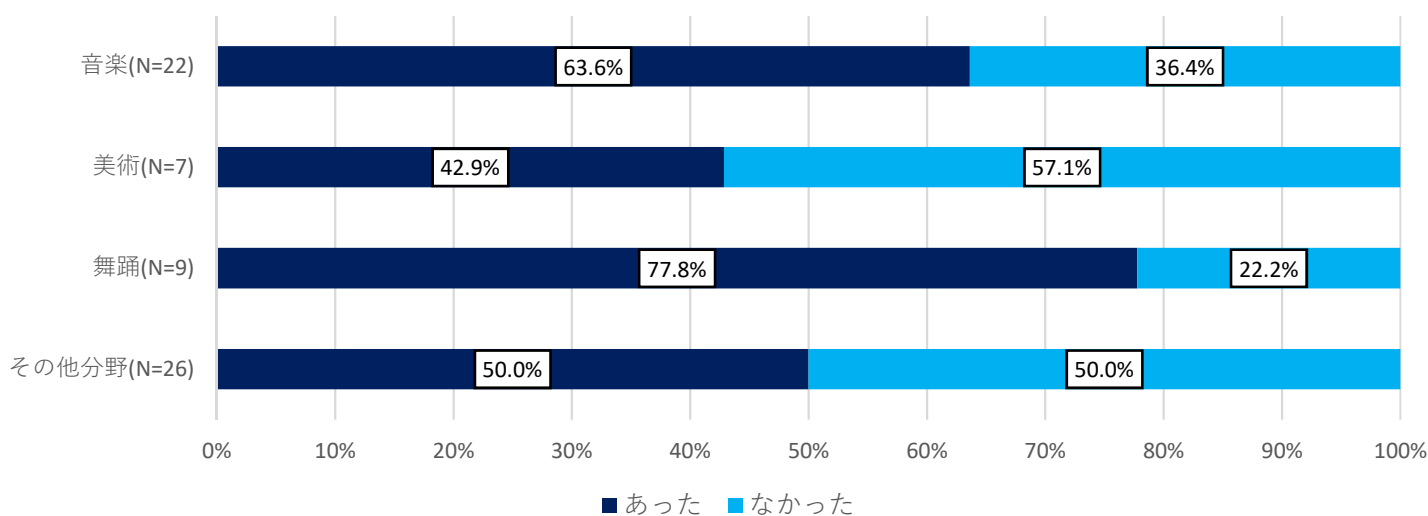
活動年数別では、全体的に5割以上が「あった」となっている。

【全体】

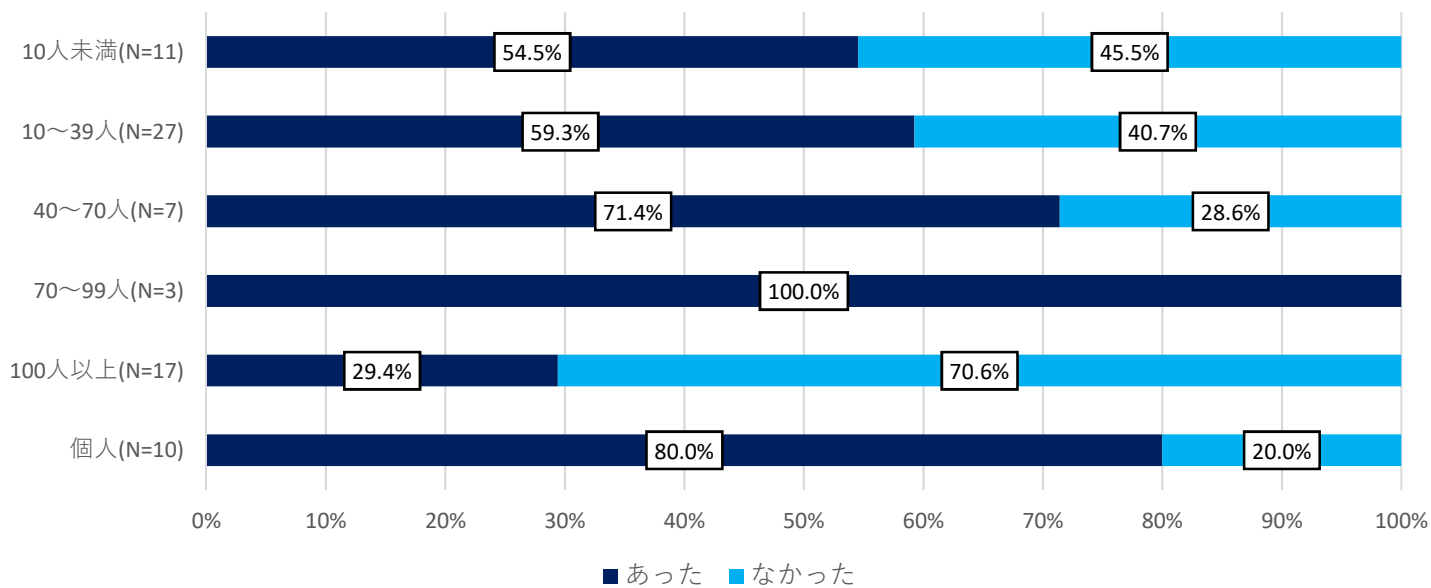


(N=76)

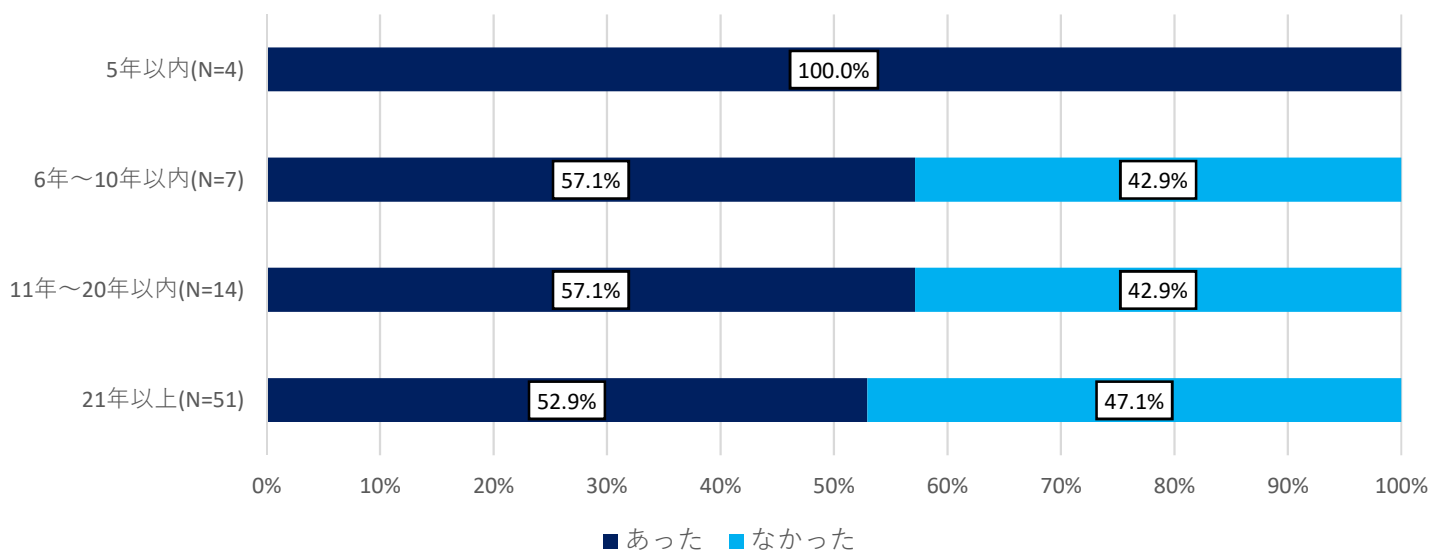
【分野別】



【規模別】



【活動年数別】

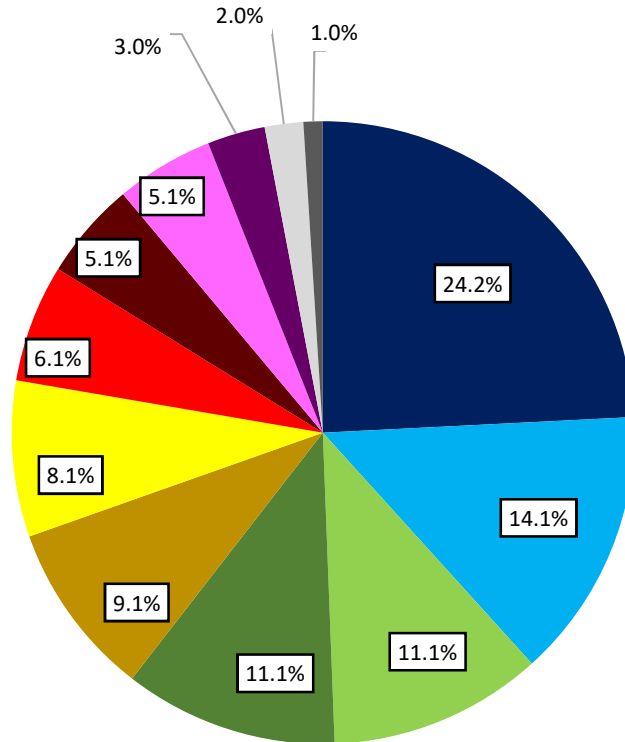


(2) (1) で「あった」を選択された方に伺います。どのようなことに困っていましたか。

【全体】

困りごとの詳細として、上位は、第1位「活動資金が足りない」(24.2%)、第2位「情報発信が十分にできていない」(14.1%)、第3位「構成メンバーが少ない」「活動が固定化、停滞化している」(11.1%)となっている。「インターネットやSNSの使い方が分からない」は0%である。

その他の回答として、「高齢者、障がい者が参加できない」「練習場所にエレベーター等がないため、障がいのある方には階段で厳しい」「障がいのきつい方は団員に誘えない」「高齢化」があった。

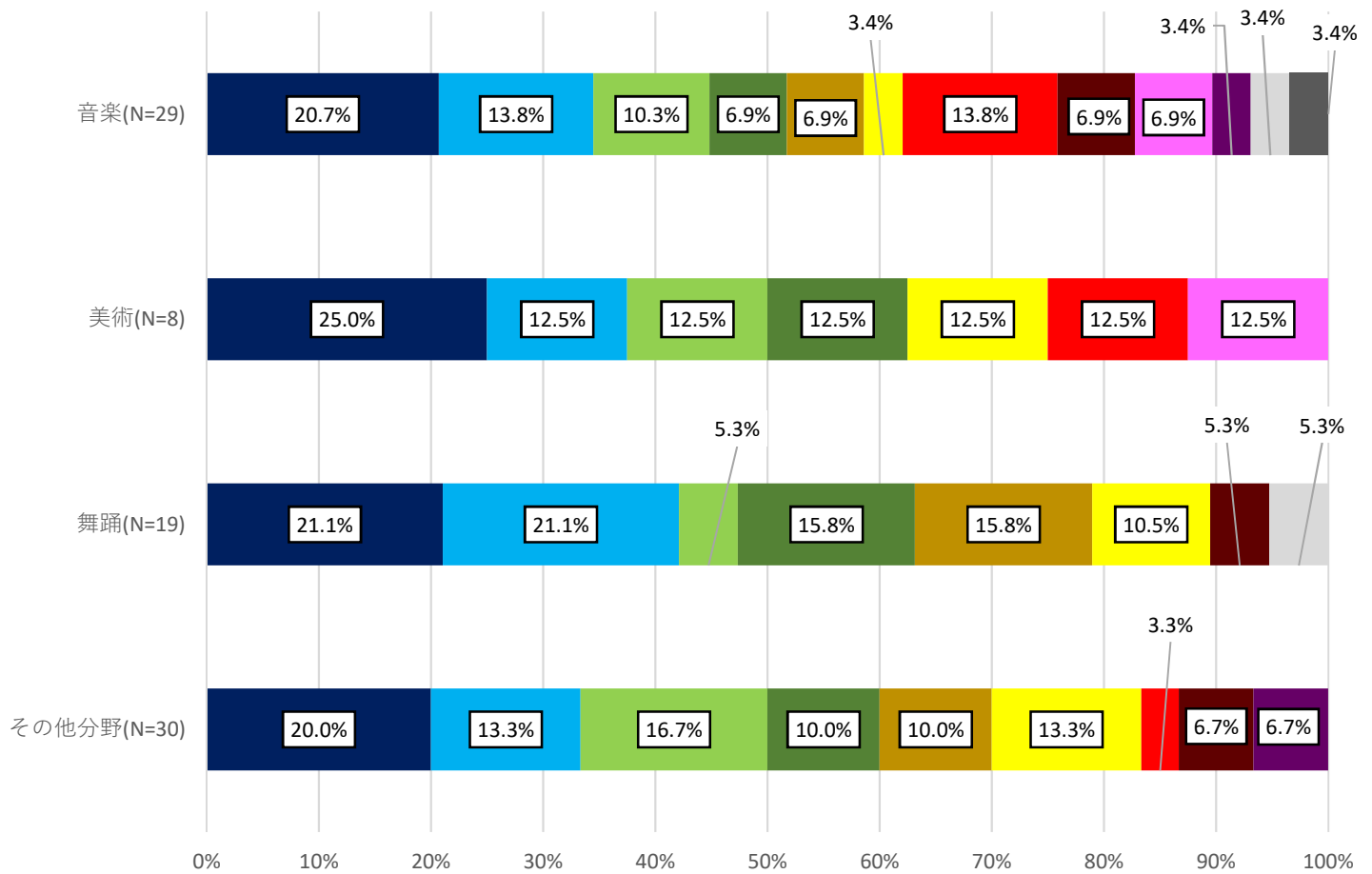


(N=99)

- 活動資金が足りない
- 情報発信が十分にできていない
- 構成メンバーが少ない
- 活動内容が固定化、停滞化している
- 客層の幅が狭い
- 新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれない
- 練習場所・発表する場所が少ない
- 人的ネットワークの確保が難しい
- 補助金や助成金等に関する情報の確保が難しい
- その他
- 著作権・肖像権といった権利や法律のことが分からない
- 市内外の類似団体の活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保が難しい
- インターネットやSNSの使い方が分からない

【分野別】

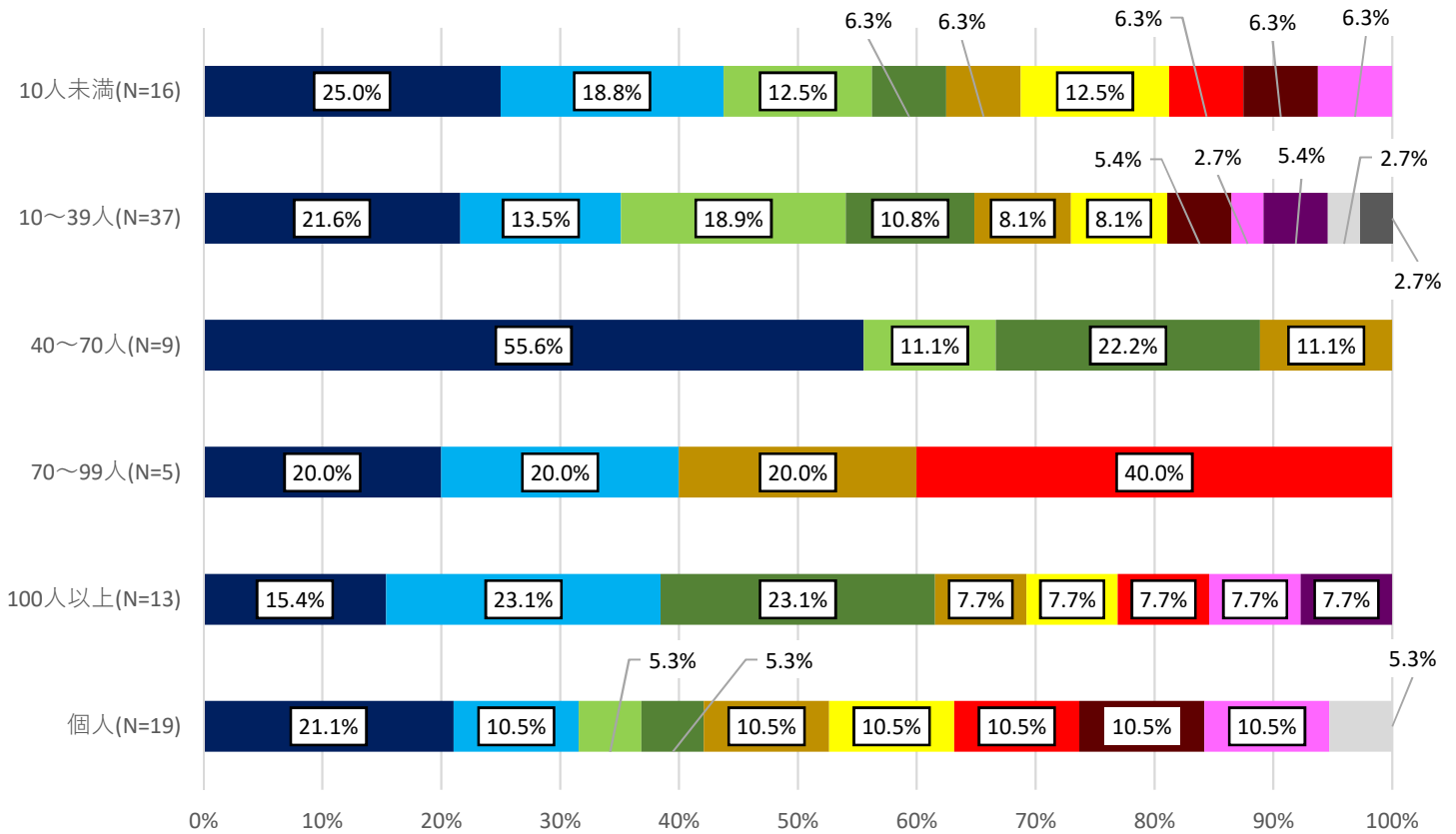
全分野において「活動資金が足りない」が2割を超えており、割合が他項目より高い。（「舞踊」では「情報発信が十分にできていない」と同率）



- 活動資金が足りない
- 情報発信が十分にできていない
- 構成メンバーが少ない
- 活動内容が固定化、停滞化している
- 客層の幅が狭い
- 新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれない
- 練習場所・発表する場所が少ない
- 人的ネットワークの確保が難しい
- 補助金や助成金等に関する情報の確保が難しい
- その他
- 著作権・肖像権といった権利や法律のことが分からない
- 市内外の類似団体の活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保が難しい
- インターネットやSNSの使い方が分からない

【規模別】

「活動資金が足りない」は「40～70人」が55.6%と大幅に高く、他は2割前後となっている。
 「練習場所・発表する場所が少ない」は「70～99人」が4割と他規模より高くなっている。

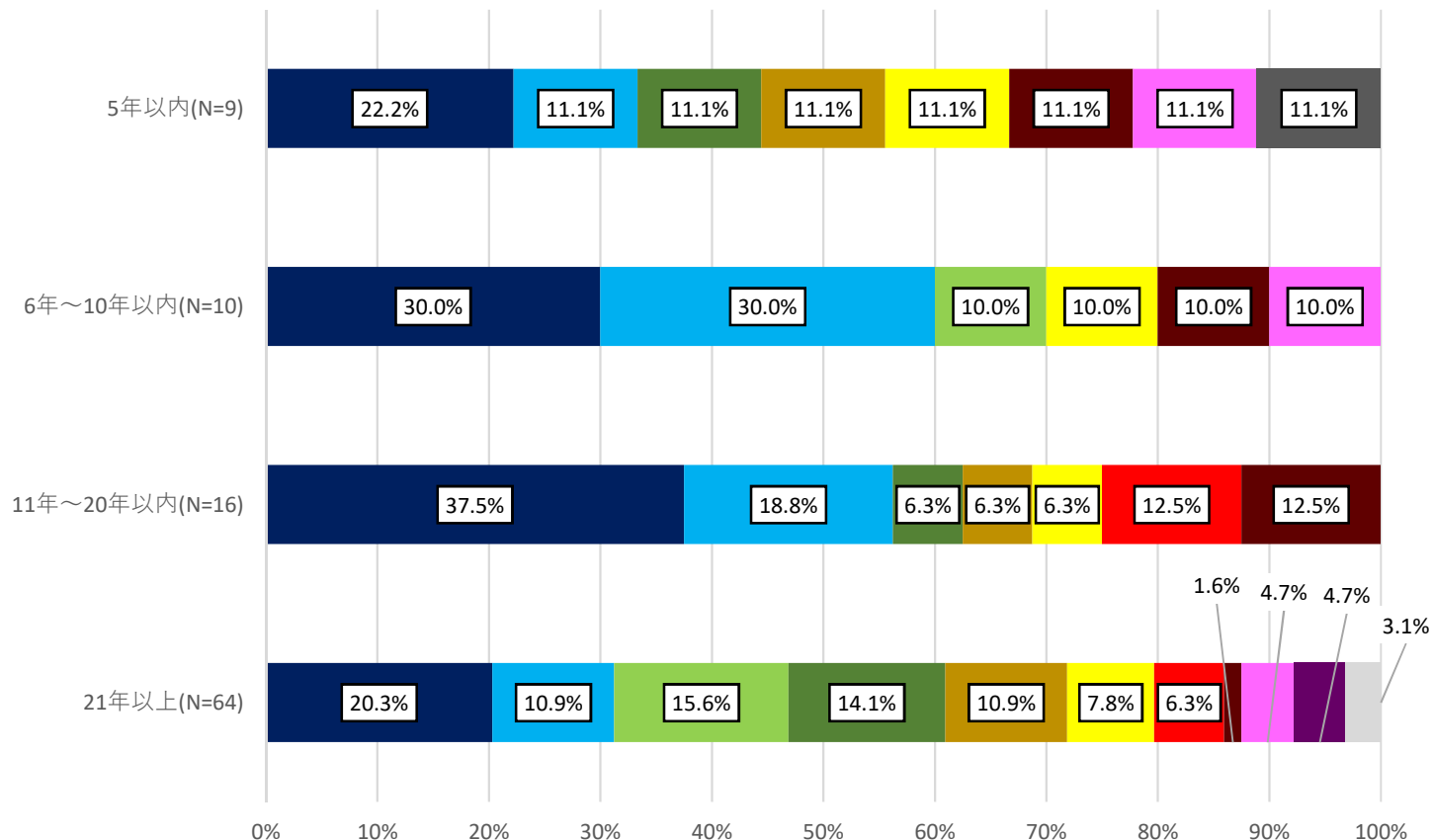


- 活動資金が足りない
- 情報発信が十分にできていない
- 構成メンバーが少ない
- 活動内容が固定化、停滞化している
- 客層の幅が狭い
- 新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれない
- 練習場所・発表する場所が少ない
- 人的ネットワークの確保が難しい
- 補助金や助成金等に関する情報の確保が難しい
- その他
- 著作権・肖像権といった権利や法律のことが分からない
- 市内外の類似団体の活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保が難しい
- インターネットやSNSの使い方が分からない

【活動年数別】

全活動年数にて「活動資金が足りない」は2割を超えている。

「市内外の類似団体の活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保が難しい」（11.1%）は「5年以内」のみにあり、その他の活動年数にはない。



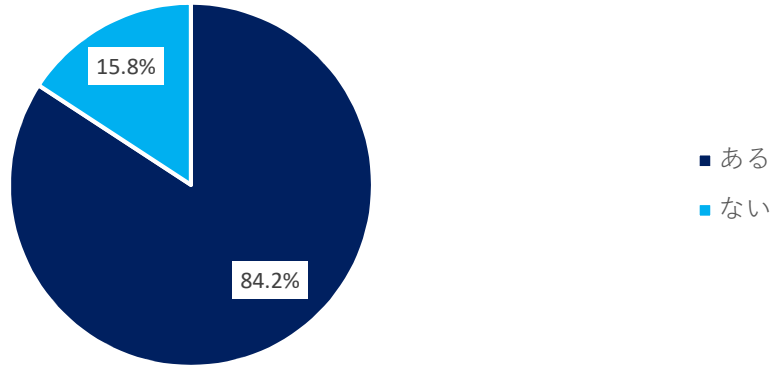
- 活動資金が足りない
- 情報発信が十分にできていない
- 構成メンバーが少ない
- 活動内容が固定化、停滞化している
- 客層の幅が狭い
- 新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれない
- 練習場所・発表する場所が少ない
- 人的ネットワークの確保が難しい
- 補助金や助成金等に関する情報の確保が難しい
- その他
- 著作権・肖像権といった権利や法律のことが分からない
- 市内外の類似団体の活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保が難しい
- インターネットやSNSの使い方が分からない

(3) 新型コロナウイルス感染拡大の後から現在まで・・・令和2年2月以降

全体では、新型コロナウイルス感染症拡大前で「あった」が56.6%に対し、感染拡大後では「ある」が84.2%と困りごとが約3割ほど増加している。

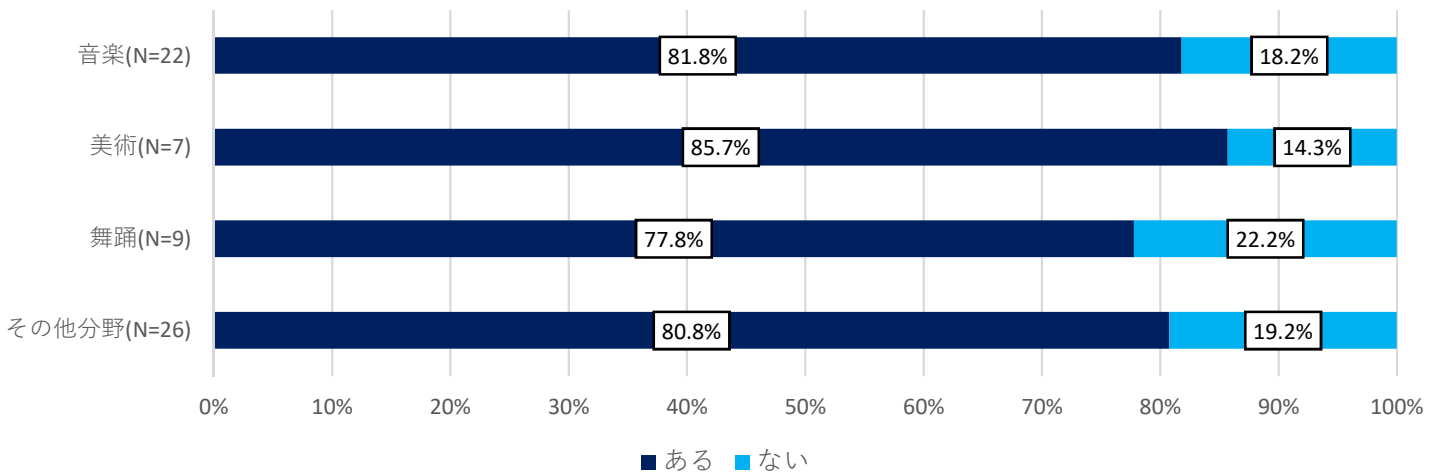
分野別、規模別、活動年数別であっても、全て「ある」が7割以上となっている。

【全体】

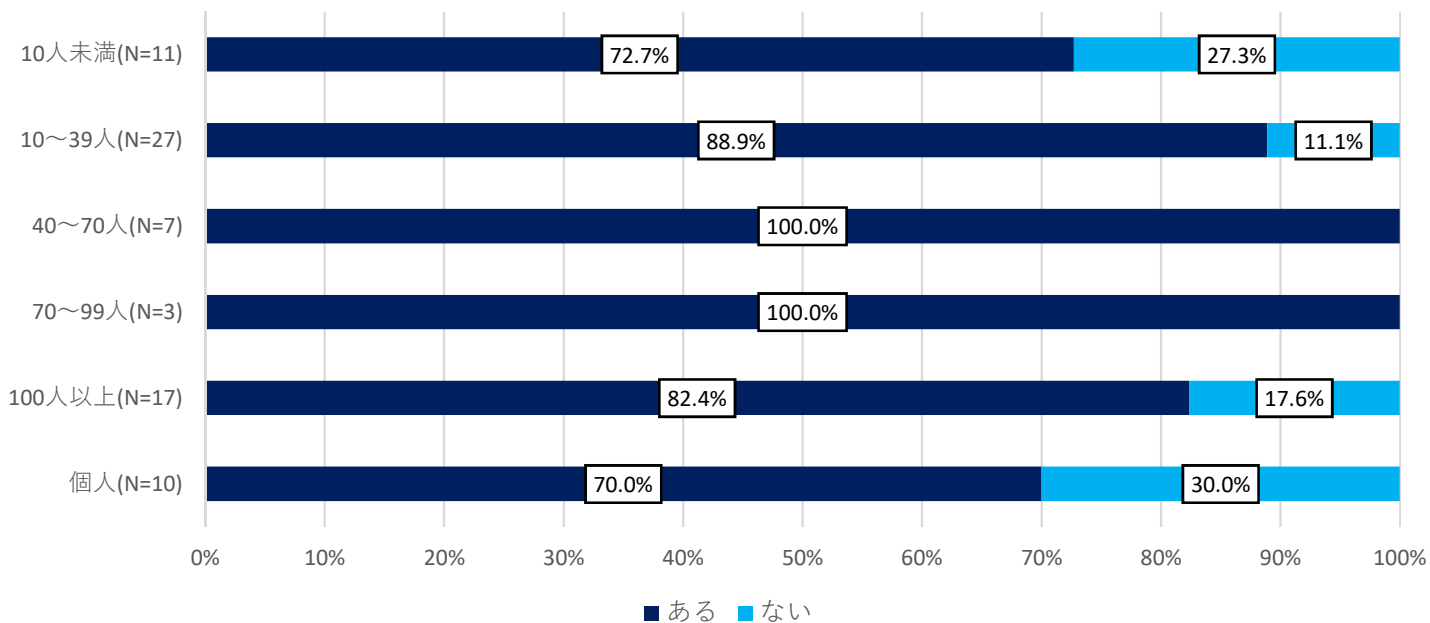


(N=76)

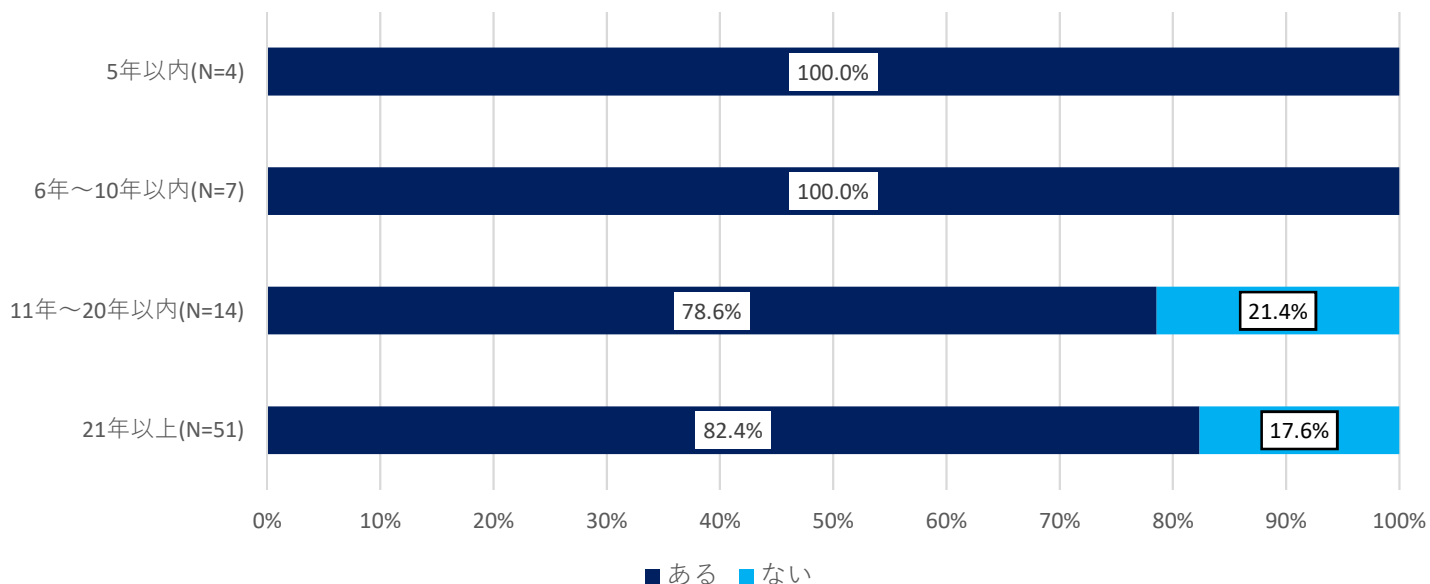
【分野別】



【規模別】



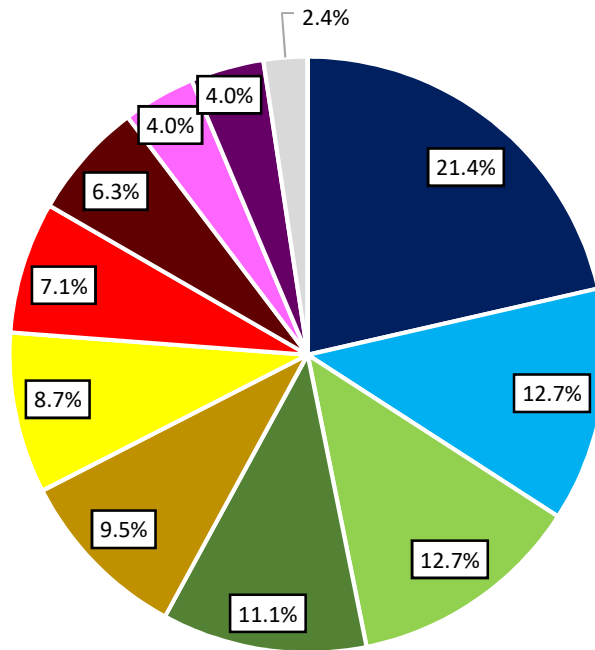
【活動年数別】



(4) (3) で「ある」を選択された方に伺います。どのようなことに困っていますか。

困りごとの詳細として、上位は、第1位「活動資金が足りない」(21.4%)、第2位「構成メンバーが少ない」「情報発信が十分にできていない」(12.7%)、第3位「練習場所・発表する場所が少ない」(12.7%)となっており、新型コロナウイルス感染症拡大前の第1位「活動資金が足りない」(24.2%)、第2位「情報発信が十分にできていない」(14.1%)、第3位「構成メンバーが少ない」「活動が固定化、停滞化している」(11.1%)と比較すると多少の順位の変動はあるが、上位に入っている項目はほぼ変化がない。

【全体】



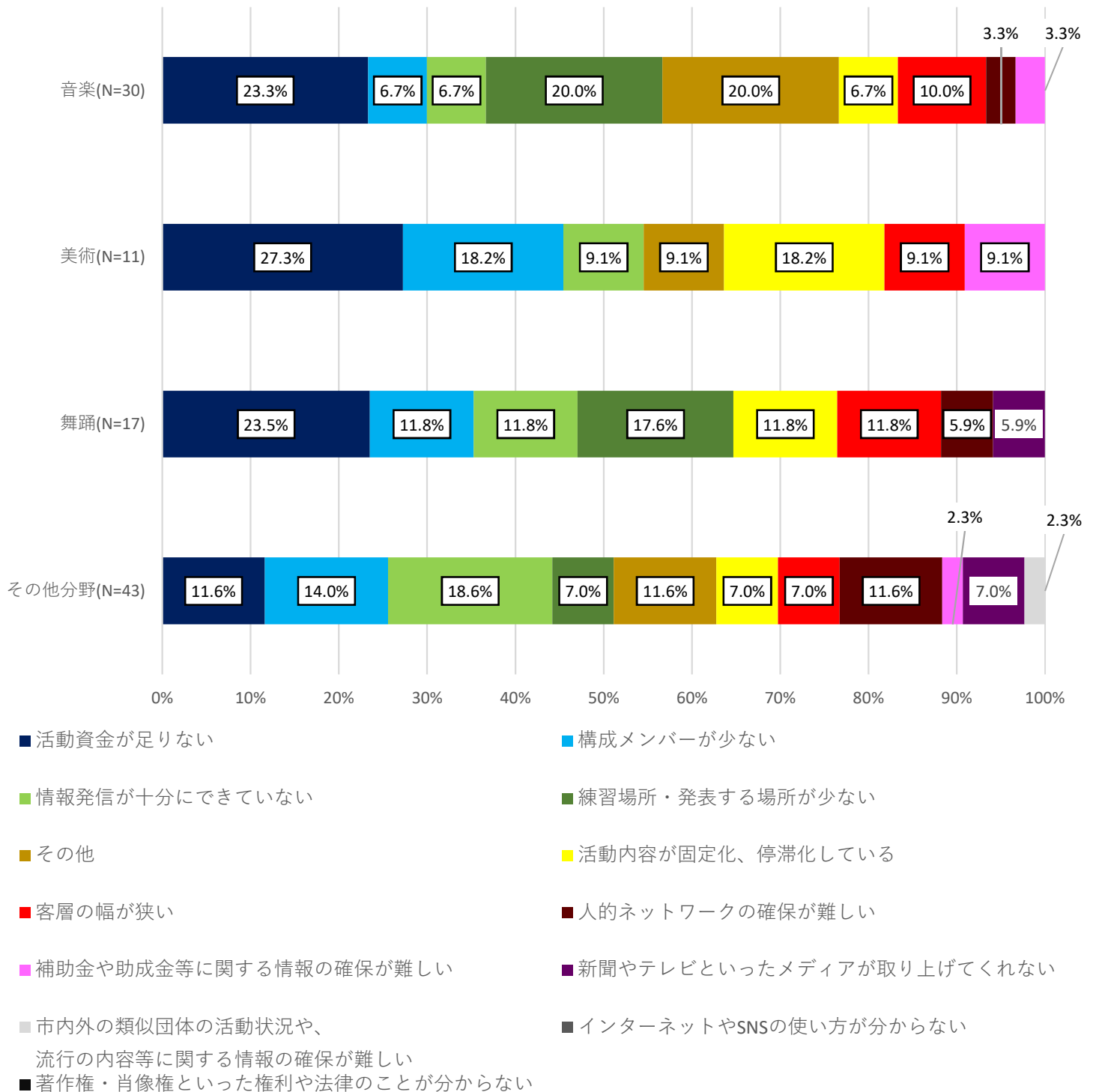
(N=129)

- 活動資金が足りない
- 構成メンバーが少ない
- 情報発信が十分にできていない
- 練習場所・発表する場所が少ない
- その他
- 活動内容が固定化、停滞化している
- 客層の幅が狭い
- 人的ネットワークの確保が難しい
- 補助金や助成金等に関する情報の確保が難しい
- 新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれない
- 市内外の類似団体の活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保が難しい
- インターネットやSNSの使い方が分からない
- 著作権・肖像権といった権利や法律のことが分からない

【分野別】

「音楽」「美術」「舞踊」において、「活動資金が足りない」は2割を超えており、占めている割合が高い。「音楽」「舞踊」では「練習場所・発表する場所が少ない」が約2割で続いている。

その他では「大々的に告知できない」「コロナ感染症に対する考え方が人によって違うので苦労した」「公演時の感染対策をどこまでするのか」「お客さんが演奏会やイベントへ来なくなった」「活動場所が休館となった」「活動が制限された」等の回答があった。

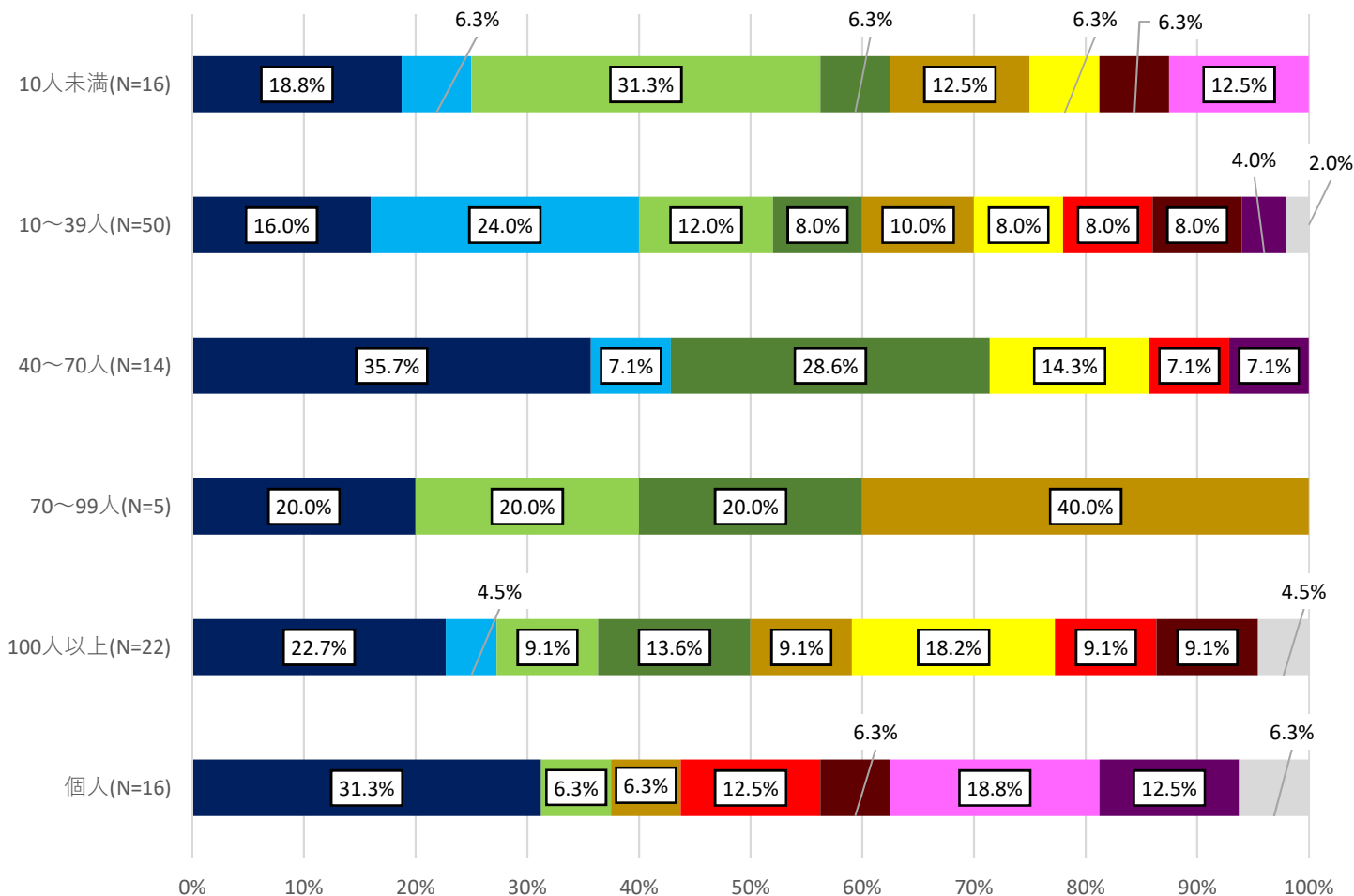


【規模別】

全規模において順位の前後はあるものの「活動資金が足りない」は上位に入っており、「40～70人」で35.7%と占める割合が他の規模よりも高い。「40～70人」は「練習場所・発表する場所が少ない」も28.6%と他の規模よりも高い。

「構成メンバーが少ない」は「10～39人」（24.0%）が他の規模よりも高くなっている。

「個人」「10人未満」のみで「補助金や助成金に関する情報の確保が難しい」が1～2割程度ある。

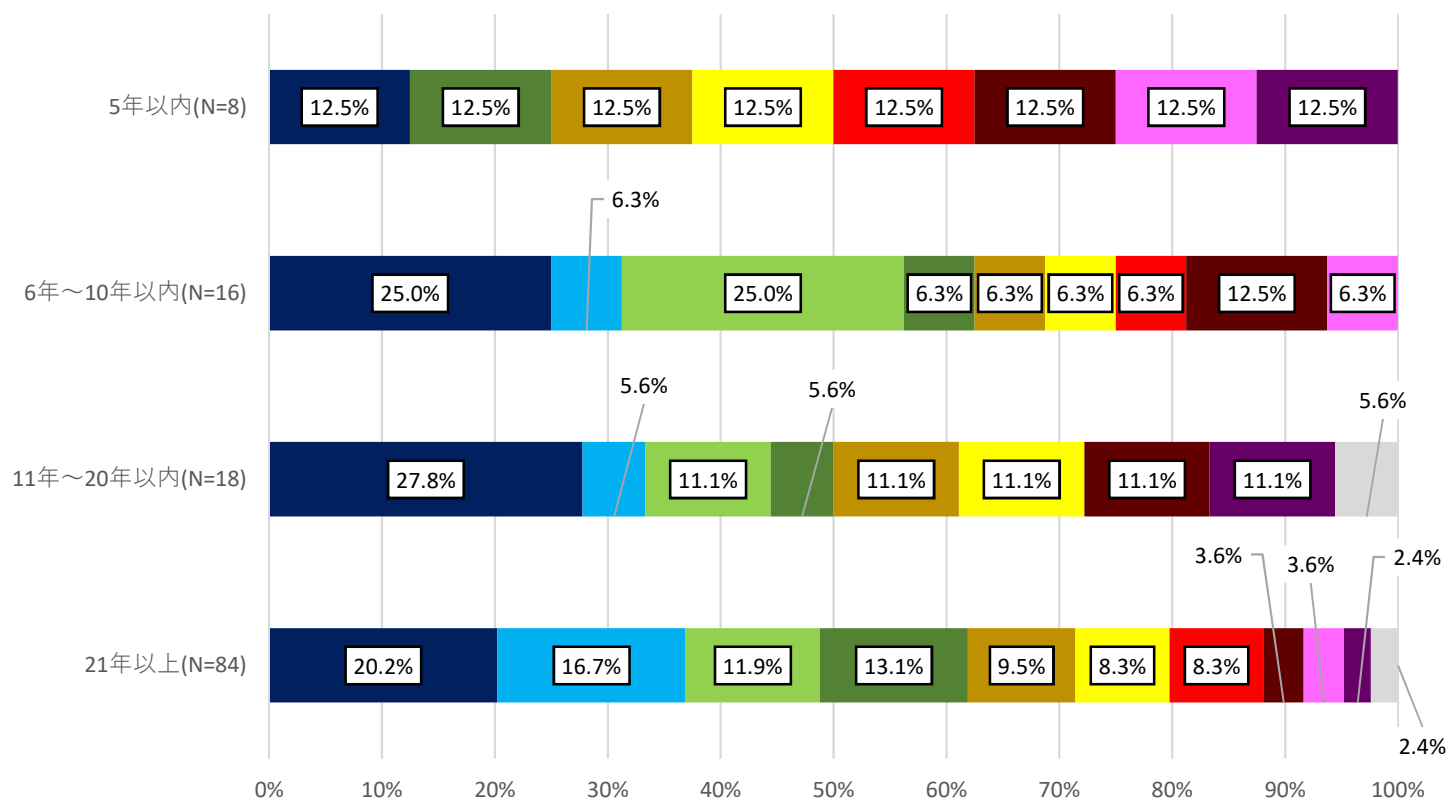


- 活動資金が足りない
- 情報発信が十分にできていない
- その他
- 客層の幅が狭い
- 補助金や助成金等に関する情報の確保が難しい
- 市内外の類似団体の活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保が難しい
- 著作権・肖像権といった権利や法律のことが分からない
- 構成メンバーが少ない
- 練習場所・発表する場所が少ない
- 活動内容が固定化、停滞化している
- 人的ネットワークの確保が難しい
- 新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれない
- インターネットやSNSの使い方が分からない

【活動年数別】

活動年数別においても「活動資金が足りない」は他の項目よりも占めている割合が高く、「6年～10年以内」では2割を占めている。

「21年以上」は「構成メンバーが少ない」（16.7%）「練習場所・発表する場所が少ない」（13.1%）と他の活動年数より高く、「情報発信が十分にできていない」は「6年～10年以内」が25.0%と他の活動年数より高い。

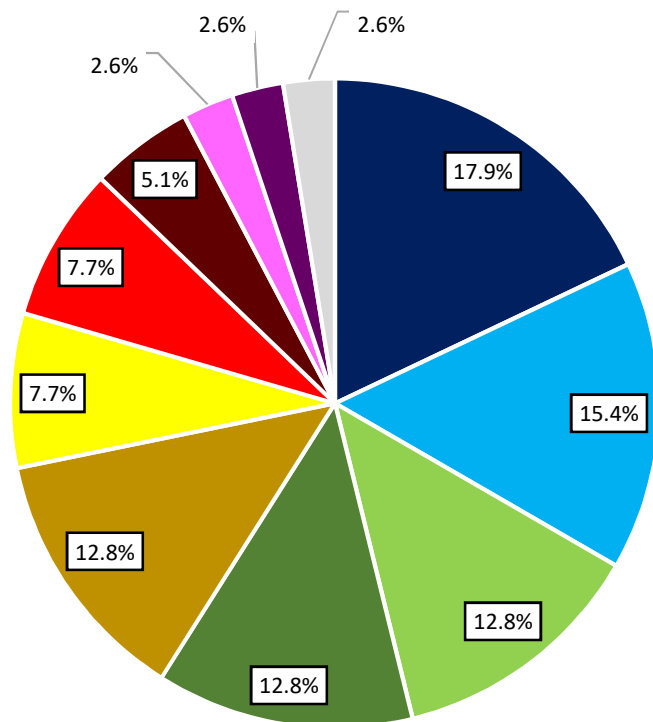


- 活動資金が足りない
- 構成メンバーが少ない
- 情報発信が十分にできていない
- 練習場所・発表する場所が少ない
- その他
- 活動内容が固定化、停滞化している
- 客層の幅が狭い
- 人的ネットワークの確保が難しい
- 補助金や助成金等に関する情報の確保が難しい
- 新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれない
- 市内外の類似団体の活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保が難しい
- インターネットやSNSの使い方が分からない
- 著作権・肖像権といった権利や法律のことが分からない

Q14.S 新型コロナウイルス感染症拡大前に困りごとはなかったが、後に困りごとが発生した項目

新型コロナウイルス感染症拡大前に困りごとがなかったが、後に困りごとが発生した項目の上位は、第1位「練習場所・発表する場所が少ない」（17.9%）、第2位「情報発信が十分にできていない」（15.4%）、第3位「構成メンバーが少ない」（12.8%）となっており、(2)・(4)で第1位であった「活動資金が足りない」は第4位となっている。

【全体】



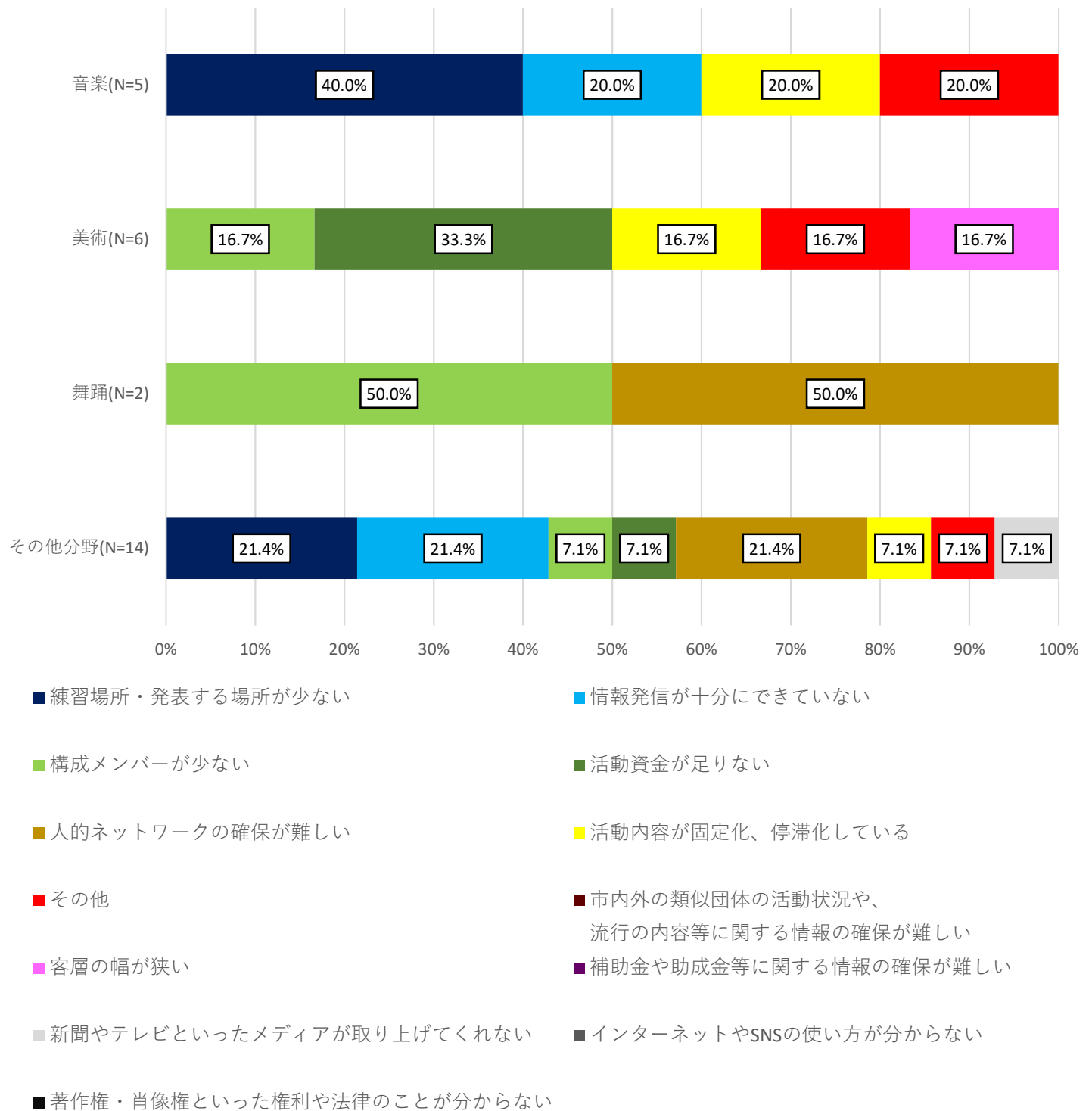
(N=39)

- 練習場所・発表する場所が少ない
- 情報発信が十分にできていない
- 構成メンバーが少ない
- 活動資金が足りない
- 人的ネットワークの確保が難しい
- 活動内容が固定化、停滞化している
- その他
- 市内外の類似団体の活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保が難しい
- 客層の幅が狭い
- 補助金や助成金等に関する情報の確保が難しい
- 新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれない
- インターネットやSNSの使い方が分からない
- 著作権・肖像権といった権利や法律のことが分からない

【分野別】

「練習場所・発表する場所が少ない」「情報発信が十分にできていない」は「音楽」「その他分野」のみに回答があり、合わせると「音楽」では6割、「その他分野」では約4割を占めている。

「構成メンバーが少ない」は「音楽」以外の分野が回答しており、特に高かったのは「舞踊」で5割を占めている。



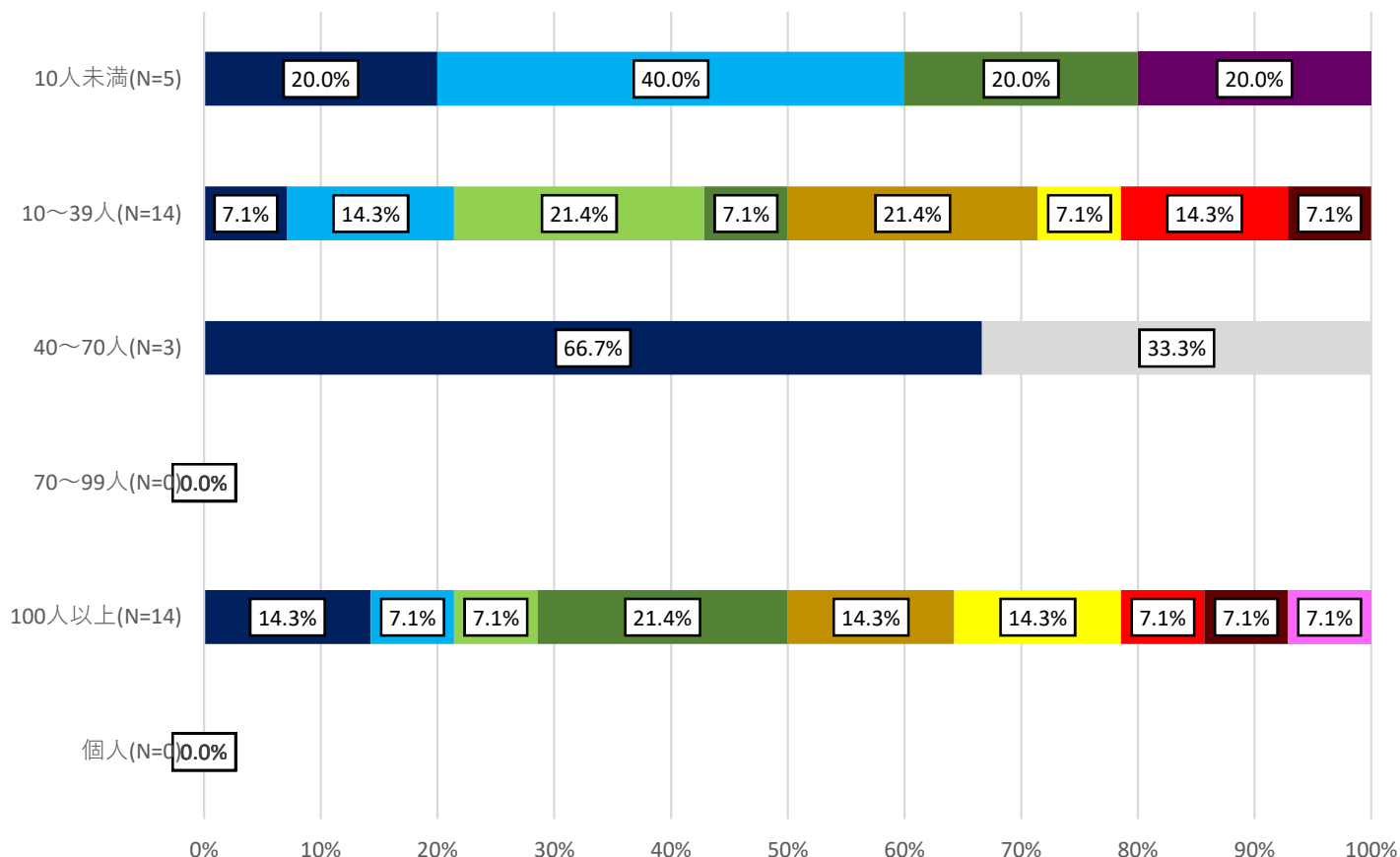
【規模別】

「70～99人」「個人」の回答はなかった。

回答があった中では「練習場所・発表する場所が少ない」は全ての規模において回答があり、「40～70人」では66.7%を占めており、他の規模よりも高くなっている。

「情報発信が十分にできていない」は「10人未満」で回答が多く、4割を占めている。

「構成メンバーが少ない」は「10～39人」で回答が多く、約2割を占めている。



■ 練習場所・発表する場所が少ない

■ 情報発信が十分にできていない

■ 構成メンバーが少ない

■ 活動資金が足りない

■ 人的ネットワークの確保が難しい

■ 活動内容が固定化、停滞化している

■ その他

■ 市内外の類似団体の活動状況や、
流行の内容等に関する情報の確保が難しい

■ 客層の幅が狭い

■ 補助金や助成金等に関する情報の確保が難しい

■ 新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれない

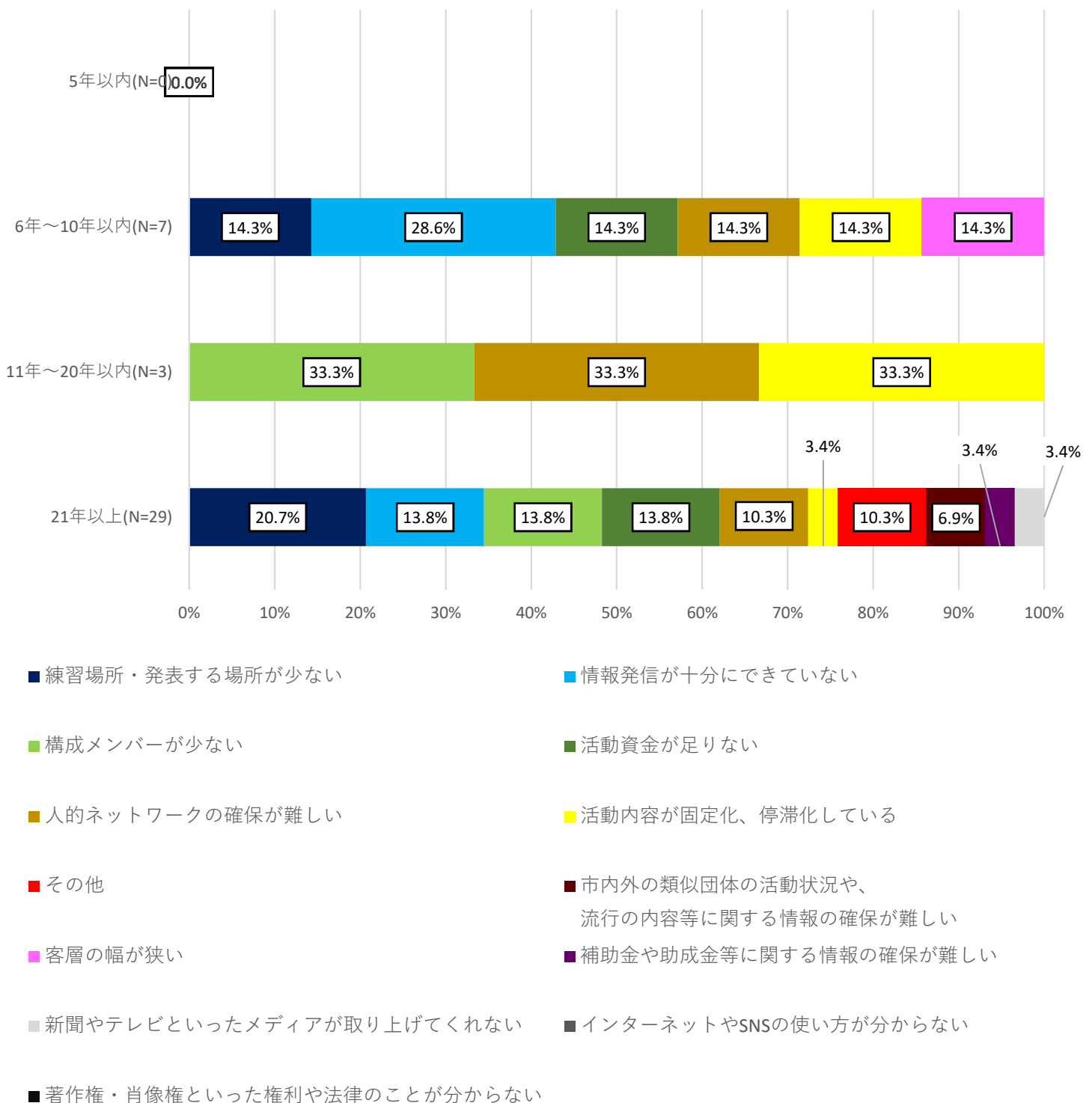
■ インターネットやSNSの使い方が分からない

■ 著作権・肖像権といった権利や法律のことが分からない

【活動年数別】

「5年以内」の回答はなかった。

「練習場所・発表する場所が少ない」「情報発信が十分にできていない」は「6年～10年以内」「21年以上」に回答があり、「練習場所・発表する場所が少ない」は「21年以上」で約2割を、「情報発信が十分にできていない」は「6年～10年以内」で約3割を占めており、他の活動年数よりも高くなっている。「構成メンバーが少ない」は「11年～20年以内」に回答が多く、約3割を占めている。



Q15 文化芸術活動を行う上で、困難に直面した際に、主に相談する先はどちらですか。

全体では「相談先はない」(47.2%)が最も高く、「専門的な知識を有した他団体」(19.4%)が続いている。

分野別では「舞踊」「その他分野」では「相談先はない」が6割を超えている。「音楽」においても「相談先はない」の占めている割合が高いが、「専門的な知識を有した他団体」も同程度を占めている。

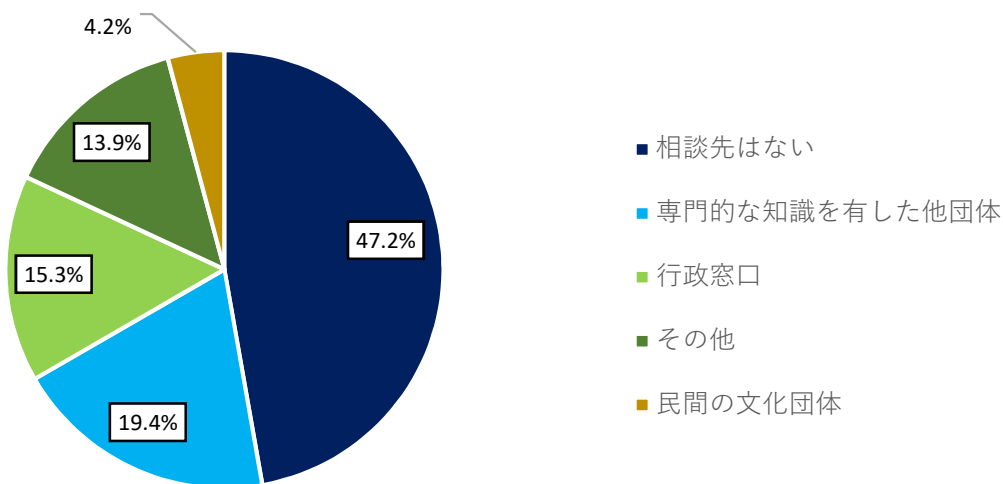
「美術」では「行政窓口」が5割を占めている。

規模別では、「個人」「10～39人」で「相談先はない」が約6割を占めており、他の規模よりも高くなっている。「70～99人」で「専門的な知識を有した他団体」が6割以上占めており、他の規模より高い。

活動年数別では、「6年～10年以内」以外では「相談先はない」が高い割合を占めている。「11年～20年以内」となると「民間の文化団体」の回答が一定数ある。

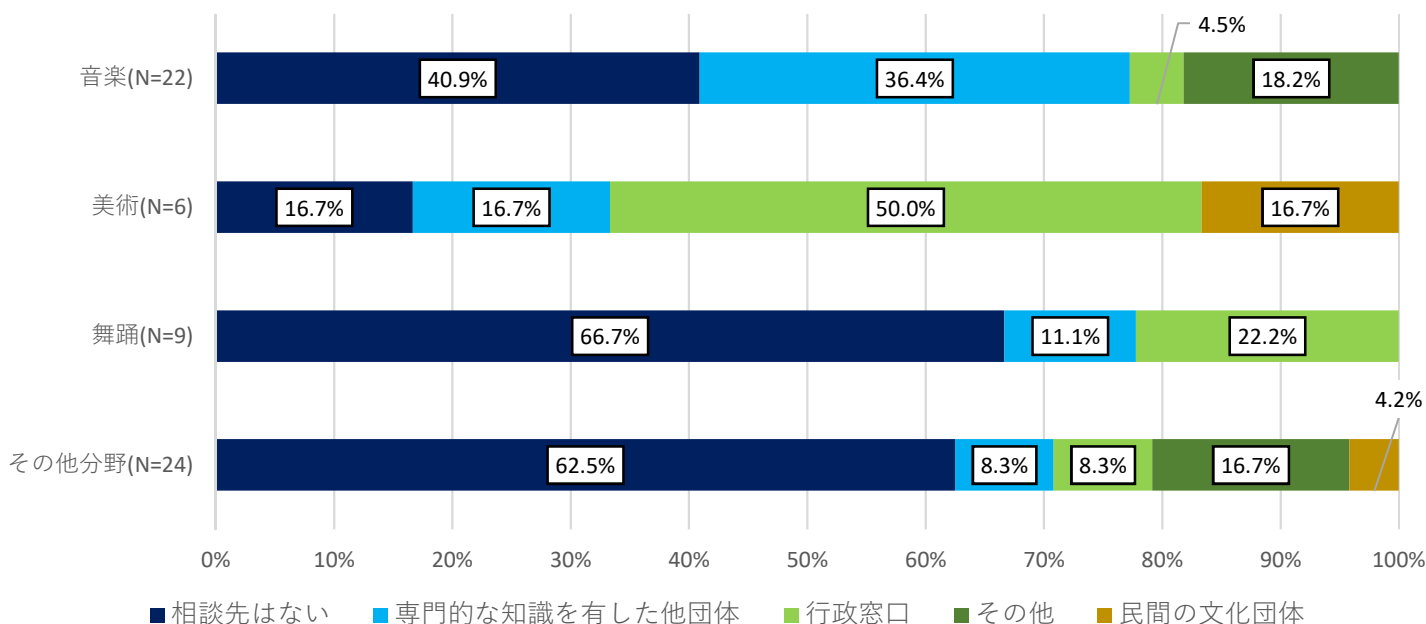
その他としては、「法人の理事」「顧問等長老格」「自助努力」「知人、友人」の回答がある。

【全体】

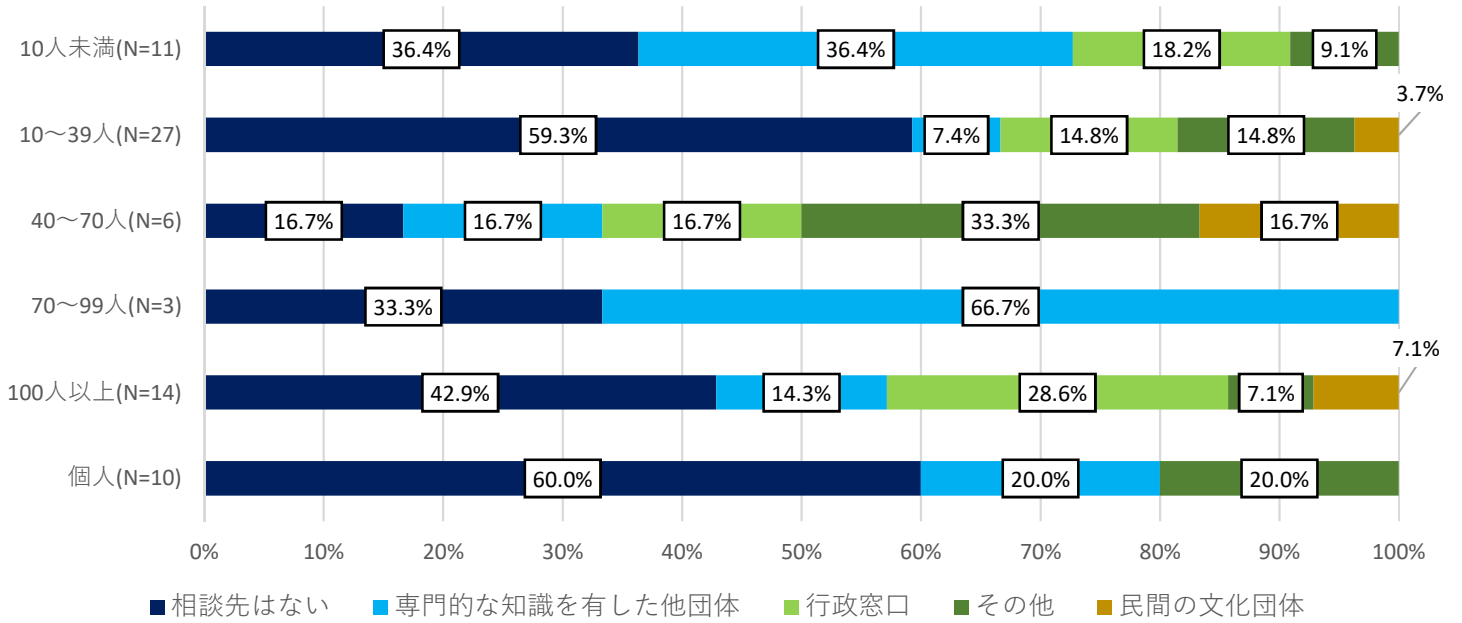


(N=72)

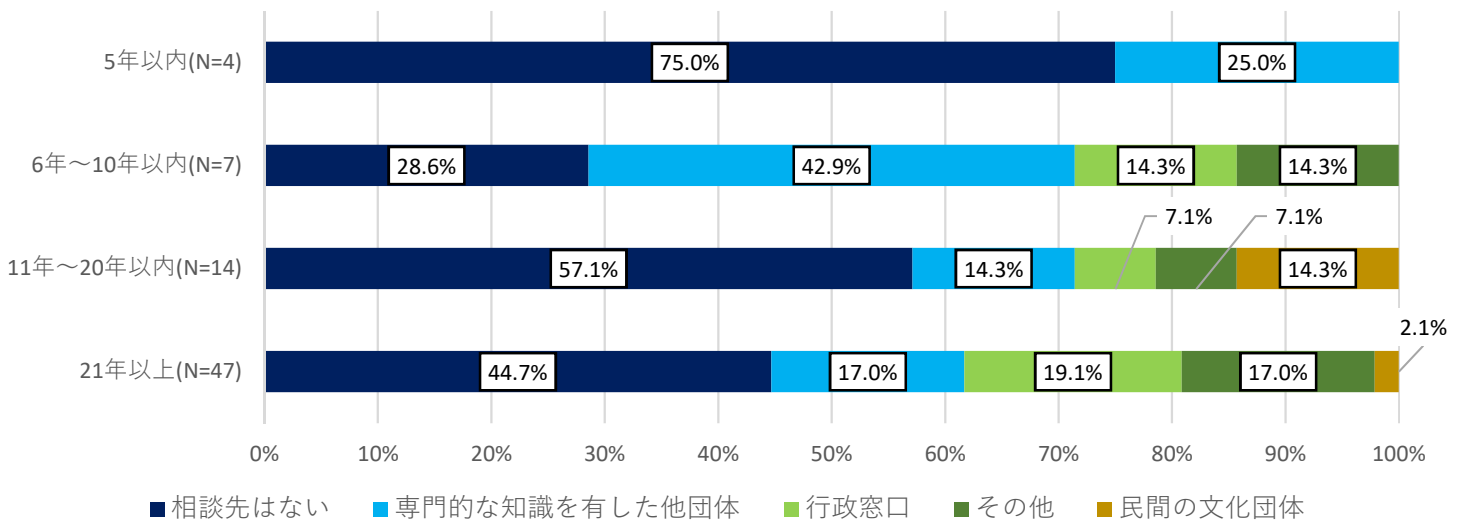
【分野別】



【規模別】



【活動年数別】

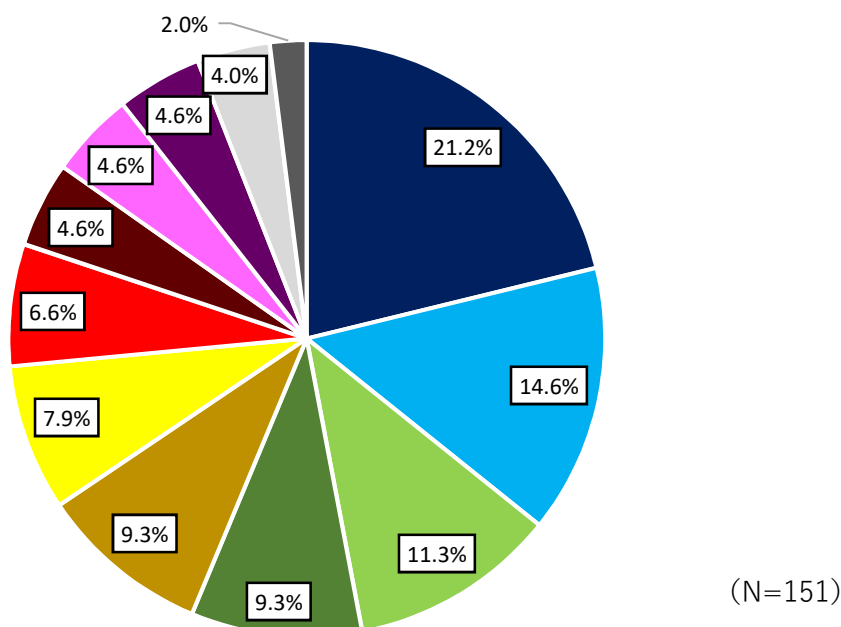


Q16 本市では、令和3年度に、文化芸術に関わる人達を緩やかにつなぎ、気楽に出会い集まれる場「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」を構築しました。
次の(1)～(5)について御回答ください。

(1) 「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」にて各団体のつながりを強化することにより、「Q15」の「困りごと」の解消、軽減に効果が期待できるものはありますか。

「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」の構築により困りごとの解決、軽減に期待できる項目の上位は、第1位「情報発信の機会や量が増える」(21.2%)、第2位「人的ネットワークの確保ができる」(14.6%)、第3位「補助金や助成金などに関する情報の確保ができる」(11.3%)となっている。その他では「文化・経済活動の地勢図が良い方向に変化するとよい」「新規参加、移住者も活動しやすくなるとよい」等があった。

【全体】

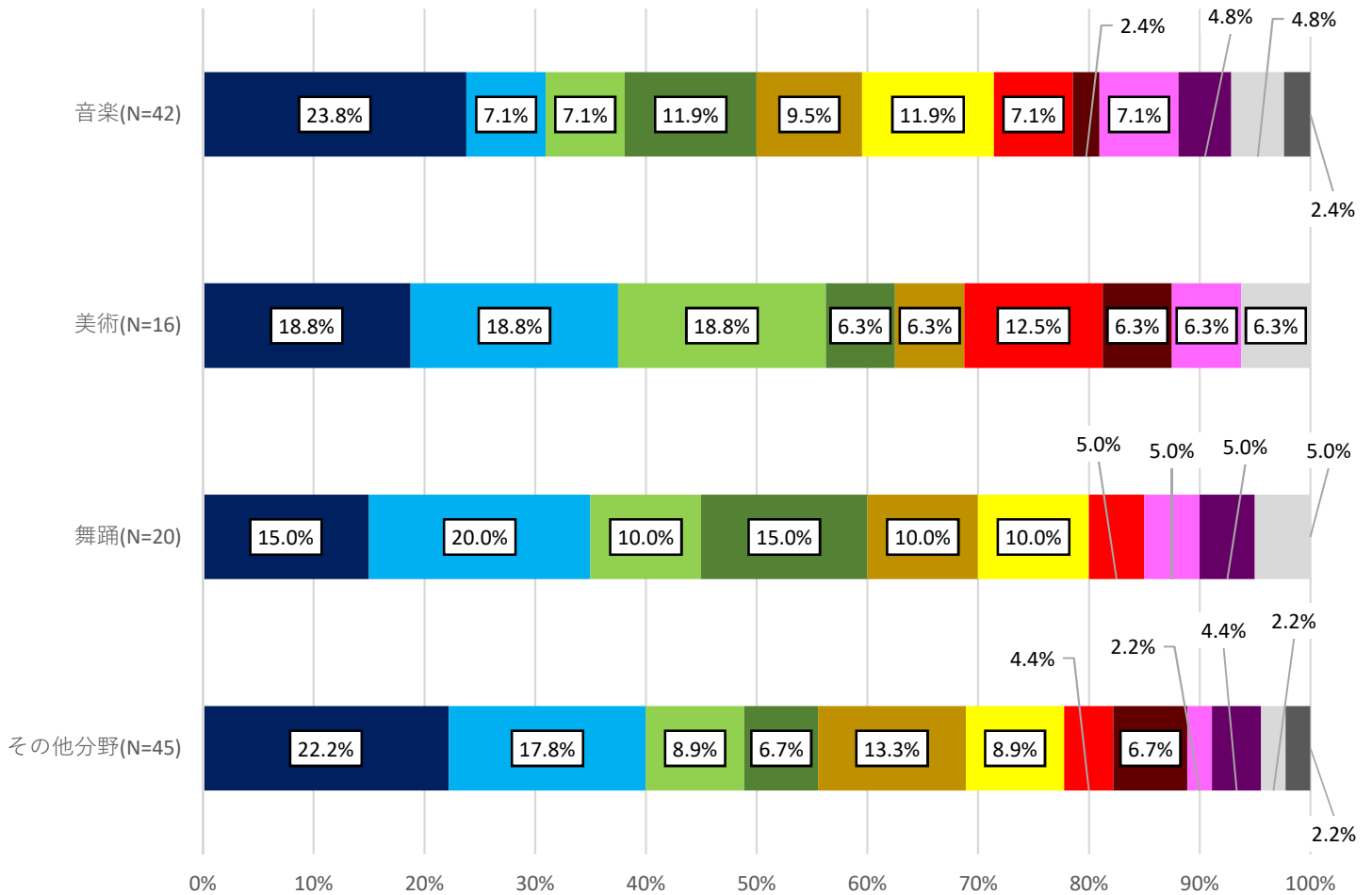


- 情報発信の機会や量が増える
- 人的ネットワークの確保ができる
- 補助金や助成金などに関する情報の確保ができる
- 固定化、停滞化している活動を変えられる
- 客層の幅が広がる
- 特になし
- 構成メンバーが増える
- 活動資金が増える
- 練習場所・発表場所が増える
- 市内外の類似団体の活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保ができる
- 新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれる可能性が高まる
- その他

【分野別】

どの分野においても「情報発信の機会や量が増える」は約2割を占めている。

「人的ネットワークの確保ができる」は「音楽」を除き各分野で約2割を占め、「補助金や助成金などに関する情報の確保ができる」は「美術」では約2割を占め、その他の分野では約1割を占めている。



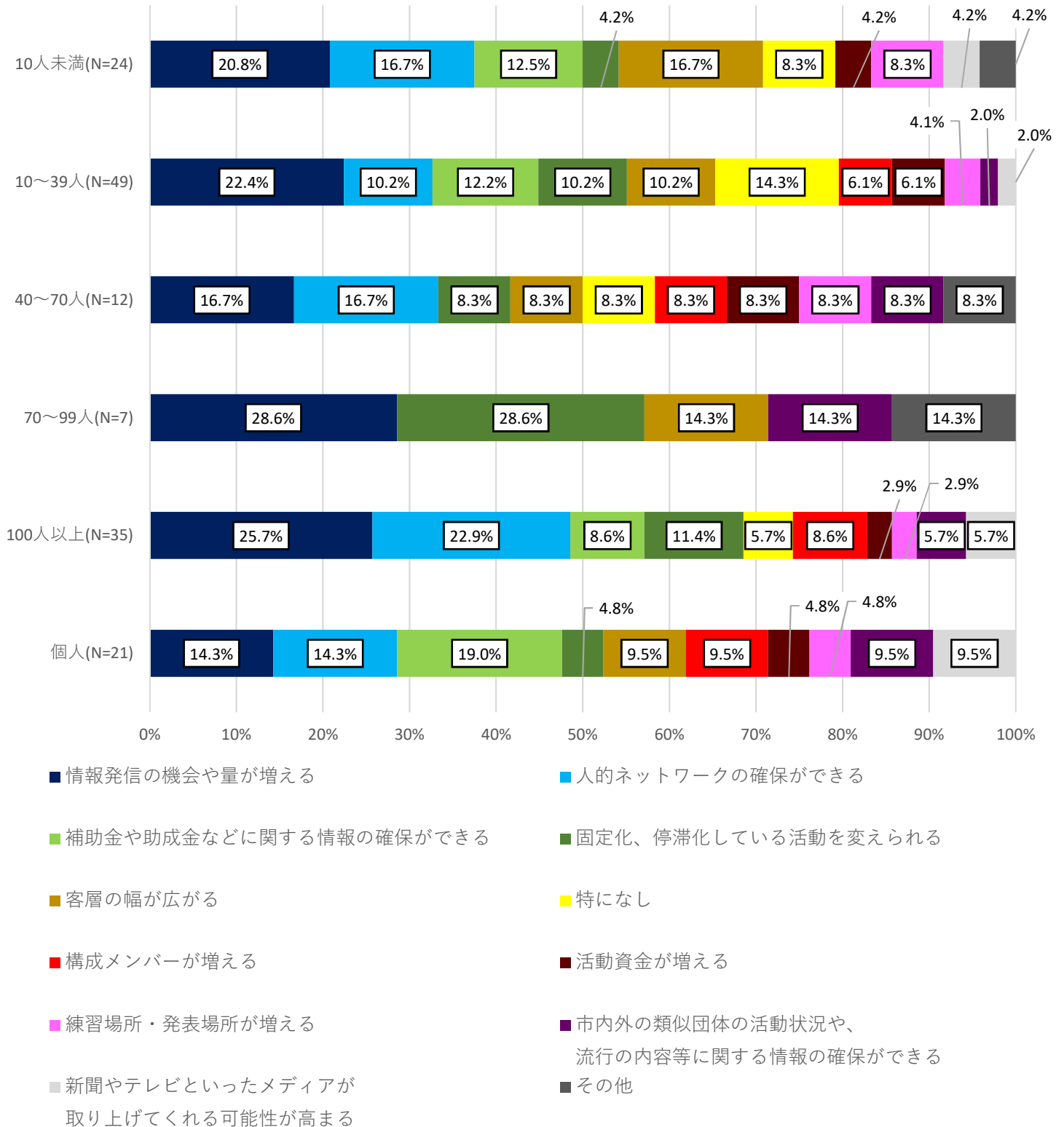
- 情報発信の機会や量が増える
- 人的ネットワークの確保ができる
- 補助金や助成金などに関する情報の確保ができる
- 固定化、停滞化している活動を変えられる
- 客層の幅が広がる
- 特になし
- 構成メンバーが増える
- 活動資金が増える
- 練習場所・発表場所が増える
- 市内外の類似団体の活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保ができる
- 新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれる可能性が高まる
- その他

【規模別】

全ての規模において、「情報発信の機会や量が増える」の回答が約1割5分～3割を占めている。その中でも「70～99人」では28.7%で他の規模よりも高い。

「人的ネットワークの確保ができる」は「70～99人」を除き、全ての規模に回答があり、「100人以上」では22.9%と他の規模よりも高くなっている。

「補助金や助成金などに関する情報の確保ができる」の回答は「個人」に多く、約2割となっている。

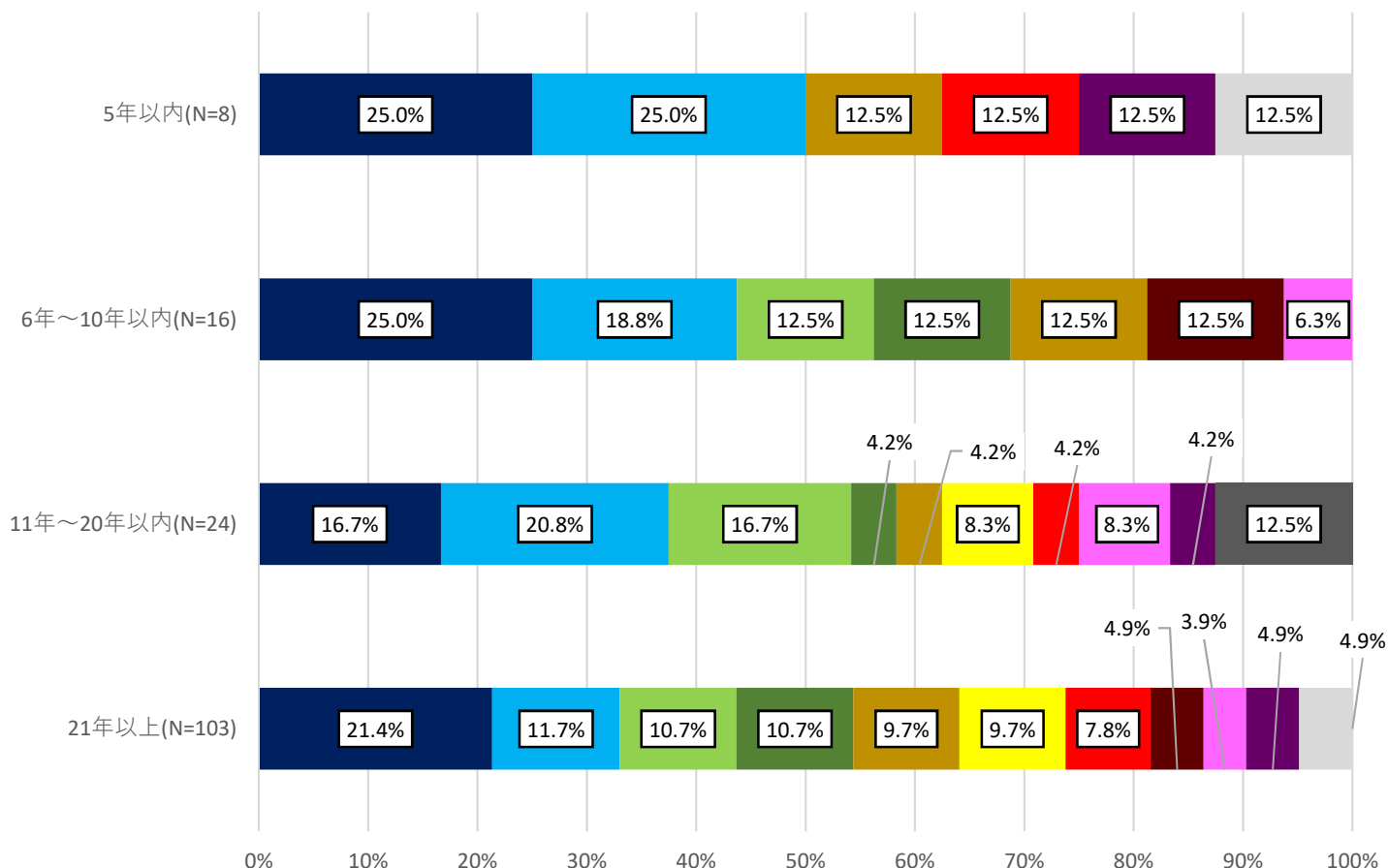


【活動年数別】

規模別では、「情報の確保ができる」は全ての規模で約2割を占め、「5年以内」「6年～10年以内」では25.0%となっている。

「人的ネットワークの確保ができる」は「21年以上」を除いた各規模で、「情報の確保ができる」とほぼ同じ割合を占めている。

「補助金や助成金などに関する情報の確保ができる」は「6年～10年以内」以上の年数より回答がある。

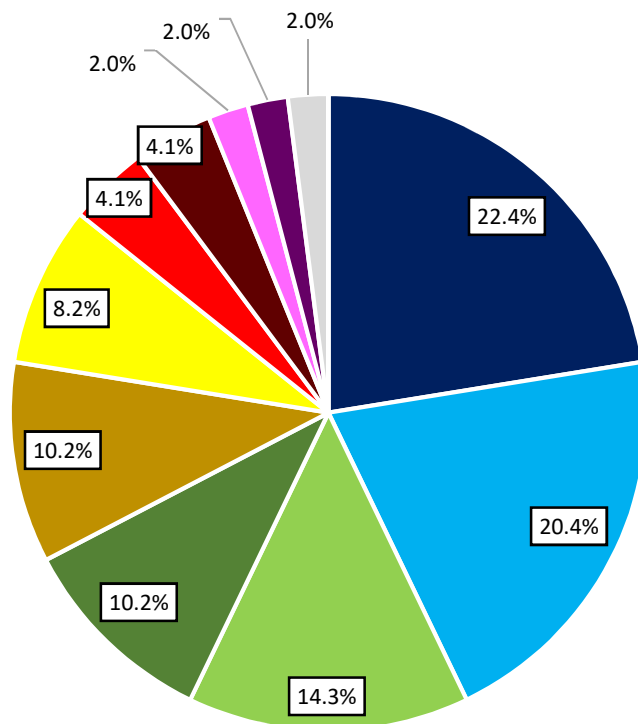


- 情報発信の機会や量が増える
- 人的ネットワークの確保ができる
- 補助金や助成金などに関する情報の確保ができる
- 固定化、停滞化している活動を変えられる
- 客層の幅が広がる
- 特になし
- 構成メンバーが増える
- 活動資金が増える
- 練習場所・発表場所が増える
- 市内外の類似団体の活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保ができる
- 新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれる可能性が高まる
- その他

Q16S 新型コロナウイルス感染症拡大後に困りごとが発生した方々の困りごとの軽減に期待できるもの

新型コロナウイルス感染症拡大後に困りごとが発生した方々の困りごとの軽減に期待できるものの上位は第1位「情報発信の機会や量が増える」(22.4%)、第2位「人的ネットワークの確保ができる」(20.4%)、第3位「補助金や助成金などに関する情報の確保ができる」(14.3%)となっており、Q16(1)と上位の順位に変化はない。

【全体】



(N=49)

- 情報発信の機会や量が増える
- 人的ネットワークの確保ができる
- 補助金や助成金などに関する情報の確保ができる
- 構成メンバーが増える
- 特になし
- 活動資金が増える
- 練習場所・発表場所が増える
- 固定化、停滞化している活動を変えられる
- 客層の幅が広がる
- 市内外の類似団体の活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保ができる
- 新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれる可能性が高まる
- その他

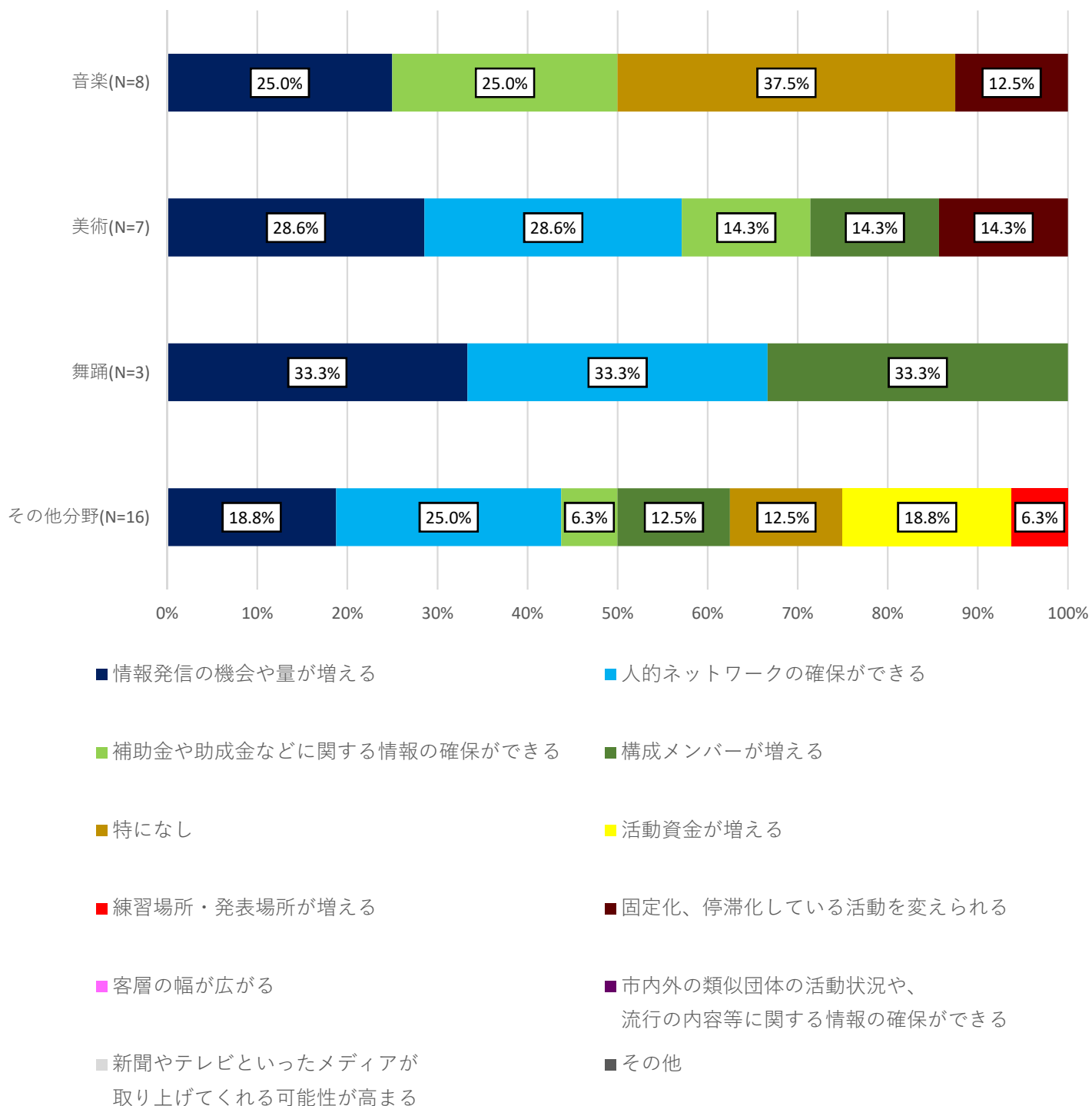
【分野別】

「情報発信の機会や量が増える」は全ての分野に回答があり、少なくとも約2割を占めている。分野ごとで比較すると「舞踊」が33.3%と高くなっている。

「人的ネットワークの確保ができる」は「音楽」以外で回答があり、約3割となっている。こちらも「舞踊」占めている割合が高くなっている。

「補助金や助成金などに関する情報の確保ができる」は「舞踊」以外で回答があり、「音楽」では25.0%と他の分野より割合が高くなっている。

「音楽」の中では「特になし」が37.5%となっており割合が高い。



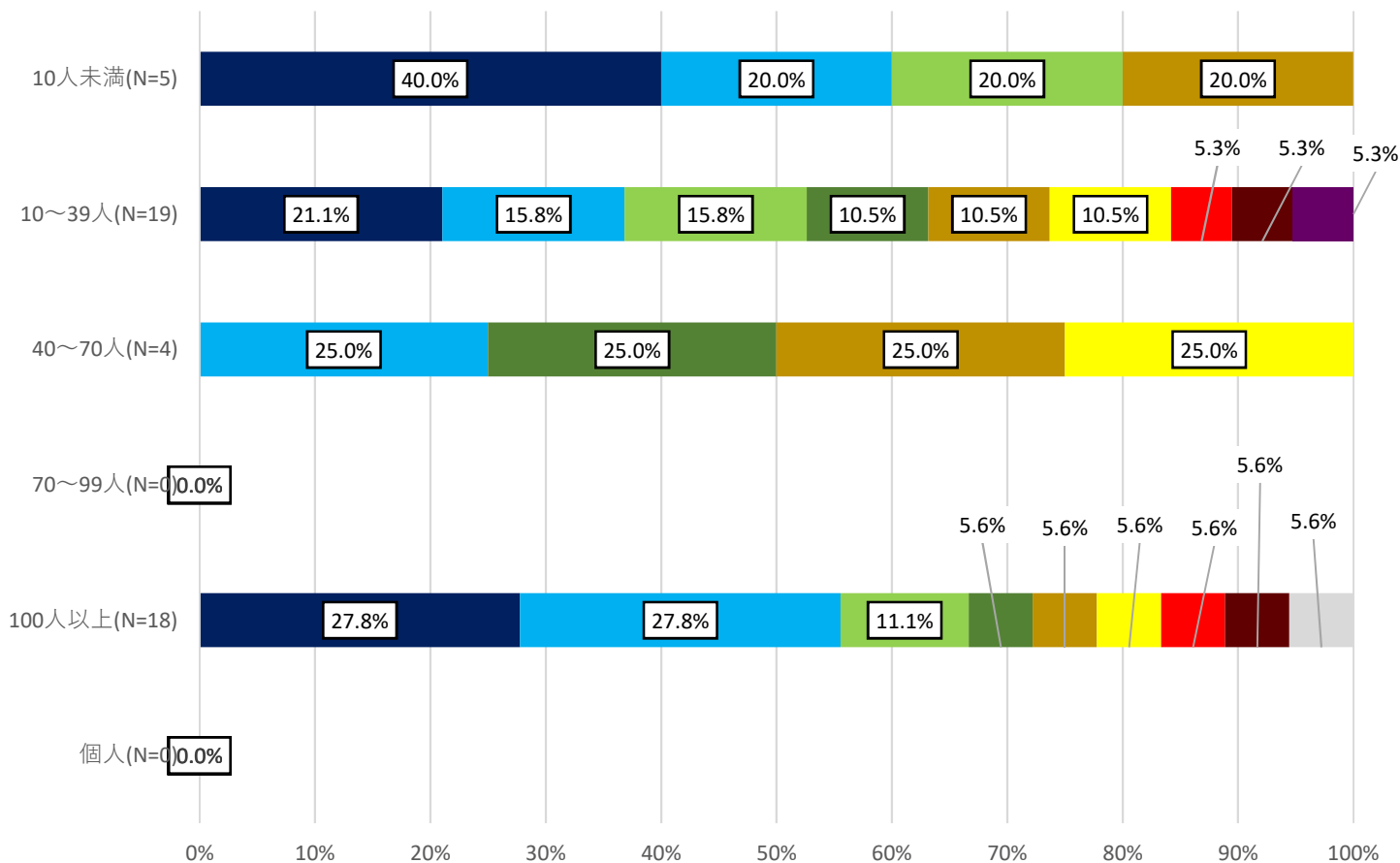
【規模別】

「個人」「70～99人」の回答はなかった。

「情報発信の機会や量が増える」は「10人未満」「10～39人」「100人以上」で回答があり、「10人未満」では4割を占めており、他の規模よりも高くなっている。

「人的ネットワークの確保ができる」は回答がなかった規模を除き、全ての規模から回答があり、その中でも「100人以上」では27.8%と他の規模よりも高い。

「補助金や助成金などに関する情報の確保ができる」は「10人未満」で2割と他の規模よりも高くなっている。



- 情報発信の機会や量が増える
- 人的ネットワークの確保ができる
- 補助金や助成金などに関する情報の確保ができる
- 構成メンバーが増える
- 特になし
- 活動資金が増える
- 練習場所・発表場所が増える
- 固定化、停滞化している活動を変えられる
- 客層の幅が広がる
- 市内外の類似団体の活動状況や、流行の内容等に関する情報の確保ができる
- 新聞やテレビといったメディアが取り上げてくれる可能性が高まる
- その他

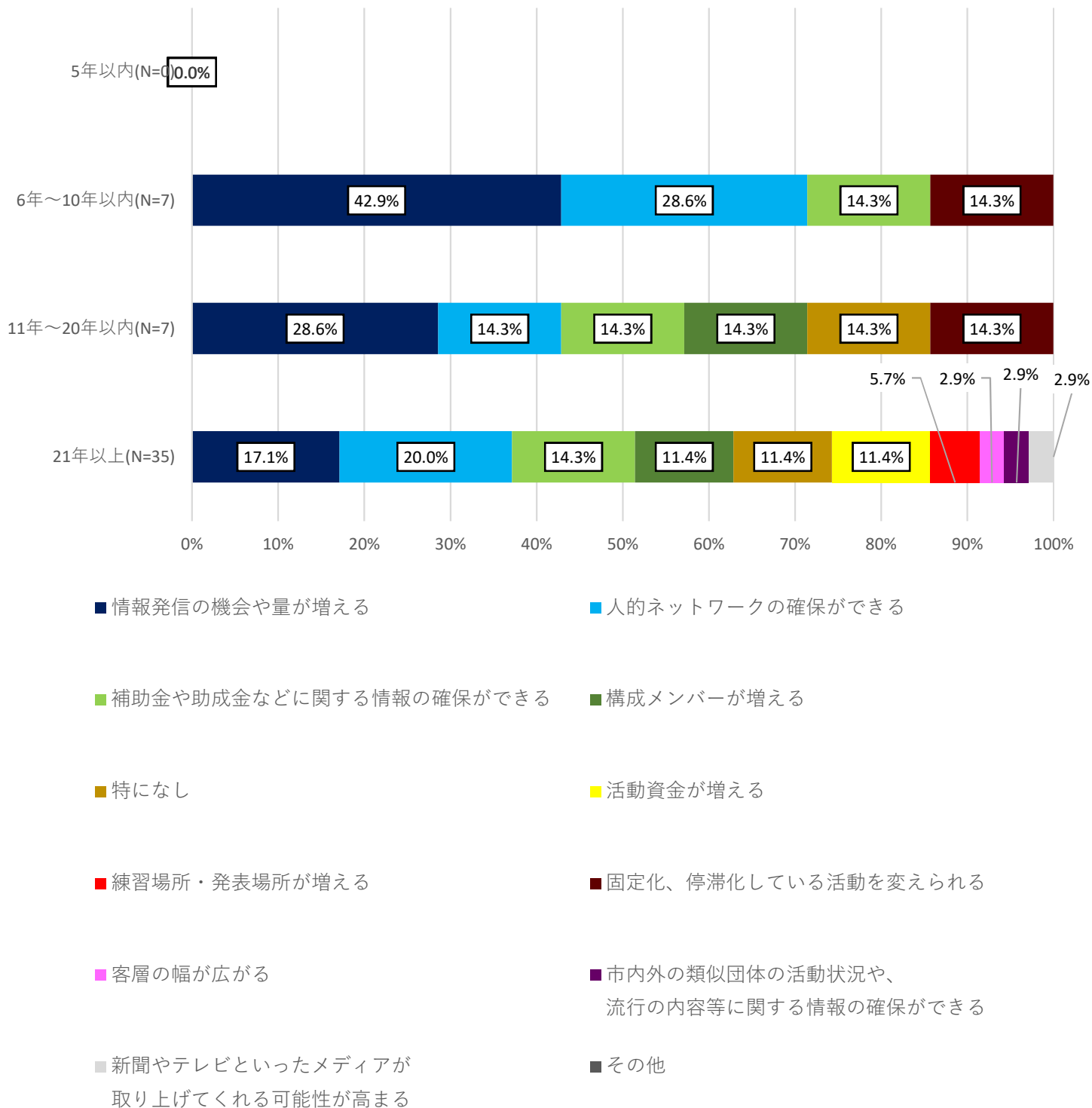
【活動年数別】

「5年以内」の回答はなかった。

「情報発信の機会や量が増える」は「6年～10年以内」が最も高く42.9%となっており、「6年～10年以内」より活動年数が長くなると徐々に低くなっている。

「人的ネットワークの確保ができる」も「6年～10年以内」が高く28.6%を占めている。

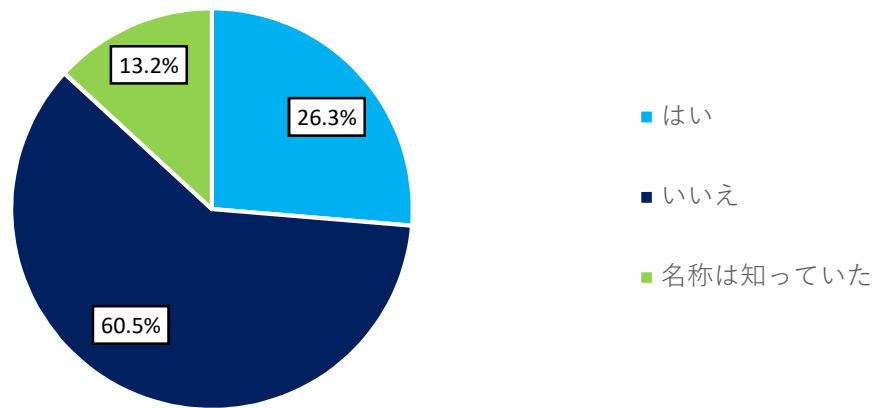
「補助金や助成金などに関する情報の確保ができる」は回答がなかった年数を除き、全ての活動年数で14.3%となっている。



(2) 「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」では、活動の一部として「高松版地域アーツカウンシル」の構築に関する検討を行います。 「アーツカウンシル」という組織・仕組みを御存じでしたか。

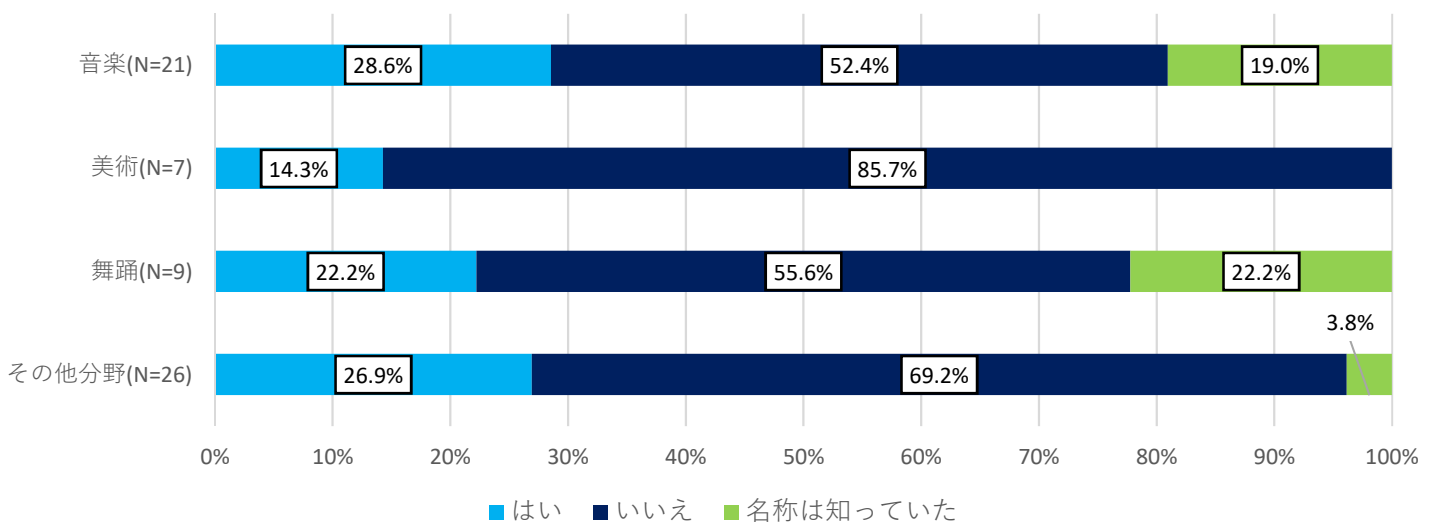
全体では6割が「いいえ」と回答しており「はい」「名称は知っていた」合わせて4割となっている。
 分野別では、全ての分野において「いいえ」が5割以上となっており、「音楽」では他の分野と比べ、若干ではあるが、アーツカウンシルを名称のみでも知っている割合が高い。
 規模別では、全ての規模においてほぼ同様の割合となっているが、「10人未満」では「はい」「名称は知っていた」を合わせると5割を超えている。
 活動年数別では、「6年～10年以内」では「いいえ」より「はい」「名称は知っていた」の合計の割合が高くなっている。

【全体】

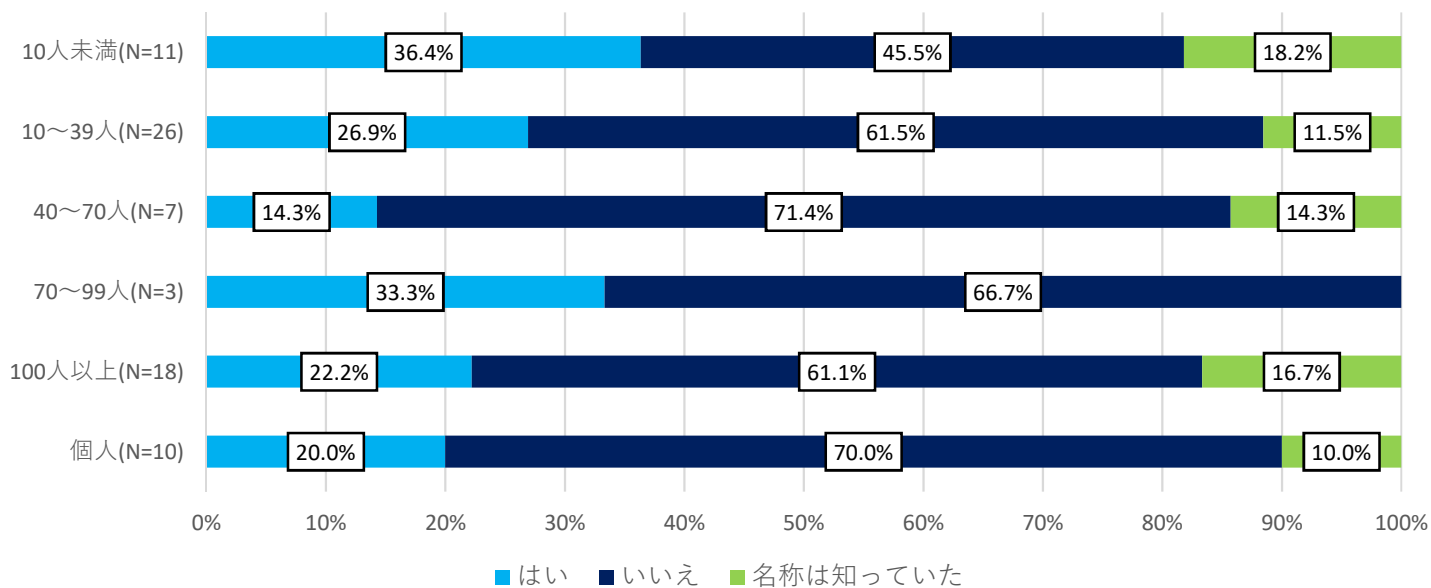


(N=76)

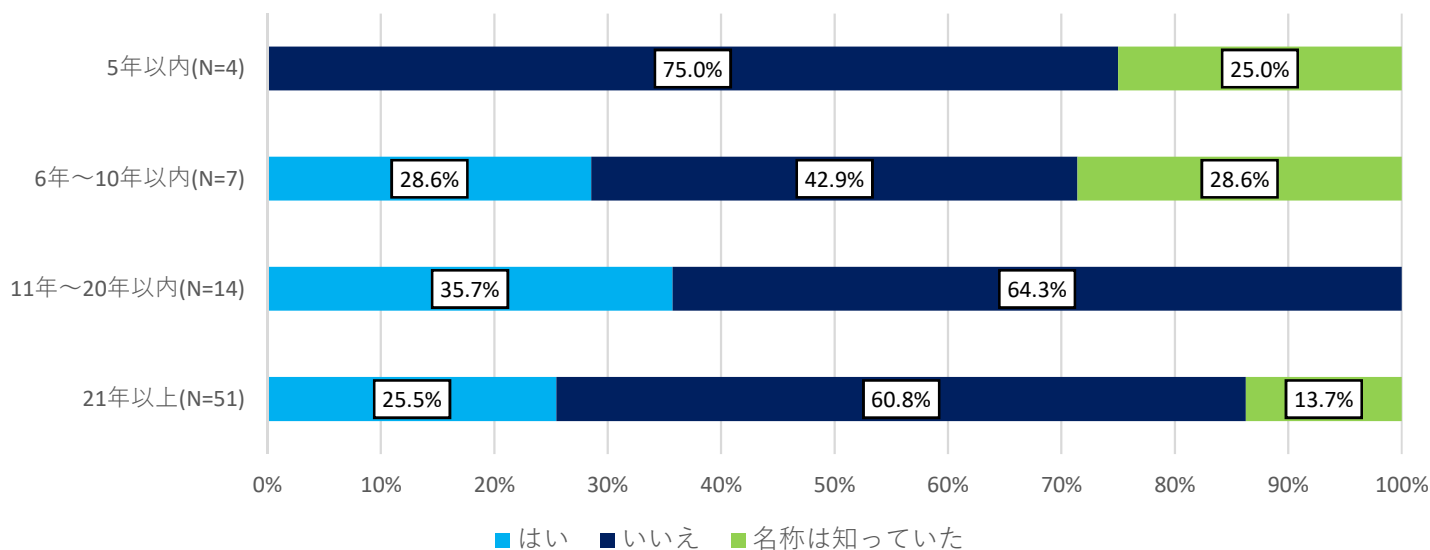
【分野別】



【規模別】



【活動年数別】



(3) 「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」や「高松版地域アーツカウンシル」に興味はありますか。

全体では、「はい」(54.7%)が最も高く、「わからない」(42.7%)が続いている。

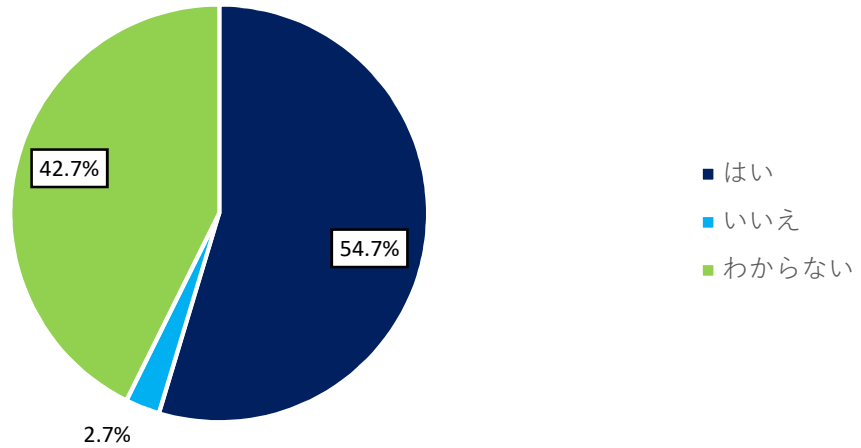
分野別では、「音楽」「美術」で「はい」が7割を超えている。

規模別では、全ての規模において、「はい」と「わからない」の割合がほぼ同じである。

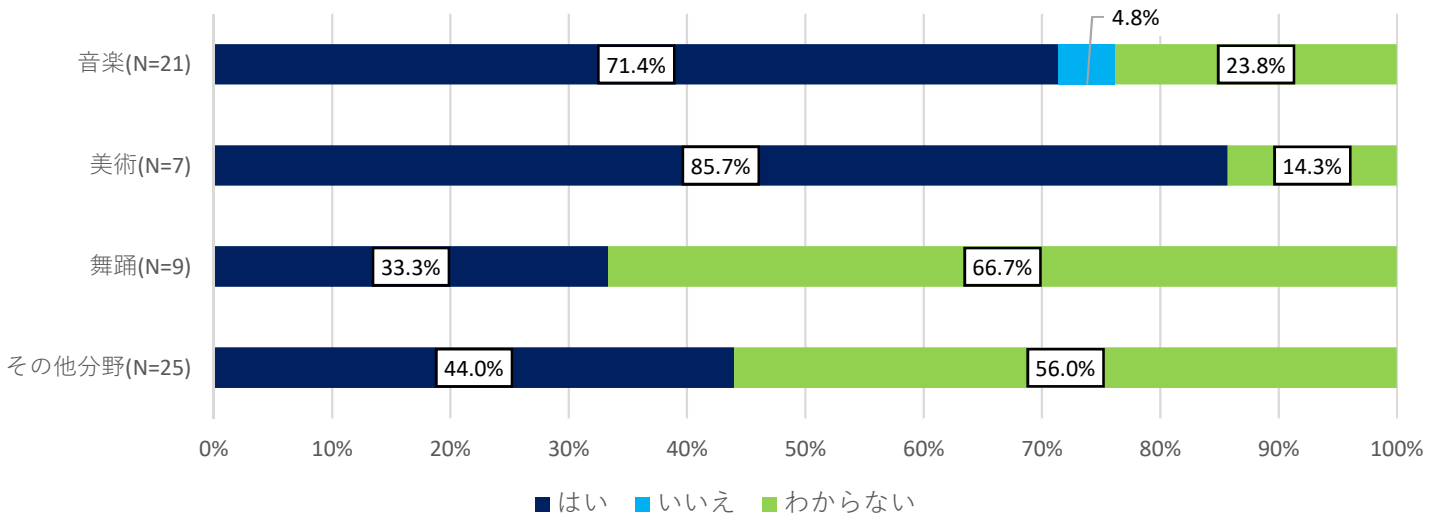
活動年数別では、「5年以内」を除き、「はい」と「わからない」の割合はほぼ同じである。

「5年以内」には「いいえ」が25.0%となっており、他の活動年数より高い。

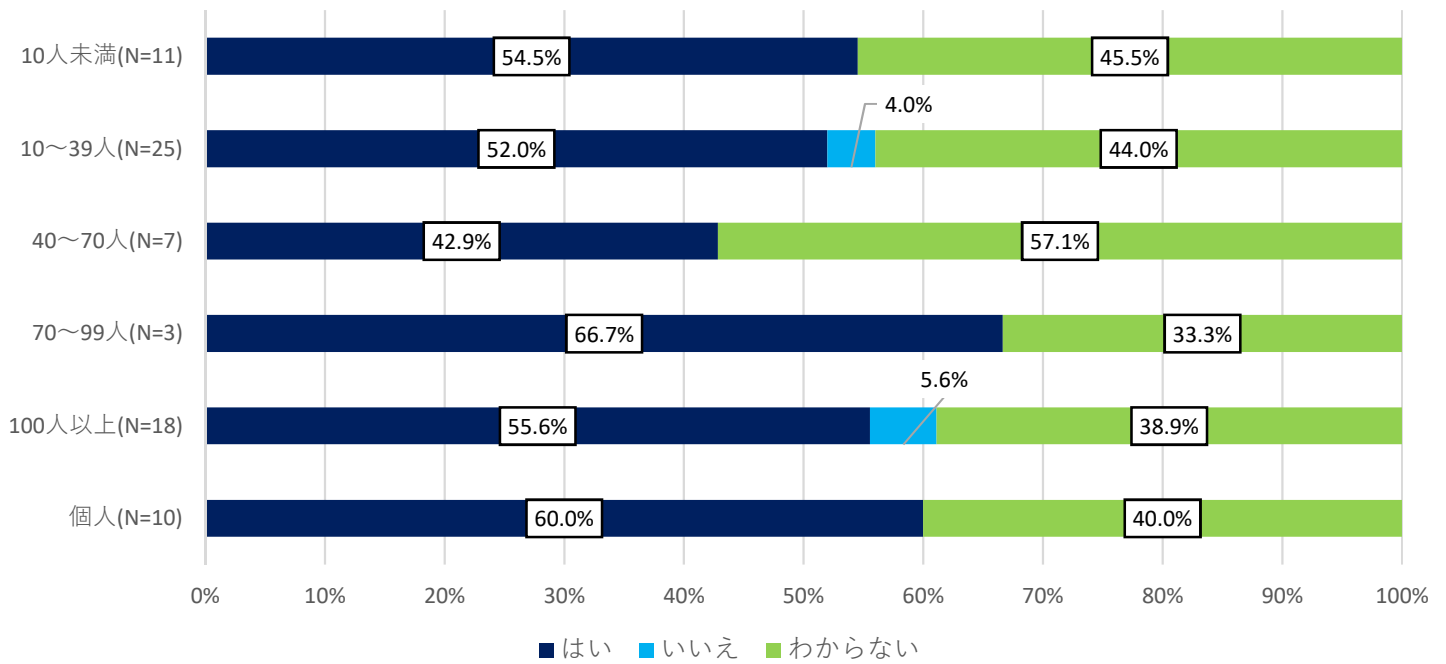
【全体】



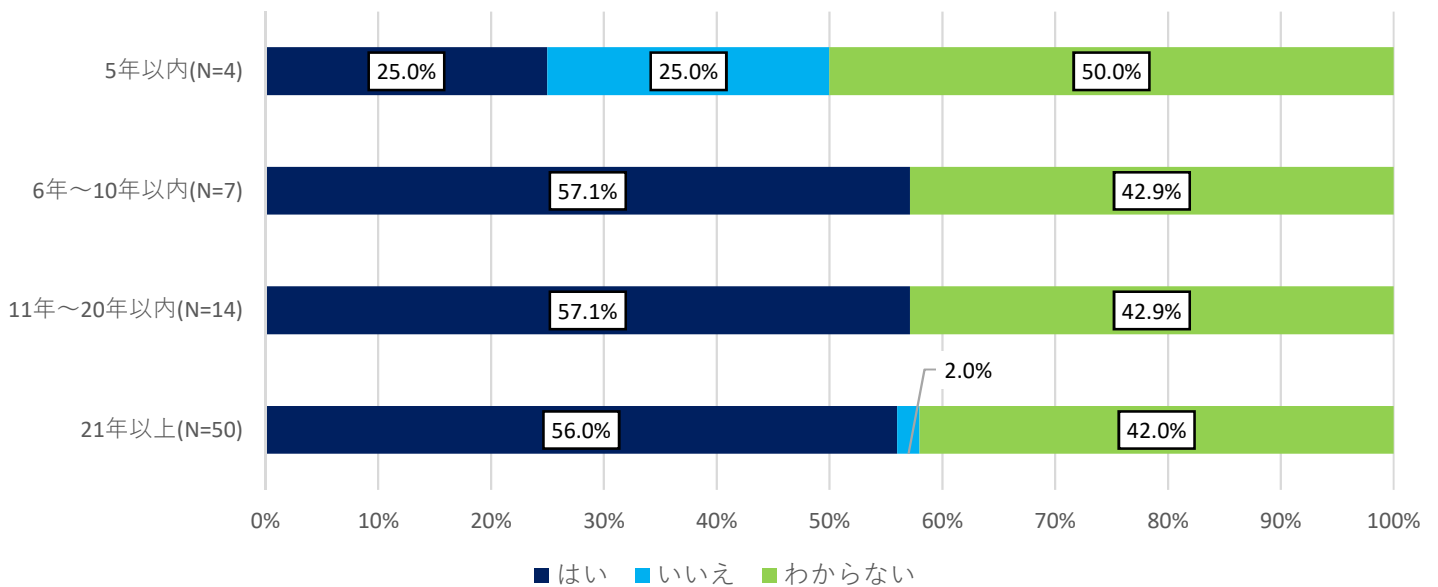
【分野別】



【規模別】



【活動年数別】



(4) (3) で「はい」を選択された方に伺います。 今後、「高松版地域アーツカウンシル」を備えた「高松版文化芸術プラットフォーム」が構築された際に期待することはありますか。

全体では「文化芸術活動に関する助成」(25.3%)が最も高く、「文化芸術活動の情報発信」(22.8%)、文化芸術関係者間の連携・交流(20.3%)と続いている。

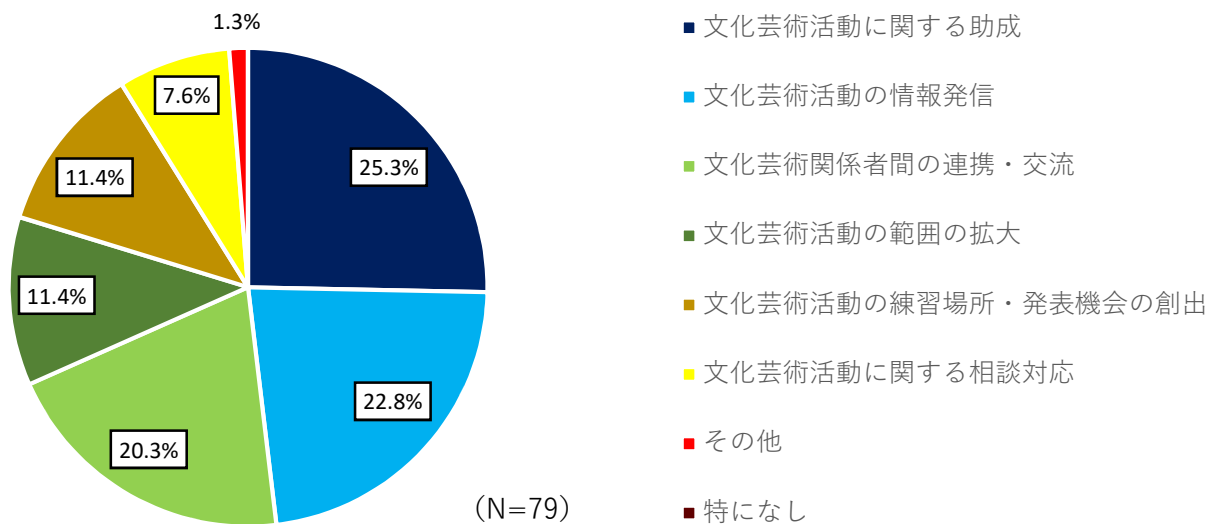
分野別では、「文化芸術活動に関する助成」は全ての分野において約2~3割を占めている。「文化芸術活動の情報発信」は「音楽」「その他分野」で2割を超えており、「文化芸術関係者間の連携・交流」は「舞踊」で5割を占めており、他の分野よりも高い。

規模別では、各規模において多少の前後はあるが、「文化芸術活動に関する助成」「文化芸術活動の情報発信」「文化芸術関係者間の連携・交流」がそれぞれ約2~3割を占めている。

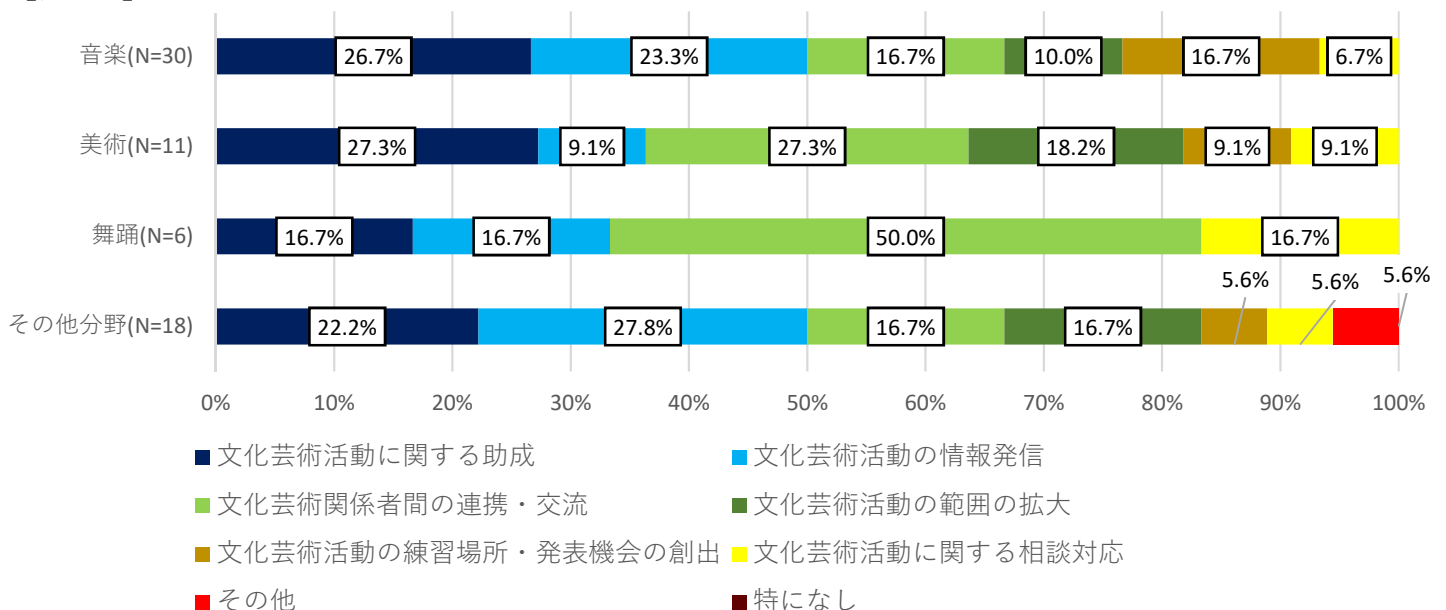
活動年数別では、「文化芸術活動に関する助成」は「6年~10年以内」で4割を占めており、他の活動年数より高くなっている。「文化芸術活動の情報発信」は「11年~20年以内」が最も高く、33.3%となっている。「文化芸術関係者間の連携・交流」は「5年以内」で100%となっている。

その他では「他県アーツカウンシルとの交流」「コラボ等による新しい文化芸術の創世」「固定化の打破」の回答があった。

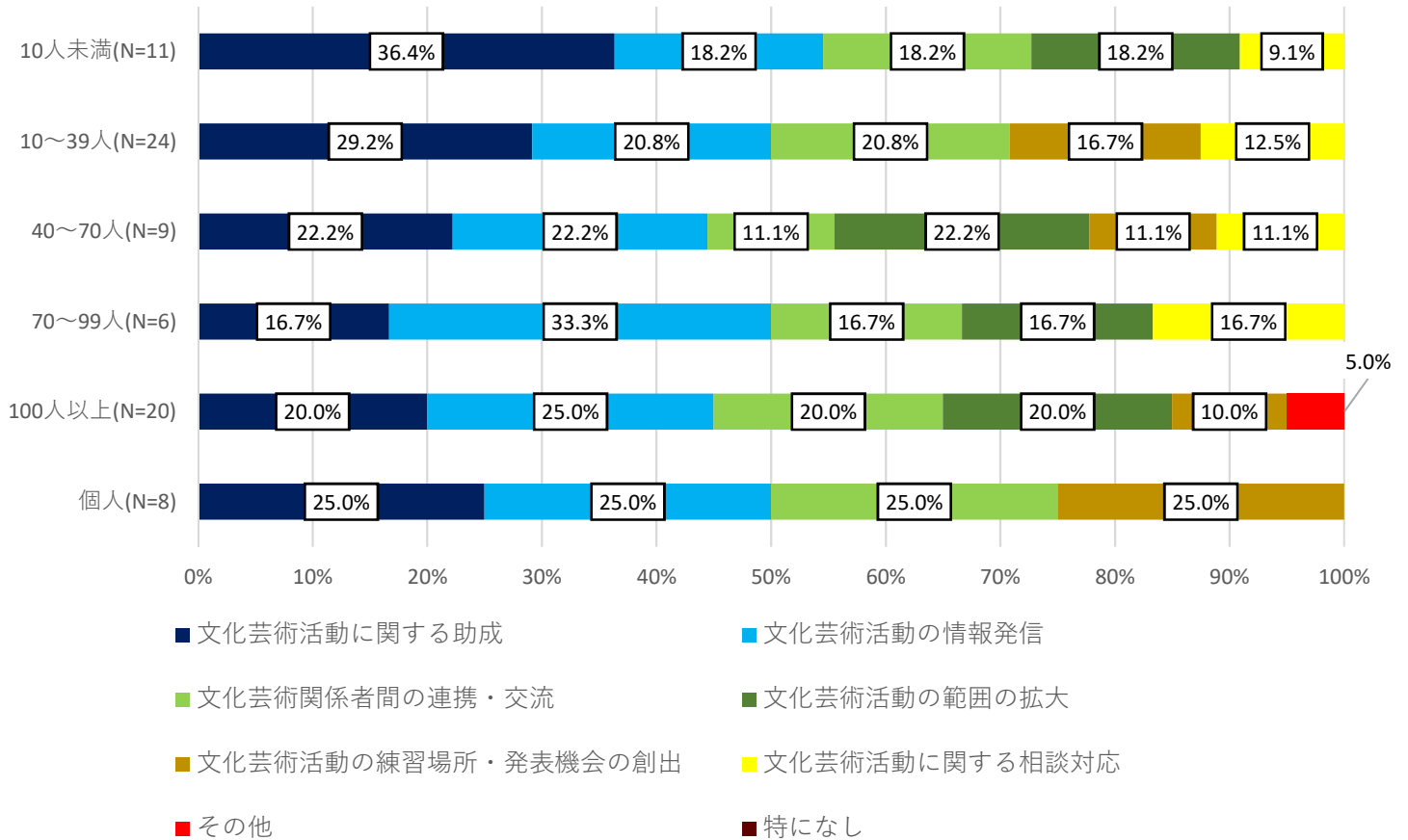
【全体】



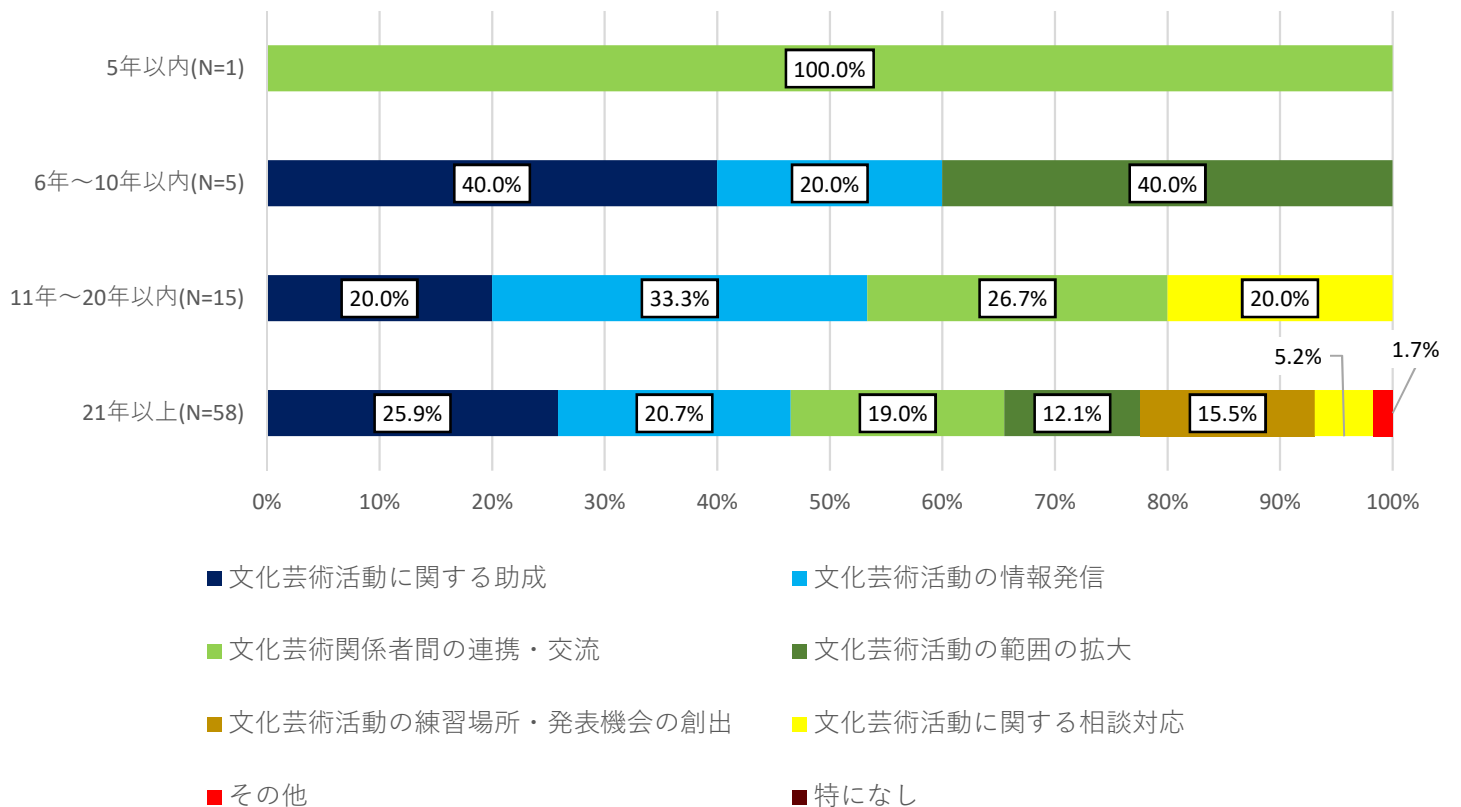
【分野別】



【規模別】

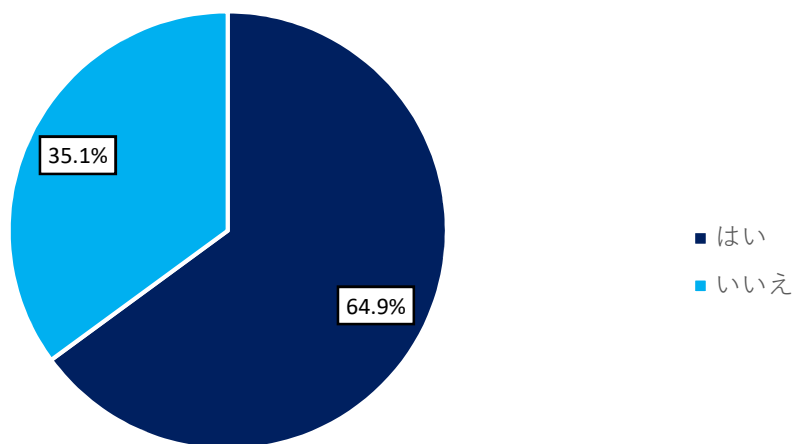


【活動年数別】



(5) 「高松版地域アーツカウンシル」の構築も踏まえた上で、「文化芸術プレイヤーズ・プラットフォーム」に参加してみたいですか。

「はい」が64.9%と半数以上が参加してみたいとの回答があった。



(N=77)

Q17 Q1～Q16で答えにくい（合致する選択肢がない）場合がありましたら、こちらに御記入ください。

Q4

- ・ 地域に伝わる、盆踊りも後世に伝える活動をしています。（ちゃらちゃん踊り）鎌倉時代から伝わり、日本各地で踊られている盆踊り発祥の地となっています。昭和にはフォークダンスの手引という教科書にのり全国にビデオのカセットテープが配布されているそうです。

Q10

- ・ 助成金がないと成立しない演奏会ばかりになってきています。芸術にふれることの大切さや、そういう機会を見つけて出かせましょうとも市には働きかけてほしいです。持ち出しばかりで演奏会をするのではなく、演奏家として成り立つ世界になってほしいです。

Q14

- ・ 単独では客層が限られ、集客が見込めないことから、現状では他団体のイベントに便乗して活動しています。

Q16

- ・ 地域アーツカウンシルの実態が良くわかりません。
- ・ 「高松市文化芸術振興審議会」が、どのように設置され、どのように選出されたメンバーがどのような方針（文化的思考）をもって形成され、どのような評価や助言をどういう体制と方法と根拠であるのかは開示されますか。

この「審議会」の権限や方向性や色等によって「プラットフォーム」が大きく左右されるのであれば、その透明性と民主制は重要。"カウンシル"の名で参加主体の自由な活動や発想が"査定"や"指導"されしまう事が、それ如何によって危惧されます。（例えば音楽や舞踊等において古典至上主義の審議員が新発想を"邪道"としたり制限してしまう事等）

Q18 高松を拠点として活動する上で、感じていることがあれば御記入ください。

(主な意見)

【プラットフォームについて】

- ・プラットフォームの構築は必要
- ・地域の枠関係なく参加できるものになって欲しい

【支援】

- ・助成金の拡充
- ・企画側に対する支援の不足

【発表会場・練習会場】

- ・練習会場や発表会場の確保が困難（使用料・他団体との競合・規模の不一致）
- ・バリアフリーに対応していない箇所が散見される（ホール）
- ・行政主催等でないと使用できない会場がある
- ・小規模会場の予約システムの改善

【行政】

- ・文化芸術活動を行う者たちの相談役であってほしい
- ・公共の情報を発信できる媒体がない、案内状等を置いてもらえる施設も少ない
- ・公的な会場だからできること等、民間の会場との違いを示してほしい
- ・文化芸術活動において優れているが、埋もれてしまっている人材が活動しやすくなるための施策が必要

【地域】

- ・文化芸術活動をする側のみではなく観客の育成も必要
- ・文化と産業の結びつきの強化
- ・引き続き、地域文化の発展に力を尽くしたい

【その他】

- ・美術館の規模が小さい
- ・構成員の不足
- ・集客が困難
- ・登録アーティスト制の導入、発表の機会創出

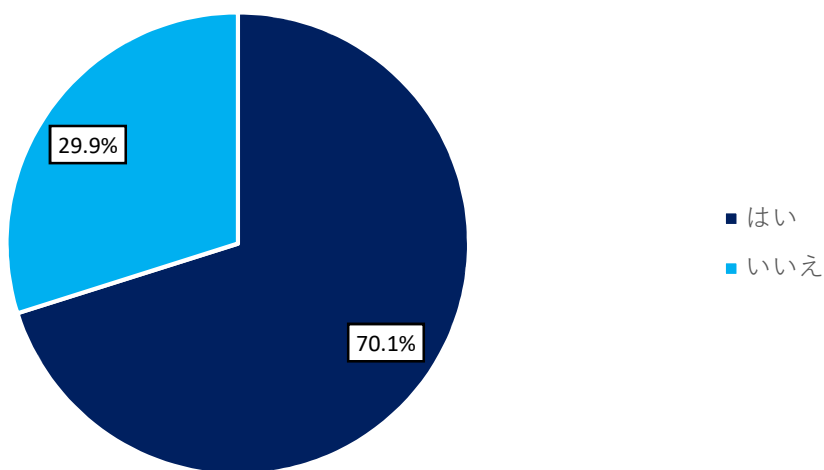
Q19 今後の文化芸術活動に対する支援について、御意見があれば御記入ください。

(主な意見)

- ・ 支援の充実、拡大（子ども、美術館の使用、支援項目の幅等）
- ・ 行政の担当が異動でいなくなるのではなく、文化芸術担当として残って欲しい
- ・ 文化芸術を大切にし、大事に育てていこうとする政策に乏しい
- ・ 発表会場等の無償化
- ・ 助成金に感謝している。
- ・ 高松市が実施した「高松今こそ！アート事業」（高松市文化芸術活動特別支援事業）は有難かった
- ・ 文化芸術活動に理解をしてくれている人々に感謝している。
- ・ 様々な芸術分野があることの周知
- ・ アーツカウンシル以上のアーティスト登録制度にはある程度の技術審査や趣旨理解の確認などが必要
- ・ 特定の団体に支援を集中させる傾向がある
- ・ 県内の優れた方や団体を活用していける支援の充実
- ・ アーティストが、インバウンド事業やアートで地域の貢献ができるようなシステムの拡充
- ・ アーティストと企業をつなぎ、ブランディングや新商品の開発などの役割を持つ組織の構築
- ・ 文化財指定されている建物等での撮影や作品作りに関するリサーチのための専門家、学者への取材を高松市から紹介をしてもらえるシステムの構築
- ・ 小品盆栽の発展拡大の協力（玉藻公園披雲閣の利用、盆栽館の設立）
- ・ 情報ネットワークの構築

Q20 アンケート回答の内容について、場合によっては、更なるヒアリング調査に御協力いただけますか。

「はい」が70.1%と半数以上の回答があった。



(N=77)